

芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

設計図

図面リスト

図面番号	図面名称	SCALE	図面番号	図面名称	SCALE	図面番号	図面名称	SCALE
D-00-1	図面リスト1	N:S	D-30	増築管理棟_展開図2	1:100	D-60	既存宿泊棟_既存1階建具キープラン図	N:S
D-00-2	図面リスト2	N:S	D-31	増築管理棟_展開図3	1:100	D-61	既存宿泊棟_既存2階建具キープラン図	N:S
D-01	案内図	N:S	D-32	増築管理棟_展開図4	1:100	D-62	既存宿泊棟_既存建具表1	N:S
D-02	特記仕様書1	N:S	D-33	増築管理棟_建具キープラン図	1:100	D-63	既存宿泊棟_既存建具表2	N:S
D-03	特記仕様書2	N:S	D-34	増築管理棟_建具表1	1:100	D-64	既存宿泊棟_新規1階建具キープラン図	1:100
D-04	特記仕様書3	N:S	D-35	増築管理棟_建具表2	1:100	D-65	既存宿泊棟_新規2階建具キープラン図	1:100
D-05	特記仕様書4	N:S	D-36	増築管理棟_伏図	1:100	D-66	既存宿泊棟_新規建具表1	1:100
D-06	特記仕様書5	N:S	D-37	増築管理棟_耐力壁1	1:100	D-67	既存宿泊棟_新規建具表2	1:100
D-07	特記仕様書6	N:S	D-38	増築管理棟_耐力壁2	1:100	D-68	既存宿泊棟_屋根詳細図-1	1:5
D-08	特記仕様書7	N:S	D-39	増築管理棟_耐力壁3	N:S	D-69	既存宿泊棟_屋根詳細図-2	1:5
D-09	敷地求積図	1:300	D-40	活動スペース_断面図	1:100	D-70	外構図	1:300
D-10	既存配置図	1:250	D-41_1	詳細図1(新規土間図・手摺図)	1:15	D-71	外部撤去写真1	N:S
D-11	新規配置図	1:250	D-41_2	詳細図1(新規土間図)	1:15	D-72	外部撤去写真2	N:S
D-12	増築宿泊棟_仕上表	N:S	D-42	活動スペース_屋根詳細図	1:5	D-73	既存宿泊棟_既存1階撤去図	1:100
D-13	増築宿泊棟_平面・立面図	1:100 1:150	D-43	既存基礎図	1:150	D-74	既存宿泊棟_既存2階撤去図	1:100
D-14	増築宿泊棟_矩計図1	1:30	D-44	既存宿泊棟_外部仕上表	N:S	D-75	既存宿泊棟_内部撤去写真	N:S
D-15	増築宿泊棟_矩計図2	1:30	D-45	既存宿泊棟_内部仕上表	N:S	D-76	既存宿泊棟_内部撤去写真2	N:S
D-16	増築宿泊棟_展開図1	1:50	D-46	既存宿泊棟_既存1階平面図	N:S	D-77	土間斫り範囲図(配置図)	1:250
D-17	増築宿泊棟_展開図2	1:50	D-47	既存宿泊棟_既存2階平面図	N:S	D-78	土間斫り範囲図(平面図1)	1:100
D-18	増築宿泊棟_展開図3	1:50	D-48	既存宿泊棟_既存立面図	N:S	D-79	土間斫り範囲図(平面図2)	1:100
D-19	増築宿泊棟_建具キープラン図	1:100	D-49	既存宿泊棟_既存断面図	N:S	D-80	サイン図1	N:S
D-20	増築宿泊棟_建具表	1:100	D-50	既存宿泊棟_既存矩計図	N:S	D-81	サイン図2	N:S
D-21	増築宿泊棟_伏図	1:100	D-51	改修後1階平面図・増築棟平面図	1:100	D-82	サイン図3	N:S
D-22	増築宿泊棟_耐力壁1	1:100	D-52	改修後2階平面図・増築棟平面図	1:100	D-83	サイン図4	N:S
D-23	増築宿泊棟_耐力壁2	1:100	D-53	改修後増築棟平面図	1:100	D-84	サイン図5	N:S
D-24	増築宿泊棟_耐力壁3	N:S	D-54	全体立面図	1:150	D-85	サイン図6	N:S
D-25	増築管理棟_仕上表	N:S	D-55	既存宿泊棟_展開図1	1:50	D-86	サイン図7	N:S
D-26	増築管理棟_平面図	1:100	D-56	既存宿泊棟_展開図2	1:50	D-87	サイン図8	N:S
D-27	増築管理棟_立面図	1:150	D-57	既存宿泊棟_展開図3	1:50	D-88	サイン図9	N:S
D-28	増築管理棟_矩計図	1:30	D-58	既存宿泊棟_展開図4	1:80			
D-29	増築管理棟_展開図1	1:100	D-59	既存宿泊棟_展開図5	1:50			

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事(建築主体)(債務)

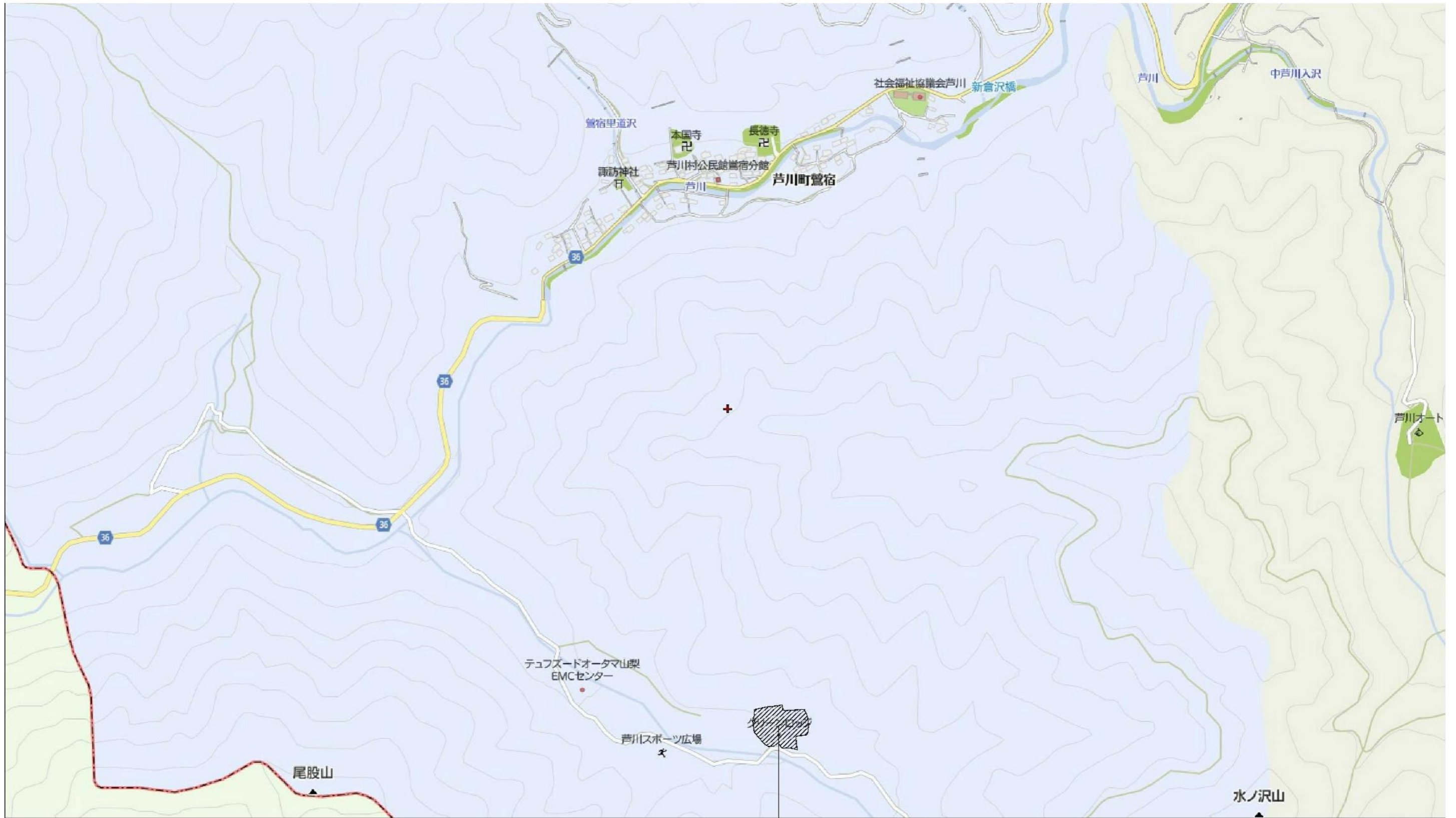
MEMO

DATE

ITEM 図面リスト1

SCALE

CHECK



住所：笛吹市芦川町鶯宿1760

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

MEMO

DATE

ITEM 案内図

SCALE

CHECK

NO D-01

芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）	
仕様書	
I 工事概要	
1. 工事場所	山梨県笛吹市芦川町駕宿1760
2. 敷地面積	3,740.00㎡(1131.35坪)
3. 工事種目	鉄骨造、木造 計画建物： 延床面積 宿泊棟：66.660㎡ 管理棟：54.818㎡ 活動スペース棟：199.140㎡ 既存宿泊棟：348.639㎡ 敷地内延床面積：669.257㎡
4. 工事範囲	※「3. 工事種目」全を工事範囲とする。 ・「3. 工事種目」のうち の工事範囲は下記表のとおりとする。 ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。
2 仮設工事	工事範囲全て
3 土工事	工事範囲全て
4 地業工事	工事範囲全て
5 鉄筋工事	工事範囲全て
6 コンクリート工事	工事範囲全て
7 鉄骨工事	工事範囲全て
8 エコトブロック・ALC 襖・押出成形サッシ板工事	なし
9 防水工事	工事範囲全て
10 石工事	工事範囲全て
11 タイル工事	なし
12 木工事	工事範囲全て
13 屋根及びとい工事	工事範囲全て
14 金属工事	工事範囲全て
15 左官工事	工事範囲全て
16 建具工事	工事範囲全て
17 カーテンウォール工事	なし
18 塗装工事	なし
19 内装工事	工事範囲全て
20 エコト及びその他の工事	工事範囲全て
21 排水工事	工事範囲全て
22 舗装工事	工事範囲全て
23 植栽工事	工事範囲全て
24 解体工事	工事範囲全て
25 雑工事	工事範囲全て

II 建築工事仕様

1 共通仕様
 (1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、原則として①による。ただし、やむおえず②による場合は、①とみなす。
 ① 国土交通省大臣官房官庁営繕部「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下、「標準」という。)
 ② 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事共通仕様書(最新版)」(以下、「共仕」という。)及び「公共建築工事標準仕様書(最新版)対応追補」(以下、「追補」という。)

2 特記仕様
 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。
 (3) 特記事項に記載の()内の表示番号は、建築工事共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
 (4) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載を省略する。また()内は製品名を示す。

II 建築工事仕様

1 適用範囲
 本特記仕様書は、各共通仕様書及び補足事項に記載なき事項を特記するものであり、各工事において、他の工事との関連ある事項は、工事の記載事項を参照する。

2 疑義
 本工事の設計図書に関する疑義は、工事契約前に質疑応答をもって確かめておくものとする。
 設計図書に記載なくとも、意匠上、構造上、設備上、施工上当然必要と認められるものは、係員の指示に従い施工するものとする。

項目	特記事項
----	------

①. 一般共通事項

① 適用基準等
 ○建築工事標準詳細図(国土交通大臣官房官庁営繕部監修 最新版)
 ○建築鉄骨設計基準(建設大臣官房官庁営繕部監修 最新版)
 ○敷地調査共通仕様書(建設大臣官房官庁営繕部監修 最新版)
 ○鉄筋コンクリート構造配筋要領(建設大臣官房官庁営繕部監修 最新版)

② 電気保安技術者 ※適用する (1.3.3)

③ 技能士 ※適用する (1.5.2)

適用工事種別
 鉄筋工事(・鉄筋施工) コンクリート工事(・型枠施工)
 鉄骨工事(・とび) ブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事
 (・ブロック建築・ALCパネル施工) 防水工事(防水施工[・アスファルト防水工事作業・合成ゴム系シート防水工事作業・シーリング防水工事作業])
 石工事(・石材施工) タイル工事(・タイル張り) 木工事(・建築大工)
 屋根及びとい工事(・建築板金・スレート 施工)
 金属工事(・内装仕上げ施工[鋼製下地工事作業]) 左官工事(・左官)
 建具工事(・サッシ施工・ガラス施工) 塗装工事(・塗装)
 内装工事(内装仕上げ施工[・プラスチック系床仕上げ工事作業・ボード仕上げ工事作業・表装]) 植栽工事(・造園)

④ 工事実績情報の登録 ※行う ・現場説明書による

⑤ 建築材料等
 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。
 なお、「評価名簿による」と特記されたものについては、建設大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」による。
 建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

⑥ 特別な材料の工法

⑦ 発生材の処理等 ※現場説明書による ・構外搬出適切処理 (1.1.13)

⑧ 施工図等の取扱い 施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

⑨ 設備工事との取合い 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。

⑩ 完成図等 ※作成する (1.7.1)(1.7.2)(1.7.3)(表1.7.1)
 完成図の原図サイズ ※現場説明書による ・A3 2部(1部は設計用)
 保全に関する資料の部数 ※1部

⑪ 完成写真
 下記のことを監督職員に提出する。ただし、原図は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	部数	原版の大きさ(mm)
・モノクローム ※キャビネ判	外部()内部()	※2	※100×125以上
○カラー ※キャビネ判 ・全紙パネル	外部(40)内部(80) 外部()内部()	※2・6 ※1	※100×125以上 ・
・カラーズライド	外部()内部()	※1	※24×36以上
・	外部()内部()	・	・

・他に外観正面1カット(カラーキャビネ判)のみ5枚
 ○CD-Rの保存のうえ2部(1部は設計用)

⑫ 設計GL ※図示 ・設計GL= ※図示ではあるが最終決定は現場指示
 ⑬ 指定撮影会社 特に指定無し

②. 仮設工事

1 監督職員事務所
 ・設ける ・設けない
 監督職員事務所の規模 (表2.3.1)
 ・1号 ・2号 ・3号 ・4号 ・5号

② 工事用水
 構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる(※有償 ○無償)

③ 工事用電力
 構内既存の施設 ・利用できない ○利用できる(※有償 ・無償)

④ 仮設足場
 ※枠組み足場

③. 土工事

① 埋戻し及び盛土
 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 (3.2.3)(表3.2.1)

② 建設発生土の処理
 ※現場説明書による (3.2.5)
 ・構外搬出適切処理 ・構内指示の場所ごたい積 ○構内指示の場所に敷きならし

④. 地業工事

1 既設コンクリート杭地業
 種類 (4.3.1)(4.3.2)
 ※G-ECSバイル杭

	杭径(mm)	杭長(m)及び種別	継手数	セット数	備考
P1	φ267.4	6.0m		10	
P2	φ216.3	6.0m		19	
P3	φ267.4	5.47m		11	
P4	φ216.4	5.47m		5	

杭頭の切断方法 ※切断しない (4.3.7)
 先端形状 ※開放形 ・閉そく 平たん形 (4.3.2)
 施工法 (4.3.2~4.3.5)
 ・G-ECSバイル工法(杭材料は認定条件に適合するもの)

2 場所付ちコンクリート杭地業
 コンクリートの種別 ・A種 ・B種 (表4.5.1)
 設計基準強度 ※F_c = 22.5 kg/cm²
 鉄筋の種類 5章鉄筋工事の鉄筋の種類による (4.5.3)
 掘削工法
 ・アースドリル工法(※安定液使用 ・無水掘削) (4.5.4)
 ・リバー工法
 ・オールケーシング工法(孔内の水張 ※行う ・行わない)
 ・(財)日本建築センター等により評価された工法 (4.5.4)

⑤ 砂利地業 ※再生クラッシュラン ・切込み砂利及び切込み砕石 (4.6.3)

⑥ 床下防湿層 施工箇所 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (4.6.6)
 (ビット下を除く)

5 地盤改良
 構造図による

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

ITEM 特記仕様書 1

MEMO

SCALE

DATE

CHECK

⑤. 鉄筋工事 (構造図参照)

① 鉄筋の種類 (5.2.1)(表5.2.1)

種類の記号	呼び名 (mm)
・SD295A	D16以下
・SD345	D19以下
・	
・	

② 鉄筋の継手 呼び名19mm以上の柱、梁の主筋 ○ガス圧接 ○重ね継ぎ手(D19以下) (5.3.4)

③ 鉄筋のからり厚さ ※からり厚さは目地底から算定する。 (5.3.5)

・耐久上不利な箇所の鉄筋のからり厚さは下表による。

施工箇所	5.3.2(b)の値に加える寸法 (mm)
柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面	※10

④ 既製コンクリート杭の杭頭補修 ・A形 ※B形 ・図示 (5.3.7)(図1.1)

⑤ 帯筋 ※H形 (5.3.7)(図2.2)

⑥ 最上階柱頭補修 ※行方 行方ない

⑦ 壁開口部の補修 一般壁 ※A形 ・B形 ・図示 (5.3.7)(図4.2)

耐震壁 ※B形 ・図示

⑧ 梁貫通孔の補修形式 ※H形 ・MH形 ・M形 (5.3.7)(図7.1)

⑨ 圧接完了後の試験 ※超音波探傷試験 ・引張試験 (5.4.9)

⑥. コンクリート工事

① レディーミクストコンクリートの類別 ※I類 ・II類 (表6.1.1)

② セメントの類別 ※普通ポルトランドセメント (6.3.2)(6.16.2)

・高炉セメントB種

普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R5210に示された規定の他、次の規定に適合しなければならない。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

水和熱	7d	352J/g以下
	28d	402J/g以下

全アルカリ 0.75%以下 算出はJIS R5210ポルトランドセメント(低アルカリ形)による。

塩素 0.02%以下

③ 砕石及び砂利の種類 ※A (6.3.3)(6.5.4)

・B(※コンクリート中のアルカリ総量R=3.0kg/m³以下)

④ 混和材料の種類 ※混和剤 ・混和材 (6.3.5)

⑤ 普通コンクリートの設計基準強度 ※構造図による (6.4.1)(6.4.3)

設計基準強度 F _o (kg/cm ²)	施工箇所
②210 (21-25)	基礎・基礎梁
①210 (21-25)	土間コンクリート
①180 (18-25)	捨コンクリート

⑥ 型枠(せき板)の種類 塗装の有無 ※無 ・有 (6.9.3)

⑦ せき板面の気泡緩衝材張り(MCR工法) 気泡緩衝材の種類 ※炭素繊維入りエチレン気泡シート

コンクリート増打ち厚さ ※10mm ・20mm

施工箇所 ※図示

⑦. 鉄骨工事 (構造図参照)

① 施工管理技術者 ※適用する ・適用しない (7.1.4)

② 鋼材の材質 ※構造図による (7.2.1)

種類の記号	使用箇所	規格等
・SS400	大梁	
・SS400	小梁、GPL、スプライムPL	
・STK400	P柱	
・BCR295	C柱	
・SN490C		
・SN490B	内ダイアフラム	
・SSC400	胴縁	

③ 高力ボルト ※ルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト(7.2.2)(7.12.5)

AOQL ※4.0% ・2.5% (7.6.11)

検査水準 ※第6水準 (7.6.11)(表7.6.2)

試験の種類別	試験箇所	試験方法
・超音波探傷試験		※7.6.11(b)による
・放射線試験		・図示
・マクロ試験		

④ 溶融亜鉛めっき

種別 ・ラス張りモルタル塗り ・耐火材吹き付け ロックウールt=25mm(7.9.2)

・耐火板張り ・図示

所要性能(区分) ・30分耐火() ・1時間耐火(柱・梁)

⑤ アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ・A種 ※B種 ・C種 (表7.10.1)

⑦ 柱底均しモルタル工法 ・A種 ※B種 (表7.10.2)

無収縮モルタルの製造所 評面名簿による

⑧ 鉄骨の製作工場 ※監督職員の承諾する製作工場 (7.1.3)

※溶接作業判定基準に適合する製作を行う製作工場又は建設省告示第1103号に基づき建設大臣が認定した製作工場のうち、下記の条件を満足するもの。

(1) 契約電力 () kw以上(デマンド契約した場合はこの70%で可)

(2) 超音波探傷器()台以上又は放射線透過試験装置()台以上

(3) 建築士 1級()名以上 2級()名以上

(4) WES8103 1級()名以上 2級()名以上

(5) NDI UT Ⅲ種()名以上 Ⅱ種()名以上 (7.12.3)

亜鉛めっきの種類別	材 料	備 考
A種		外部階段
B種	普通ボルト	
C種		

素地ごしらは、JIS H9124 溶融亜鉛めっき作業標準による。

⑧. コンクリート・ALC・押出成形セメント板工事

1 建築用コンクリートブロック 補強コンクリートブロック造 ※16(C種)普通ブロック ・16(C種)防水ブロック (8.2.2)

帳壁及び庇 ※表8.3.1及び下表による (8.3.2)

種別	施工箇所

2 ALCパネル (表8.4.2)(表8.4.3)(8.4.2)

種類	単位荷重 (N/m ²)	厚さ (mm)	取付け工法(種別)
・外壁パネル	・1177 ・1961		※B
・間仕切りパネル	・637	・100 ・37 ・50	・B ・C ・D ・E
・屋根パネル	・981		※8.4.5による
・床パネル	・2354 ・3530	・100 ・150	

3 押出成形セメント板 ※厚物(厚さ35mm以上) (8.5.2)(表8.5.1)(表8.5.2)

種類 ※無石綿付(タイプII)

施工箇所	表面形状	厚さ (mm)	工法	耐火性能
・外壁	※フラットパネル	・35・50・60	・A種	※有り
	・デザインパネル(図示)	・50・60	・B種	()
	・タイルベースパネル	・60		・無し
・間仕切り	※フラットパネル	・35・50・60	・B種	※無し
	・デザインパネル(図示)	・50・60	・C種	・有り
	・タイルベースパネル	・60		()

製造所

・薄物(厚さ35mm未満)

種類 ※無石綿付

施工箇所	表面形状	厚さ (mm)	耐火性能
	※フラットパネル		※無し
	・デザインパネル(図示)		・有り()

製造所

⑨. 防水工事 (9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3)~(表9.2.8)

1 アスファルト防水

種 別	施工箇所
※A1-2	
・A-2	
・C-2	
・E-1 ・E-2	

アスファルト ※3種 ・4種 (9.2.2)

断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ※25 (9.2.2)

ただし、特定フロンを含まないもの。

れんが ※見え隠れ部分は市販品のれんが又は、市販品のれんが形コンクリートブロックとする。

立ち上がり部の乾式保護材 ※適用しない (9.2.5)

・適用する(※押出成形セメント板 ())

製造所 (表9.4.1)

2 合成高分子系ルーフィングシート防水

種別	厚さ (mm)	施工箇所	仕上げ塗料塗り	使用分類
・S-1	※1.2		・シルバー	※非歩行
・S-2	※2.0		・カラー	・軽歩行
・S-3	※2.0			
・S-4	※1.5			

3 塗膜防水

・ウレタン防水(株ダイフレックス、脱気絶縁複合防水工法DD-10同等、十年保証付表9.5.1)(表9.5.2)

種別	施工箇所	仕上げ塗料塗り
・X-1		・シルバー ・カラー
・X-2		
・X-3		
・Y-1		
・Y-2		

脱気装置

・設ける 材種() 設置数量(箇所/m)

下表以外は、表9.5.1による (9.6.2)(表9.6.1)

施工箇所	シーリング材の種類(記号)
外部建具周囲・外壁目地	C種

④ シーリング

⑩. 石工事

1 天然石張り (10.2.1)

石の品質

床用石材 ※2等品

壁及びその他の石材 ※1等品

石の種類・表面仕上げ (表10.2.1)(表10.2.2)

施工箇所	種類	産地・名称	仕上げの種類

2 テラゾ張り (10.2.1)

表面仕上げ ※本磨き (表10.2.2)

3 壁の石張り工法 (10.3.3)(10.5.3)

外壁石張り

工法

・外壁湿式工法(※流し筋工法 ())

・乾式工法

裏面及び裏打ち処理 ※行方ない ・行方(裏面処理の場合小口共)

ドレインパイプ ※ステンレスSUS304

内壁石張り (10.4.3)(10.5.3)

工法

・内壁空構工法(※あと施工アンカー横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法)

・乾式工法

裏打ち処理 ※行方ない ・行方

石の厚さ(mm) 御影石 25mm(床見切り) 本磨き (10.6.2)

床石張りの裏面処理 ※行方ない ・行方

屋内のフックス掛け ※行方 ・行方ない (10.1.5)

・セラミックタイル

④ 床及び階段の石張り

5 その他

① ガラスとめ材	① 複層ガラス			
	品 種		板ガラスの組み合わせ	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 断熱複層ガラス ・ 日射熱遮へい複層ガラス 			
	・ 熱線反射板ガラス			
	品 種	反射特性面	色 調	映像調整
	※熱線反射ガラス	※内面・外面	・ ブルー ・ グレー	※行わず
	・ 高性能熱線反射ガラス	内面	・ ブロンズ ・ シルバー	・ 行う
	・ 倍強度ガラス			
	材料板ガラスによる種類		色 調	
	※倍強度フロート板ガラス			
	・ 倍強度熱線吸収板ガラス		・ グレー ・ ブルー ・ ブロンズ ・	
	・ ガラスブロック ※JIS A5212による			
	寸法(mm)	色 調	ノクターン	防火認定
		※クリア ・ 熱線反射 ・ 乳白 ・ カラー()		※無し ・ 乙種防火
	(16.13.2)(表16.13.1)			
建具の種類		材 種		
アルミニウム製		※シーリング材 ・ ガasket(F I X 部はシーリング材)		
鋼製及び軽量鋼製		※シーリング材		
ステンレス製		※シーリング材		
ただし、防火戸は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。				
名 称		種 類	性能等	
※ガラス飛散防止フィルム		第2種	※内張り ・ 外張り 飛散防止率 D1	
品質 JIS A5759による				
12	ガラス用フィルム			
13	重量シャッター			
14	軽量シャッター			
15	オーバーヘッドドア			
17. カーテンウォール工事				
1	メタルカーテンウォール	設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会JASS14による。		
カーテンウォール材料の種類				
種 類	規 格 等			
※アルミニウム製	※16.2.3のアルミニウム製建具の材料による			
カーテンウォールの方式				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 方立方式 ・ ノックマリオン方式(・ 単純2 辺支持構法 ・ SSG構法) ・ パネル方式 ・ スノンドレル方式 ・ 小型パネル組み合わせ方式(・ ノックダウン方式 ・ ユニット方式) 				
シーリング材及びガラス取付材料				
被着体の組合せ		シーリング材の種類		
金属	ガラス	記号	主成分による区分	
ガラス	石、タイル		耐久性による区分	
ガラス	ガラス			
※ 上記以外のシーリング材の種類は表9.5.1による				
構造用ガasket	※適用しない (17.2.2)			
	・ 適用する (施工箇所:)			
断熱材	※適用しない (17.2.2)			
	・ 適用する (種類: 厚さ(mm) : 施工箇所 ※図示)			
製品の寸法許容差	※ 表2.2.2.1による (17.2.3)(表17.2.1)			
	・ 製造所標準製作規定寸法許容差による			

アルミニウムの表面処理 (17.2.3)(表14.2.1)	
種別	色彩等
・ A-1種 ・ B-1種	無着色
・ A-2種 ・ B-2種	※ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー ・
・ D種	※ 塗装材料() 焼付け方法() コート() ベーク
耐風圧性能 (17.1.3)	
性能値 ※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第109号に定められた風圧力に対して安全であること。	
・ 正圧 kg/m^2 以上及び負圧 kg/m^2 以上に対して安全であること。	
主要部材のたわみ	
支点間距離(h)	たわみ量
※4 m以下	※±(1/150) × h かつ絶対量2.0 mm以下
・ 4 mを超える	
状態 ※各部の破損、残留変形、有害な変形が生じること	
耐震性能 (17.1.3)	
設計用震度	水平方向(K _h) ※1.0 ・ 垂直方向(K _v) ※0.5 ・
構造種別	
鉄骨造	※±(1/100) × h 以上
鉄筋コンクリート造	※±(1/200) × h 以上
鉄骨鉄筋コンクリート造	
水密性 ・ W-4 ・ W-5 (17.1.3)	
気密性 ・ A-3 ・ A-4 (17.1.3)	
耐火性能 ※適用しない ・ 適用する(時間、施工箇所: 図示)	
映像調整 適用は16章建具工事の11項ガラスによる	
製造所	
設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会JASS14による。	
コンクリートの種類及び品質	
※2.3.2による	
・ 下製による(ただし、下表以外は2.3.2による)	
コンクリートの種類	設計基準強度(F _o)
	所要スランプ(cm)
鉄筋 ※ SD295A ・	
取付け用金物の表面処理(鉄の亜鉛めっき)及び材質 (14.2.3)(表14.2.2)	
金物種類及び部位	内部
PC版打込み金物	※ E種 ・
PC版打込み取付ボルト	※ E種 ・
2次ファスナー	※ E種 ・
取付ボルト	※ E種 ・
レベル調整ボルト	※ E種 ・
※ 上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による	
シーリング材料 (17.3.2)(9.5.2)	
施工箇所	シーリング材の種類
	記号
カーテンウォール板間目地	主成分による区分
	耐久性による区分
※ 上記以外のシーリング材の種類は表9.5.1による	
断熱材 ※適用しない	
・ 適用する (種類: 厚さ(mm) 施工箇所 ※図示)	
製品の寸法許容差 ※表2.2.3.1による	
・ 製造所標準製作規定寸法許容差による	
表面仕上げ ※()	
耐火材料	
施工部位	種別
・ ファスナー部	
・ 取付ブラケット	
・ パネル目地部	
耐風圧性能 (17.1.3)	
性能値 ※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第109号に定められた風圧力に対して安全であること。	
・ 正圧 kg/m^2 以上及び負圧 kg/m^2 以上に対して安全であること	

耐震性能 (17.1.3)	
設計用震度	水平方向(K _h) ※1.0 ・ 垂直方向(K _v) ※0.5 ・
構造種別	層間変位量(h = 支点間距離)
鉄骨造	※±(1/100) × h 以上
鉄筋コンクリート造	※±(1/200) × h 以上
鉄骨鉄筋コンクリート造	
状態 ※部材が割傷せず、破断脱落もしない。ガラス等の破損もない。シーリングは補修程度	
18. 塗装工事	
1 防火材料	※屋内の壁及び天井の塗装仕上げ材は、防火材料又は建築基準法に基づく、基材同等の認定表示のあるもの。
2 塗装業者	※日本塗装工業会の会員 ・ 監督職員の承諾する業者
3 素地ごしらえ	垂鉛めっき面の素地ごしらえの種類 (18.2.4)(表18.2.3)(表18.3.4)
	種別
A種	鋼製の建具及び、2液形ポリウレタンエナメル塗料、常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗料の場合
B種	A種、C種以外
C種	下塗りに変成エポキシ樹脂塗料を塗装する場合
4 床用塗料塗り	せつこうボード及びその他のボード面の素地ごしらえの種類 (18.2.7)(表18.2.7)
	種 別
材 質	※B種 ・ A種 (施工箇所: 男子WC、女子WC、給湯室)
仕上種別	ウレタン樹脂系塗料(※標準色)
塗布量	※平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ
5 防塵用塗料塗り	プライマー塗りのうえ主剤2 回塗りとし、総塗布量は0.5 Kg/m ² 以上とする
	材 質
	水性アクリル系樹脂塗料(※標準色)
	仕上種別
	コーティング(ローラー刷毛塗り)
	塗布量
	主材2 回塗りとし、総塗布量は0.25 Kg/m ² 以上とする。
19. 内装工事	
① ビニル床シート張り	種類 (19.2.2)
	記号
	色柄
	厚さ(mm)
	※発泡層のないもの
	※NC ・
	※無地 ・ マーブル柄
	※2.0
	・ 発泡層のあるもの
	※柄物 ・ 無地
	工法
	※熱溶接工法
	○突付け(施工箇所)
	(19.2.3)
② ビニル床タイル張り	種類 (19.2.2)
	記号
	厚さ(mm)
	備考
	※コンポジションビニル床タイル(半硬質)
	CT
	※2.0
	・ コンポジション床タイル(軟質)
	CTS
	・
	・ ホモジニアスビニル床タイル
	HT
	・ 3.0
	○ナイロン100%シーグラス
3 帯電防止床タイル張り	種類 ※コンポジションビニル床タイル (19.2.2)
	性能
	体積抵抗値(JIS K6911による)
	1.0 × 10 ⁹ Ω 以下
	厚さ
	※2 mm ・ 4.0 又は4.5 mm
④ ビニル幅木	高さ(mm) (19.2.2)
	※6.0 ・ 7.5
	○1.00
	○3.00
5 合成樹脂塗床	(19.4.2)(表19.4.1~表19.4.7)
	種類
	仕上げの種類
	・ 弾性ウレタン塗床材
	※平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ
	・ エポキシ樹脂塗床材
	※難燃剤を展べ仕上げ
	・ 厚膜流し展べ仕上げ (※平滑 ・ 防汚)
	・ 樹脂モルタル仕上げ(※平滑 ・ 防汚)
	・ 防汚仕上げ

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事(建築主体)(債務)

ITEM 特記仕様書4

MEMO

SCALE

DATE

CHECK

⑤ せつこうボード その他のボード張り	(19.7.2)(表19.7.1)			③ 断熱材	(19.9.2)				⑥ トイレブース	表面仕上げ材 ・メラミン樹脂化粧板(標準色 アルミ製コーナーエッジ付) (20.2.5) 足形状 ※ 幅木型 ・足金物型 ・ポリエステル樹脂化粧板 製造所 評価名簿による
	種類	記号	厚さ(mm)、規格等		種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等		
・難燃木毛セメント板	—	・15 ・20 ・25	③ 13 可動間仕切	・押出法	※2種	・一般部	※25	特定フロンを使用しないもの	(20.2.12)	
・断熱木毛セメント板	—	・15 ・20 ・25		・ポリスチレンフォーム	※3種	・土層接地スラブ下面	※25			
・けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ2(無石綿)・6・4	③ 14 浴室天井材	・吹付硬質ウレタンフォーム断熱材(現場発泡断熱材)	※断熱材補修部分	—	—	特定フロンを使用しないもの	形式	
○ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ(※9・12) ・凹凸タイプ(※12・15・19)		・一般部	※15	※断熱3級	製造所 監督職員の承諾する製造所			スラットの材質
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)		※フラットタイプ9(不燃) ・凹凸タイプ(・12・15)(不燃)	③ 10 吸音材	構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	仕上げ	※メラミン樹脂又はアクリル樹脂焼付け ・焼付塗装	形式	
○せつこうボード	GB-R	9.5(準不燃) 12.5(不燃)		※パネル式 ・スタッ式 ・スタッパネル式	・	※鋼板(※0.5)	品質 JISA6512によるもの又は評価名簿によるもの			片引
・シージングせつこうボード	GB-S	9.5(準不燃) 12.5(準不燃)	③ 7 フローリング張り	市販品	材質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	備考	
・強化せつこうボード	GB-F	9.5(不燃) 12.5(不燃)		※アルミニウム製	※焼付け塗装品 ・アルマイト処理品	準不燃品	※200 ・100	※300 ・100	※200 ・100	回り縁は樋付きとし、製造所の標準品とする。
○硬質せつこうボード	GB-R-H	9.5(準不燃) 12.5(不燃)	③ 8 フローリング張り	量下地	厚さ(mm)	※40 ・65 ・80	フローリング類	厚さ(mm)	※80 ・95	
○化粧せつこうボード	GB-D	9.5(不燃)		種類	記号	厚さ(mm)		※25	※100	③ 9 カーテンレール
・化粧せつこうボード(木目)		12.5(不燃)幅440程度 模様(※柱目・板目)専用下地材付き	③ 10 吸音材	※ロックウール吸音ボード1号	RW-8	※25	・グラスウール10K	※100	形式	
・メラミン樹脂化粧板	—	JIS K6903による 厚さ1.2		③ 10 吸音材	種類	記号	厚さ(mm)	③ 10 吸音材	形式	
・吸音用穴明き石こうボード		9.5	③ 8 フローリング張り	③ 10 吸音材	種類	記号	厚さ(mm)	③ 10 吸音材	形式	
・耐水石こうボード		12.5		③ 10 吸音材	種類	記号	厚さ(mm)	③ 10 吸音材	形式	
		(表9.6.1)	③ 7 吸音材	③ 10 吸音材	種類	記号	厚さ(mm)	③ 10 吸音材	形式	
		(表9.6.1)		③ 10 吸音材	種類	記号	厚さ(mm)	③ 10 吸音材	形式	
		軽量鉄骨下地ボード 遮音壁の遮音シート材	③ 7 吸音材	③ 10 吸音材	種類	記号	厚さ(mm)	③ 10 吸音材	形式	
		※アクリル系シーリング材 ・ジョイントセメント		③ 10 吸音材	種類	記号	厚さ(mm)	③ 10 吸音材	形式	
		(表19.7.1)	③ 7 吸音材	③ 10 吸音材	種類	記号	厚さ(mm)	③ 10 吸音材	形式	
		(表19.7.1)		③ 10 吸音材	種類	記号	厚さ(mm)	③ 10 吸音材	形式	
		(19.5.2~19.5.7)(表19.5.1~表19.5.4)	③ 8 フローリング張り	③ 10 吸音材	種類	記号	厚さ(mm)	③ 10 吸音材	形式	
		(19.5.2~19.5.7)(表19.5.1~表19.5.4)		③ 10 吸音材	種類	記号	厚さ(mm)	③ 10 吸音材	形式	
		(19.8.2)	③ 10 量敷き	③ 10 量敷き	適用箇所	種別	③ 10 量敷き	適用箇所	種別	
		(19.8.2)		③ 10 量敷き	適用箇所	種別	③ 10 量敷き	適用箇所	種別	
		(19.6.1)	③ 10 量敷き	③ 10 量敷き	適用箇所	種別	③ 10 量敷き	適用箇所	種別	
		(19.6.1)		③ 10 量敷き	適用箇所	種別	③ 10 量敷き	適用箇所	種別	
		(19.4.3)(表19.3.1)	③ 10 量敷き	③ 10 量敷き	適用箇所	種別	③ 10 量敷き	適用箇所	種別	
		(19.4.3)(表19.3.1)		③ 10 量敷き	適用箇所	種別	③ 10 量敷き	適用箇所	種別	
		(19.3.4)(表19.3.4)	③ 10 量敷き	③ 10 量敷き	適用箇所	種別	③ 10 量敷き	適用箇所	種別	
		(19.3.4)(表19.3.4)		③ 10 量敷き	適用箇所	種別	③ 10 量敷き	適用箇所	種別	
		(19.4.3)(表19.3.2~表19.3.3)	③ 10 量敷き	③ 10 量敷き	適用箇所	種別	③ 10 量敷き	適用箇所	種別	
		(19.4.3)(表19.3.2~表19.3.3)		③ 10 量敷き	適用箇所	種別	③ 10 量敷き	適用箇所	種別	
		(19.4.3)(表19.3.2~表19.3.3)	③ 10 量敷き	③ 10 量敷き	適用箇所	種別	③ 10 量敷き	適用箇所	種別	
		(19.4.3)(表19.3.2~表19.3.3)		③ 10 量敷き	適用箇所	種別	③ 10 量敷き	適用箇所	種別	

② 流し台ユニット	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(L×W×H mm)</th> <th>適用内容</th> <th>規格・品質等</th> </tr> <tr> <td>①流し台</td> <td>・1200 ①1500・1800</td> <td>トラップ付き</td> <td>※優良住宅部品</td> </tr> <tr> <td>・コンロ台</td> <td>※600(IHクッキングヒーター)・700</td> <td>バックガード※有り・シロココファン(セキヨウキッチンI型)</td> <td>・ミニキッチン</td> </tr> <tr> <td>・つり戸棚</td> <td>・1200・900・600・1500</td> <td></td> <td>※市販品</td> </tr> <tr> <td>・水切り棚</td> <td>※1200・900</td> <td>ステンレス製 ※1段式</td> <td></td> </tr> </table> <p>※(サンウエーブGSFシリーズ同等品)</p> <p>枠の材質 ※アルミニウム製 ・1800x1200 ・600x900 表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り</p>	種類	寸法(L×W×H mm)	適用内容	規格・品質等	①流し台	・1200 ①1500・1800	トラップ付き	※優良住宅部品	・コンロ台	※600(IHクッキングヒーター)・700	バックガード※有り・シロココファン(セキヨウキッチンI型)	・ミニキッチン	・つり戸棚	・1200・900・600・1500		※市販品	・水切り棚	※1200・900	ステンレス製 ※1段式	
種類	寸法(L×W×H mm)	適用内容	規格・品質等																		
①流し台	・1200 ①1500・1800	トラップ付き	※優良住宅部品																		
・コンロ台	※600(IHクッキングヒーター)・700	バックガード※有り・シロココファン(セキヨウキッチンI型)	・ミニキッチン																		
・つり戸棚	・1200・900・600・1500		※市販品																		
・水切り棚	※1200・900	ステンレス製 ※1段式																			
③ 屋内掲示板																					
2.2 移動間仕切	<table border="1"> <tr> <th>遮音性能による区分</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面材</th> <th>表面仕上げ</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・一般タイプ</td> <td>40</td> <td>※鋼板</td> <td>・焼付け塗装 ・壁紙貼付</td> <td>ホール</td> </tr> <tr> <td>・遮音タイプ</td> <td></td> <td>※鋼板</td> <td>・焼付け塗装 ・壁紙貼付</td> <td></td> </tr> </table> <p>表面仕上げの壁紙貼付の品質は18章内装工事による 製造所 評価名簿による</p>	遮音性能による区分	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	施工箇所	・一般タイプ	40	※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙貼付	ホール	・遮音タイプ		※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙貼付						
遮音性能による区分	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	施工箇所																	
・一般タイプ	40	※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙貼付	ホール																	
・遮音タイプ		※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙貼付																		
④ 洗面カウンター ※設備	<p>材質 ・メラミン樹脂化粧板(芯材:集成材) ・人工大理石(品質 ※図示)</p> <p>奥行き(mm) ・約450 ・約600</p>																				
2.4 誘導用及び 注意喚起用床材	<p>屋内 ※塩ビビニル製 ・磁器又はセラミックタイル(※300・) ・レジンコンクリート製</p> <p>屋外 ※レジンコンクリート製 ・磁器又はセラミックタイル(※300・)</p>																				
2.5 敷地境界石標	・ A種 ※B種 (20.5.1)(表20.5.1)																				
2.6 旗竿	<p>材質 ※アルミニウム合金製</p> <p>形式 ※テーパー型 ・同一断面型</p> <p>地上高さ(m) ・6 ・8 ・10 ・12</p> <p>操作方法 ※ハンドル式 ・ロープ式</p> <p>固定方法 ・埋込式 ・ベース式 ・バンド式</p> <p>製造所</p>																				
2.7 旗竿受金物	材質 ステンレス製SUS304																				
⑤ フェンス	※ビニル被覆エキスパンドフェンス ①樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス 製造所																				
2.9 屋外掲示板	<p>照明器具 ※有り ・無し</p> <p>施錠 ※有り ・無し</p> <p>製造所</p>																				
3.0 車止め支柱	ステンレス製(上下式鎖内蔵型) 径114.3mm t=2.5mm H=GL+700mm ※ スプリング付 ・スプリング無し																				
⑥ (ミニ)キッチン	ミニキッチン:W=1,200(クリンプレティ/クリナップ同等品)																				
3.2 調理実習台	900x2400																				
3.3 フード	SUS製																				
⑦ 総合案内板	サイン図参照																				
⑧ 室名札	サイン図参照																				
⑨ ピクトサイン	サイン図参照																				
⑩ 埋込み消火器ボックス5箇所																					
3.8 階数表示板	ABS樹脂製、153x81x20 (株新協和:SK-602、同等)																				
3.9 笠 笠	スチール製メラミン焼付け、400x877x590 (山崎株:YA-31L-I D、同等)																				
4.0 室内空気中の化学物質 の濃度測定	<p>監督員が指定する室の揮発性有機化合物室内濃度を、厚生労働省が標準的方法として示した検査方法で測定し、定める指針値以下であることを確認し、報告すること。</p> <p>測定対象室 測定対象室</p>																				

21. 排水工事																												
① 排水管	<p>(21.2.1)(表21.2.1)(21.3.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>管の種類</th> <th>管形状(接合方法)</th> </tr> <tr> <td>※30心力鉄筋コンクリート管</td> <td>※外圧管(※1種・2種)</td> <td>B形(ゴム接合)</td> </tr> <tr> <td>①硬質塩化ビニール管</td> <td>※VP ・VU</td> <td></td> </tr> </table> <p>鋳鉄製マンホールふた (21.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> </tr> <tr> <td>・水封形 ・簡易気密形(ノックン式)</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ①T-20用</td> </tr> <tr> <td>・密閉形(テーパーノックン式) ・中蓋付密閉形</td> <td></td> </tr> </table> <p>製造所 評価名簿による</p> <p>①グレーチングふた</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>メバエッチ</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>・鋼製 ①ステンレス製</td> <td>※受枠付き ・ボルト固定 ※無し ・図示</td> <td>・溝ふた用 ・樹ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>※細目 ※普通目 ・細目</td> <td>※凹凸形 ※平形 ・凹凸形</td> </tr> </table> <p>製造所 評価名簿による</p> <p>※B種 (21.2.3)(表3.2.1)</p> <p>製造所</p>	材種	管の種類	管形状(接合方法)	※30心力鉄筋コンクリート管	※外圧管(※1種・2種)	B形(ゴム接合)	①硬質塩化ビニール管	※VP ・VU		種類	適用荷重	・水封形 ・簡易気密形(ノックン式)	・T-2用 ・T-6用 ①T-20用	・密閉形(テーパーノックン式) ・中蓋付密閉形		材質	形式	種類	適用荷重	メバエッチ	上面形状	・鋼製 ①ステンレス製	※受枠付き ・ボルト固定 ※無し ・図示	・溝ふた用 ・樹ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	※細目 ※普通目 ・細目	※凹凸形 ※平形 ・凹凸形
材種	管の種類	管形状(接合方法)																										
※30心力鉄筋コンクリート管	※外圧管(※1種・2種)	B形(ゴム接合)																										
①硬質塩化ビニール管	※VP ・VU																											
種類	適用荷重																											
・水封形 ・簡易気密形(ノックン式)	・T-2用 ・T-6用 ①T-20用																											
・密閉形(テーパーノックン式) ・中蓋付密閉形																												
材質	形式	種類	適用荷重	メバエッチ	上面形状																							
・鋼製 ①ステンレス製	※受枠付き ・ボルト固定 ※無し ・図示	・溝ふた用 ・樹ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	※細目 ※普通目 ・細目	※凹凸形 ※平形 ・凹凸形																							
② 排水樹及びふた																												
③ 埋戻し土																												
4 浸透管及び浸透樹																												
22. 舗装工事																												
① 盛土に用いる材料	①A種 ・B種 ・C種 ・D種 (22.2.3)(表3.2.1)																											
2 遮断層及び凍上抑制層の材料	<p>・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 (22.2.5)</p> <p>・凍上抑制層 ※切り込み砂利</p>																											
3 路床安定処理用材料	<p>※添加材料による安定処理 (表22.2.2)</p> <p>種類 ・普通級ルフトセメント ・ファイブセメントB種 ・生石灰() ・消石灰()</p> <p>添加量 Kg/m³</p>																											
4 路床土の支持力比試験	※行う(※乱した土 ・乱さない土) (22.2.5)																											
5 路床締め固め度の試験	※行う (22.2.5)																											
6 路盤材料	<p>※再生クラッシャーラン(RC-40) (22.3.3)(表22.3.1)</p> <p>・クラッシャーラン(C-40)又はクラッシャーランスラグ(CS-40)</p> <p>(22.4.2)(表22.4.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>車道部の基層</th> <th>カラー舗装の種類</th> </tr> <tr> <td>※アスファルト舗装</td> <td>※無し ・有り</td> <td>※顔料混入加熱アスファルト混合物</td> </tr> <tr> <td>・カラーアスファルト舗装</td> <td>※無し ・有り</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>カラー舗装の着色骨材 ・有色骨材(焼成) ・着色骨材(樹脂被覆)</p> <p>アスファルト ※再生アスファルト ・ストレートアスファルト (22.4.3)</p> <p>再生加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>※一般地域</th> <th>・寒冷地域</th> </tr> <tr> <td>表面</td> <td>※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)</td> <td>※密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度アスファルト混合物(13F)</td> </tr> <tr> <td>基層</td> <td colspan="2">・粗粒度アスファルト混合物(20)</td> </tr> </table> <p>シーラコート ※行わない ・行う(施工範囲) (22.4.5)</p> <p>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.4.6)</p> <p>早強セメント ※使用しない ・使用する (22.5.3)</p> <p>注入材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ</p> <p>溶接金網 ※有り ・無し (22.5.3)(22.5.4)</p> <p>厚さ試験 ※行わない ・行う (22.5.6)</p>	舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類	※アスファルト舗装	※無し ・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物	・カラーアスファルト舗装	※無し ・有り	・	区分	※一般地域	・寒冷地域	表面	※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)	※密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度アスファルト混合物(13F)	基層	・粗粒度アスファルト混合物(20)										
舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類																										
※アスファルト舗装	※無し ・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物																										
・カラーアスファルト舗装	※無し ・有り	・																										
区分	※一般地域	・寒冷地域																										
表面	※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)	※密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度アスファルト混合物(13F)																										
基層	・粗粒度アスファルト混合物(20)																											
⑦ アスファルト舗装																												
⑧ コンクリート舗装																												

9 透水性舗装	アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.6.6)																																			
1.0 排水性舗装	<p>アスファルト混合物 (表22.7.2)</p> <p>※改質アスファルト I型 ・改質アスファルト II型</p> <p>タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (表22.7.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用時期</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td>下記以外</td> <td>PKR-T1</td> </tr> <tr> <td>冬期</td> <td>PKR-T2</td> </tr> </table> <p>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.7.6)</p> <p>・コンクリート平板舗装 (22.8.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>目地材</th> </tr> <tr> <td>※普通平板(N) ・カラー平板(C)</td> <td>※300角</td> <td>※60</td> <td>※砂</td> </tr> <tr> <td>・洗出平板(W) ・擬石平板(S)</td> <td></td> <td></td> <td>・モルタル</td> </tr> </table> <p>・インターロッキングブロック舗装 (22.8.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色彩及び表面加工等</th> </tr> <tr> <td>※標準ブロック ・透水性ブロック</td> <td>車道部 ※80 歩道部 ※60</td> <td>※標準品</td> </tr> <tr> <td>・植生ブロック</td> <td>※80・100</td> <td></td> </tr> </table> <p>製造所 ※監督職員の承諾する製造所</p> <p>・舗石舗装 (22.8.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工方法</th> <th>規格品</th> </tr> <tr> <td>※小舗石(花こう岩)</td> <td>※80~100</td> <td>※うろこ張り</td> <td>※2等品</td> </tr> </table>	適用時期	種類	下記以外	PKR-T1	冬期	PKR-T2	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	※普通平板(N) ・カラー平板(C)	※300角	※60	※砂	・洗出平板(W) ・擬石平板(S)			・モルタル	種類	厚さ(mm)	色彩及び表面加工等	※標準ブロック ・透水性ブロック	車道部 ※80 歩道部 ※60	※標準品	・植生ブロック	※80・100		種類	厚さ(mm)	施工方法	規格品	※小舗石(花こう岩)	※80~100	※うろこ張り	※2等品
適用時期	種類																																			
下記以外	PKR-T1																																			
冬期	PKR-T2																																			
種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材																																	
※普通平板(N) ・カラー平板(C)	※300角	※60	※砂																																	
・洗出平板(W) ・擬石平板(S)			・モルタル																																	
種類	厚さ(mm)	色彩及び表面加工等																																		
※標準ブロック ・透水性ブロック	車道部 ※80 歩道部 ※60	※標準品																																		
・植生ブロック	※80・100																																			
種類	厚さ(mm)	施工方法	規格品																																	
※小舗石(花こう岩)	※80~100	※うろこ張り	※2等品																																	
2.3 植栽工事	<p>① 樹木の植栽基礎整備 ※行う (23.2.2)(23.2.3)(図23.2.1)(表23.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>樹木の樹高</th> <th>有効土層の厚さ(cm)</th> <th>工法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>・12m以上</td> <td>※100・120・150</td> <td>※A種</td> <td>・葉隠りの範囲</td> </tr> <tr> <td>①7~12m</td> <td>※80・100</td> <td>・B種</td> <td>(樹高7m以上)</td> </tr> <tr> <td>・7m未満</td> <td>※60・80</td> <td>・C種</td> <td>※植込み部分</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・D種</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>・芝、地被類 ※20 ※B種 ・ ※植栽範囲</p> <p>工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。</p> <p>② 植込み用土 ※現場発生土の良質土 ①客土(※畑土・黒土) (23.3.2)</p> <p>3 土壌改良材 ※行う(※バーク堆肥(50kg/m³) ・) (23.2.3)(23.2.4)</p> <p>施工箇所 ※植込み部分 ・図示</p> <p>4 支柱材 ※杉の焼丸太 ・竹 (23.3.2)</p> <p>5 幹巻き用材料 ※幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2)</p> <p>6 芝張り</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>※こららい芝</th> <th>・野芝</th> </tr> <tr> <td>客土</td> <td>※行わない</td> <td>・行う(※畑土・黒土)</td> </tr> </table> <p>(23.4.2) (23.3.2)</p>	樹木の樹高	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲	・12m以上	※100・120・150	※A種	・葉隠りの範囲	①7~12m	※80・100	・B種	(樹高7m以上)	・7m未満	※60・80	・C種	※植込み部分			・D種	・図示	種類	※こららい芝	・野芝	客土	※行わない	・行う(※畑土・黒土)									
樹木の樹高	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲																																	
・12m以上	※100・120・150	※A種	・葉隠りの範囲																																	
①7~12m	※80・100	・B種	(樹高7m以上)																																	
・7m未満	※60・80	・C種	※植込み部分																																	
		・D種	・図示																																	
種類	※こららい芝	・野芝																																		
客土	※行わない	・行う(※畑土・黒土)																																		

<p>④. 解体工事</p> <p>1. 建設副産物の処理については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律台147号）」及び「再生資源の利用に促進に関する法律（平成3年法律第48号）」に基づき適正に処理を行うこと。</p> <p>2. 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（以下、「建設リサイクル法」という。）及び「同施行規則」に基づき、適正に再資源化等を行うこと。</p> <p>3. 解体工事にあたっては、工事現場内で使用材料ごとに分別解体を行うこと。</p> <p>4. 施工者は、解体発生材の処理について「建設副産物適正処理推進要領」に基づき適正に処理すること。</p> <p>5. 建設副産物のうち建設リサイクル法で特定しているもの以外の有用なもので原材料として利用できるもの（以下、「再生資源」という）は、建設工事等の資材の材料として利用（以下「再資源化」という。）できるようにすること。（鉄くず、アルミ、ガラス等）</p> <p>6. 本工事の施工者が関係法令に基づき必要となる諸官庁への手続きについては、もれなく行うこと。</p> <p>7. 施工者は、契約後速やかに施工計画書を提出するとともに、建設副産物の発生抑制、再資源化及び減量化並びに適正処理について「再生資源利用促進計画書」を作成して、監督員の承諾を受けること。</p> <p>8. 施工者は、解体工事の完成後、速やかに「再生資源利用促進計画」の実施状況を把握して「再生資源利用促進実施書」に管理表（マニュアル）を添付して、監督員に提出すること。</p> <p>9. 解体建物及び解体工作物等の工事範囲は、地中内にある構造物（地中梁、基礎、配管類等）まで撤去し、埋め戻し及び整地すること。ただし、利用する配管類は保存すること。</p> <p>10. PCB入り機器類については、液漏れ等防止のため腐食しない容器に収容して監督員の指定する場所まで運搬し、監督員の収納すること。</p> <p>11. 分別解体の状況、材料ごとの運搬車への積み込み状況、運搬車が中間処理施設へ廃棄物を搬入している状況等は、入念に写真撮影しておくこと。また、中間処理施設から先の処理経路についても適正に処理されているかが確認できる写真・契約書等の資料を監督員の指示により提出すること。</p>	<p>19. 工事関係提出書類等については「工事関係提出一覧表」（宮精課ホームページ掲載）を熟読し遺漏の無いように提出すること。</p> <p>20. 次の工事施工計画書を提出すること。 ○総合施工計画書（総合的な計画をまとめたもの） ・工種別施工計画書（工種は監督職員の指示による） このなかで、使用材料・施工体制（下請け施工者の責任者等）も明らかにすること。</p> <p>21. 環境対策及び再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法を書面等により、明確にすること。（建設機械については、排ガス対策型の建設機械の使用を原則とする。）</p> <p>22. 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書(共に最新版)」による。</p> <p>23. 地中埋設物について、図面及び現地により、詳細に調査すること</p> <p>24. 前面道路周辺の近隣住民の安全に十分に配慮すること。</p> <p>25. 請負者は、本工事でリサイクルできない廃棄物（中間処理施設へ持ち込めないもの）は県内最終処分場での優先処理に努めるものとする。</p> <p>26. 請負者は、本工事で25で処理する廃棄物及びメーカー等が回収する廃棄物以外の廃棄物は、県内中間処理施設での優先処分に努めること。</p> <p>27. 工事完成時に工事関係書類等を必要部数提出すること。（山梨県営繕課工事関係提出一覧表に準じる）</p> <p>28. 工事写真を完成（工事検査）時に提出すること。</p>		
	<p>⑤. 雑工事</p> <p>1 ポスト 型郵便受け 1ヶ所</p> <p>② ビクチャレール 埋込型（杉田エース：C-K） 管理棟</p> <p>3 バリカー 5本</p> <p>④ 屋外看板・屋内サイン サイン図参照</p> <p>⑤ 消火器ボックス S t 設置型（杉田エース：U F B -3 F -W H T）同程度5ヶ所</p> <p>⑥ 消火器・大型消火器 A B C 粉末10型 5本</p> <p>7 定礎 S t 設置型（杉田エース：U F B -3 F -W H T）同程度6ヶ所</p> <p>8 消火器ボックス ステンレスPL 600×600 エッチング文字</p>		
<p>12. 解体工事中に飛散性アスベストが含有されている恐れのある材料が確認された場合は、作業を中断して、速やかに監督員に報告し、指示に従うこと。（事前調査では飛散性のアスベストは確認されなかった。調査報告を参照して解体工事を行うこと。非飛散性及びびみなしアスベスト含有の部材はリストを確認して適切に処理を行うこと。）</p> <p>13. 現場への搬入路は、破損のないよう留意し、もし破損した場合は速やかに復旧すること。</p> <p>14. 工事関係者以外の者の現場への侵入防止や適切な場所に交通整理員を配置するなどして解体工事現場内及び周辺道路の安全管理に十分配慮すること。</p> <p>15. 有害物質等及び有害物質等含有物の撤去及び処理にあたっては、事前調査・事前措置を行い関係法令等に従って適正に行うこと。 （関係法令等） ○廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律） ○労働安全衛生法・同法施行令・石綿障害予防規則 ○大気汚染防止法 ○PCB廃棄物特別措置法（PCB廃棄物ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する法律） ○フロン回収破壊法（特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律） ○ダイオキシン類対策特別措置法・同法施行令・廃棄物焼却施設内におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱・環境庁ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル ○建設リサイクル法（建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律）</p> <p>16. 解体工事で発生が予想される騒音、粉塵、振動等については、事前にその内容を検討して必要な措置を行うこと。なお、苦情等が発生した場合は、速やかに誠意をもって対応すること。</p> <p>17. 暴力団等からの不当要求及び工事妨害の排除 (1) 請負者は、工事の施工に当たり、暴力団等からの不当要求及び工事妨害を受けた場合は、その旨を直ちに発注者に報告するとともに、所轄の警察署に届け出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。 (2) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに発注者と協議すること。 (3) 請負者が(1)の報告等を怠った場合は、「山梨県建設工事に係る指名停止等措置要領」に基づき、指名停止措置を行うこととする。</p> <p>18. 請負者は、工事の施工にあたり、使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油を使用してはならない。また、請負者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。</p>			

TITLE

MEMO

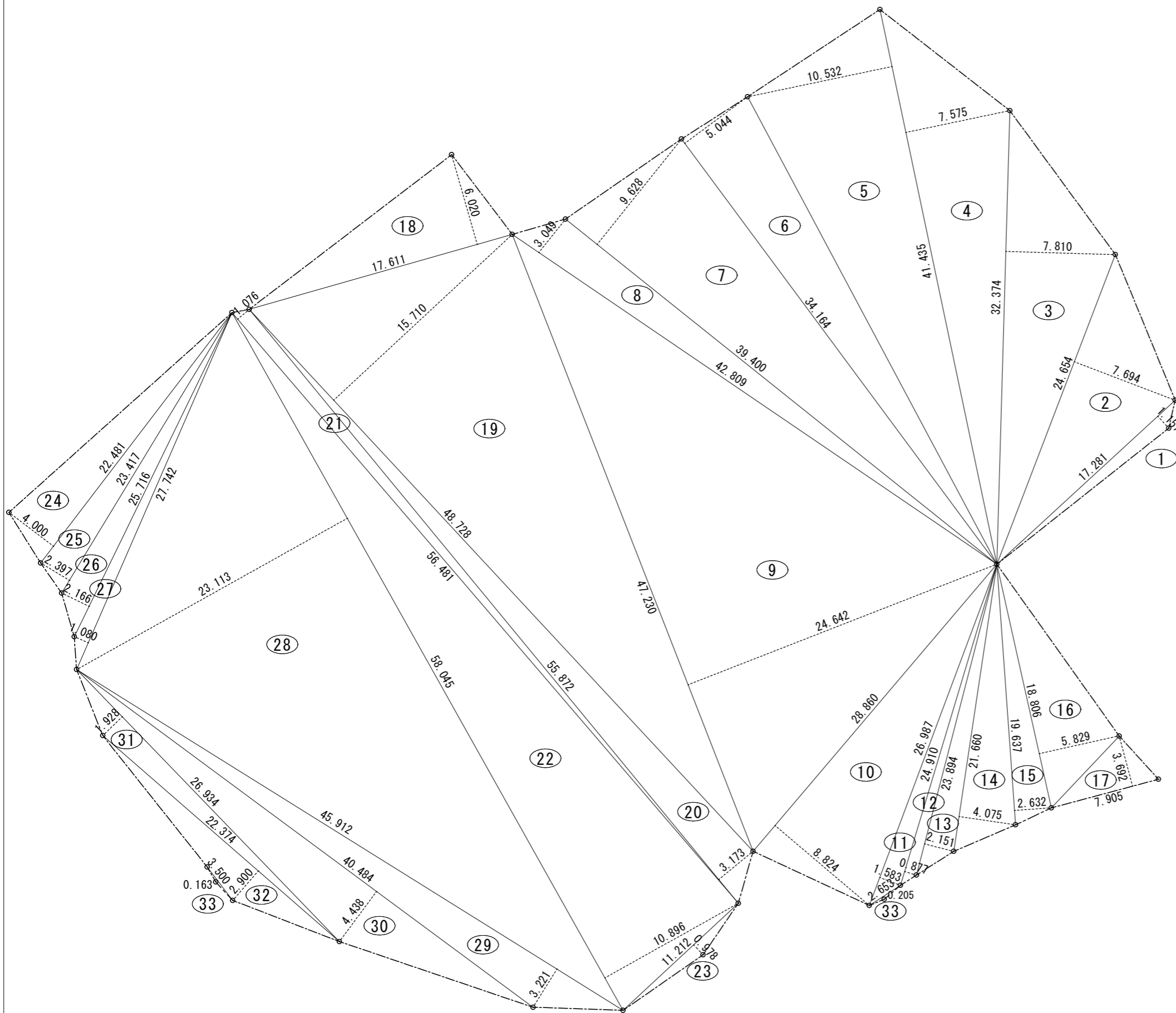
DATE

ITEM

SCALE

CHECK

NO



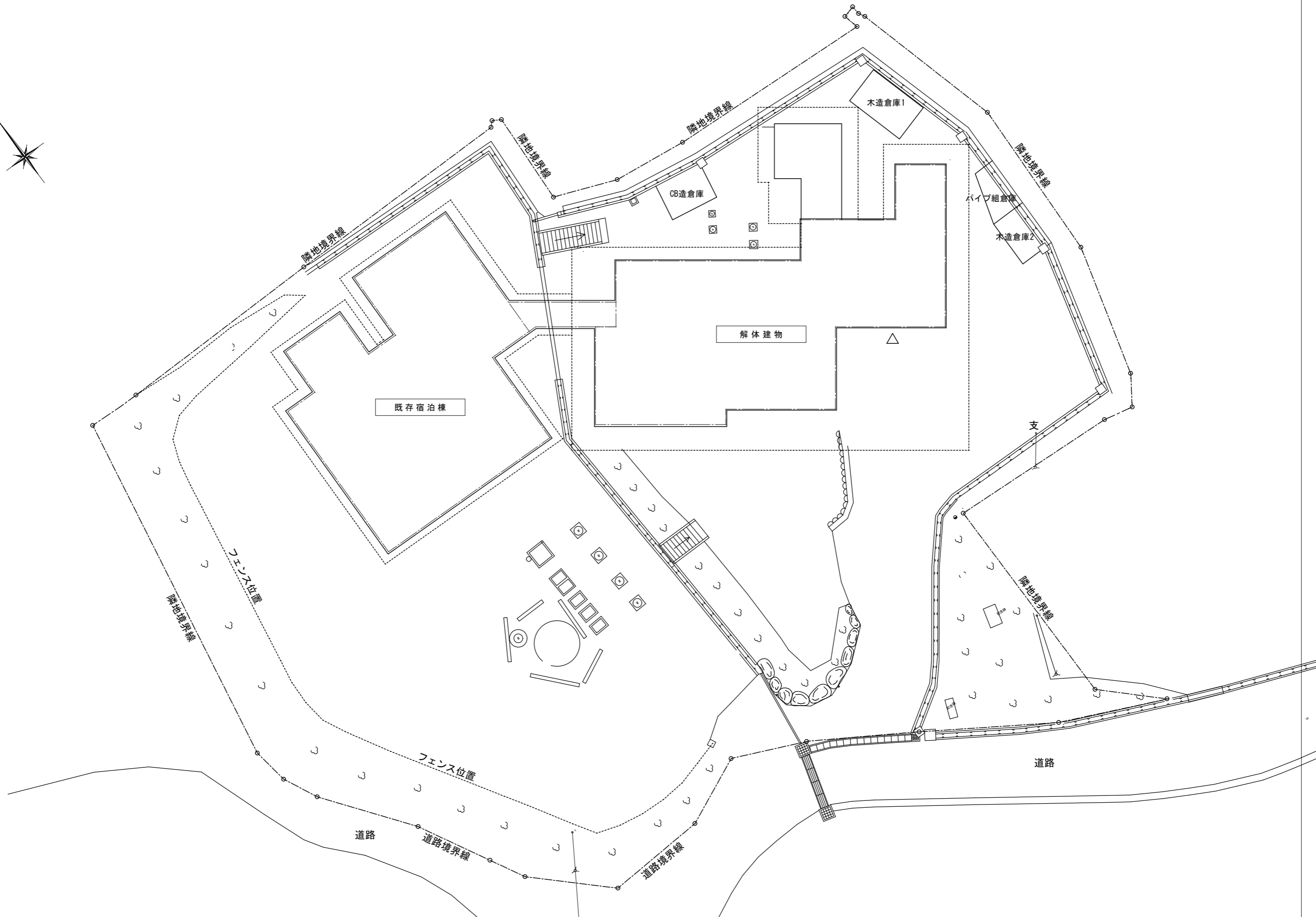
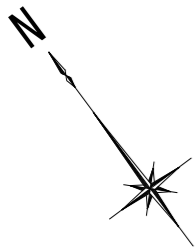
記号	底辺	×	高さ	×	1/2	倍面積
①	17.281	×	1.157	×	1/2	9.997
②	24.654	×	7.694	×	1/2	94.844
③	32.374	×	7.810	×	1/2	126.420
④	41.435	×	7.575	×	1/2	156.935
⑤	41.435	×	10.532	×	1/2	218.197
⑥	34.164	×	5.044	×	1/2	86.162
⑦	39.400	×	9.628	×	1/2	189.672
⑧	42.809	×	3.049	×	1/2	65.262
⑨	47.230	×	24.642	×	1/2	581.921
⑩	28.860	×	8.824	×	1/2	127.330
⑪	26.987	×	1.583	×	1/2	21.360
⑫	24.910	×	0.877	×	1/2	10.923
⑬	23.894	×	2.151	×	1/2	25.698
⑭	21.660	×	4.075	×	1/2	44.132
⑮	19.637	×	2.632	×	1/2	25.842
⑯	17.806	×	5.829	×	1/2	54.810
⑰	7.905	×	3.692	×	1/2	14.593
⑱	17.611	×	6.020	×	1/2	53.009
⑲	47.728	×	15.710	×	1/2	382.758
⑳	54.872	×	3.173	×	1/2	88.641
㉑	55.481	×	1.076	×	1/2	30.387
㉒	57.045	×	10.896	×	1/2	316.229
㉓	11.212	×	0.978	×	1/2	5.483
㉔	22.481	×	4.000	×	1/2	44.962
㉕	23.417	×	2.397	×	1/2	28.065
㉖	25.716	×	2.166	×	1/2	27.850
㉗	27.742	×	1.080	×	1/2	14.981
㉘	57.045	×	23.113	×	1/2	670.797
㉙	45.912	×	3.221	×	1/2	73.941
㉚	40.484	×	4.438	×	1/2	89.834
㉛	26.934	×	1.928	×	1/2	25.964
㉜	22.374	×	2.900	×	1/2	32.442
㉝	2.999	×	0.163	×	1/2	0.285
㉞	2.653	×	0.205	×	1/2	0.272
合計						3,740.000
敷地面積						3,740.00

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）
 ITEM 敷地求積図

MEMO
 SCALE 1 : 300

DATE
 CHECK

NO D-09



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

MEMO 支

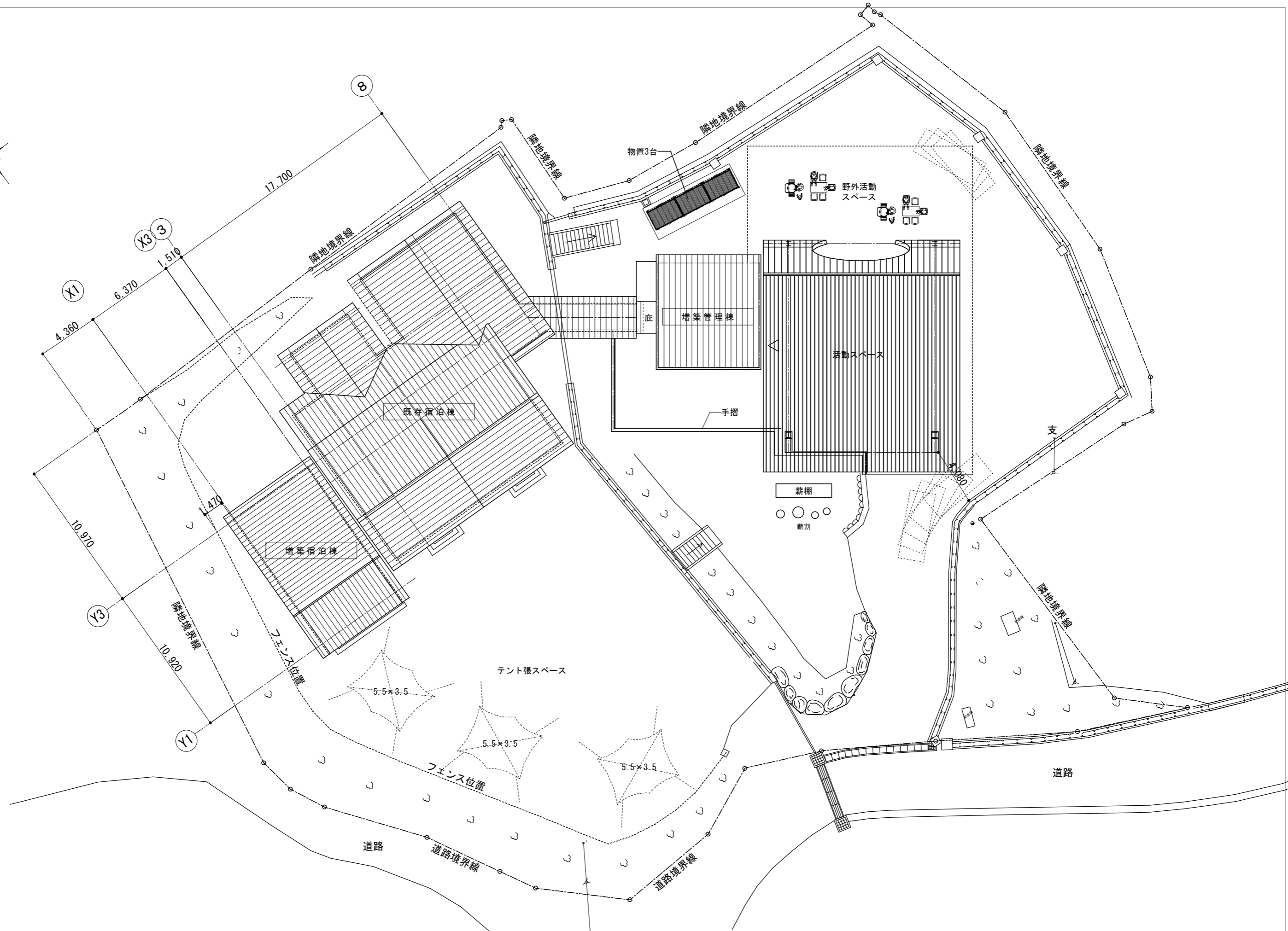
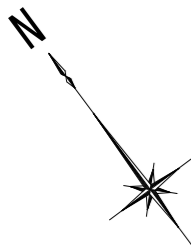
DATE

ITEM 【改修前】配置図

SCALE 1 : 250

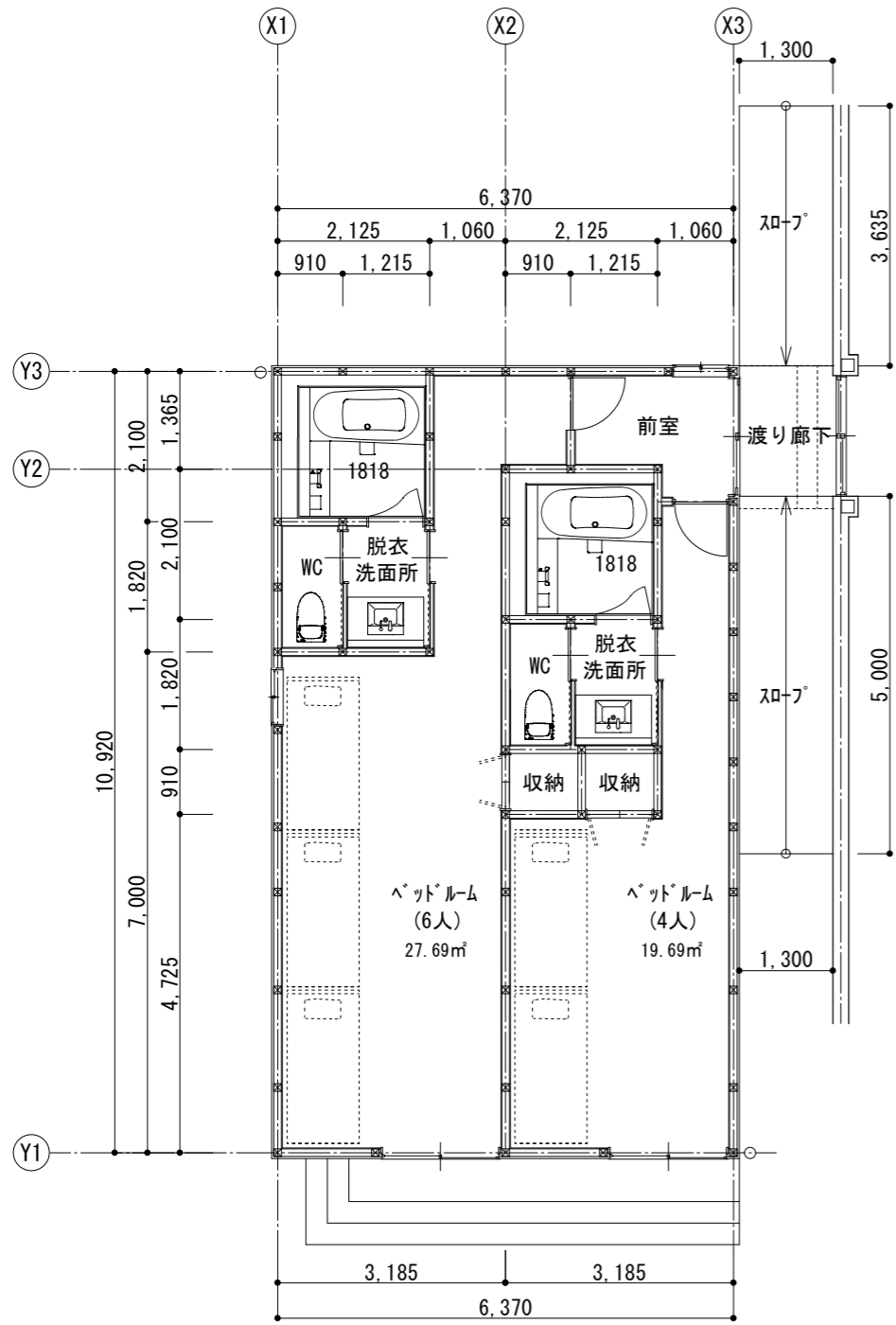
CHECK

NO D-10

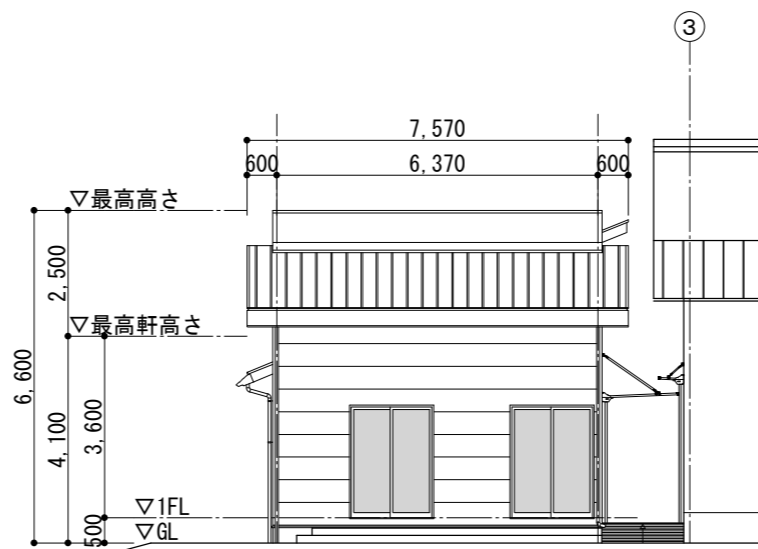


TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）
ITEM 【改修後】配置図

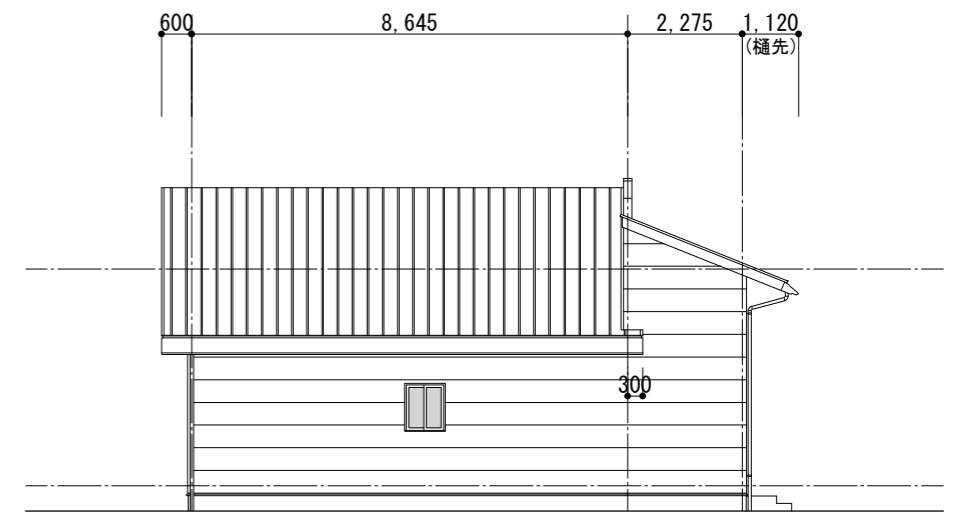
MEMO 支
SCALE 1 : 250
DATE
CHECK



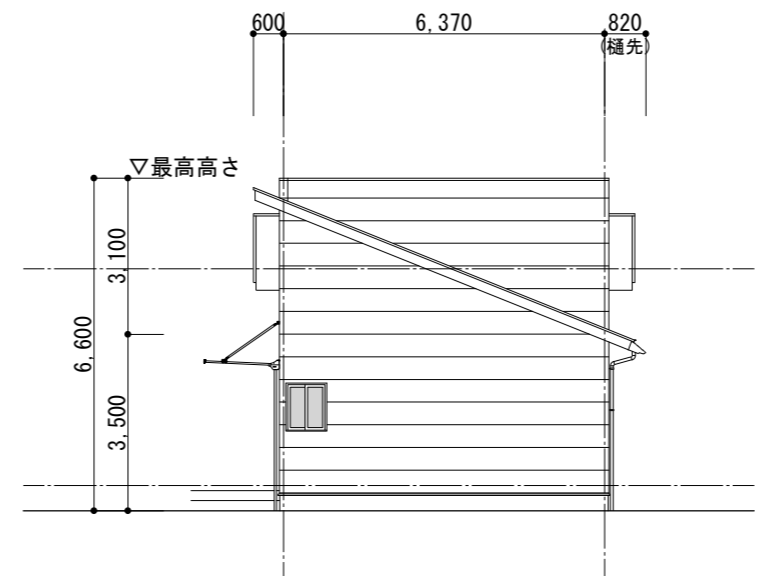
増築宿泊棟
1:100



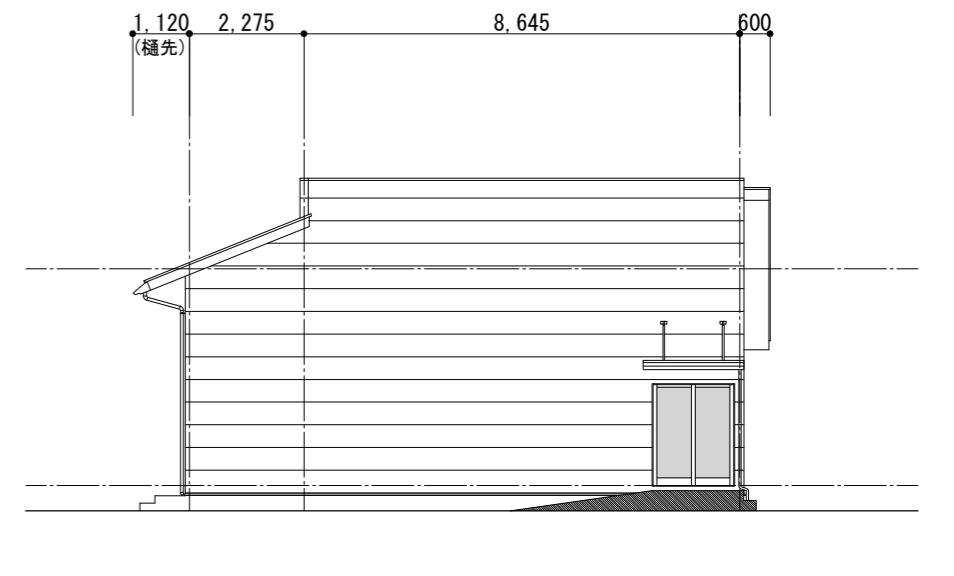
南側立面図
1:150



西側立面図
1:150



北側立面図
1:150

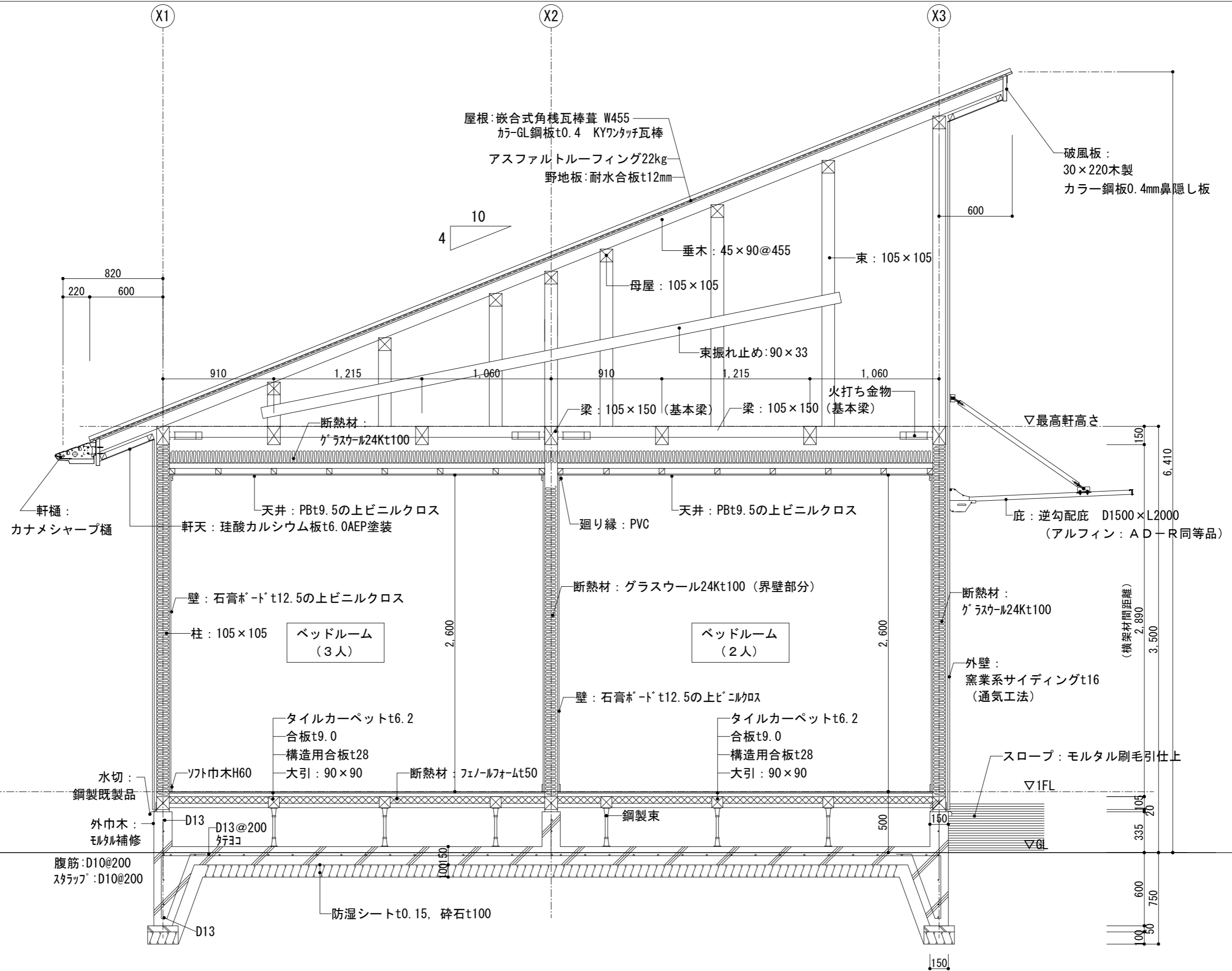


東側立面図
1:150

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）
ITEM 【増築宿泊棟】平面・立面図

MEMO
SCALE 1:100 / 1:150

DATE
CHECK



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

ITEM 【増築宿泊棟】 矩計図 1

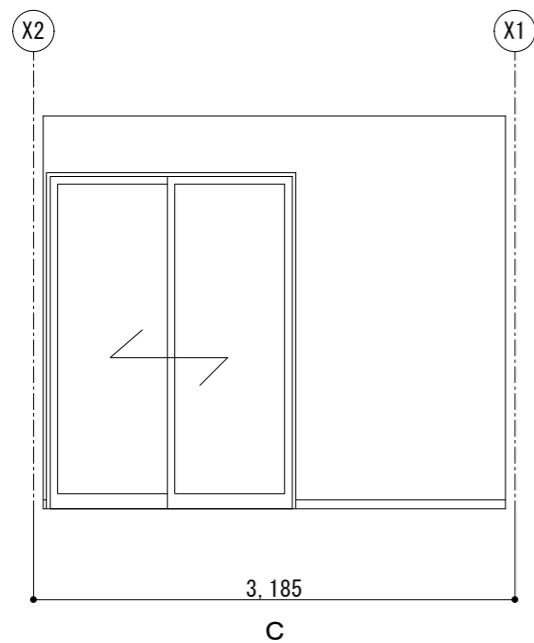
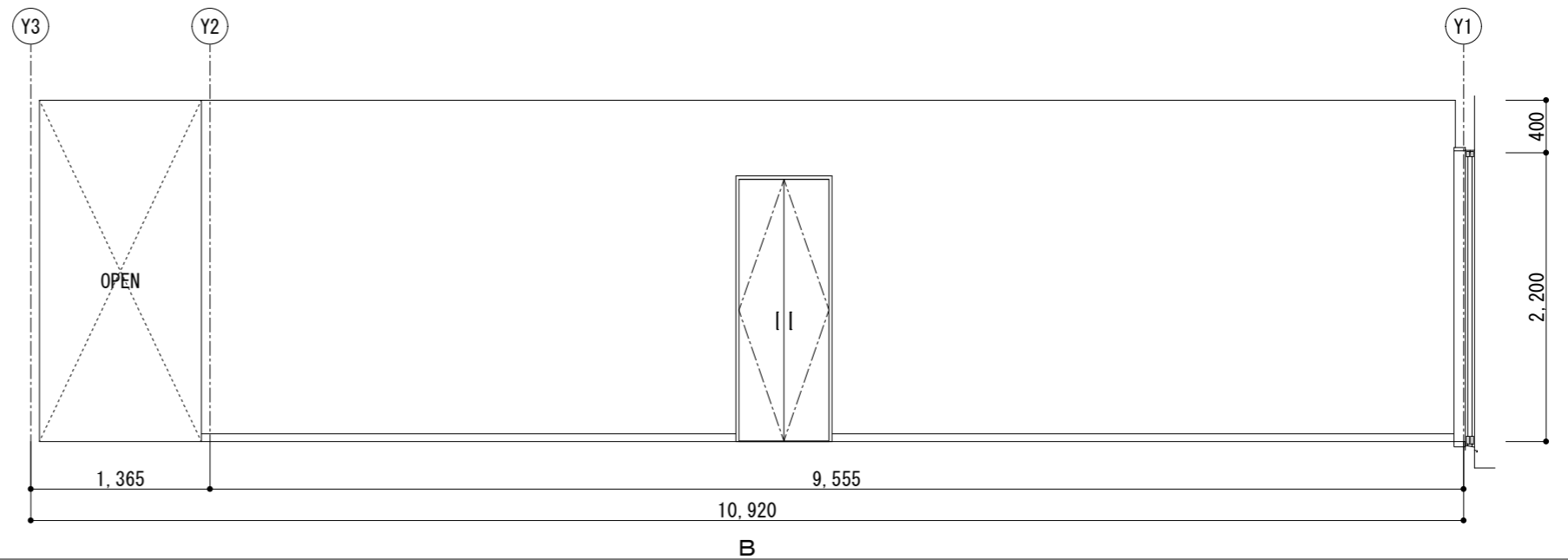
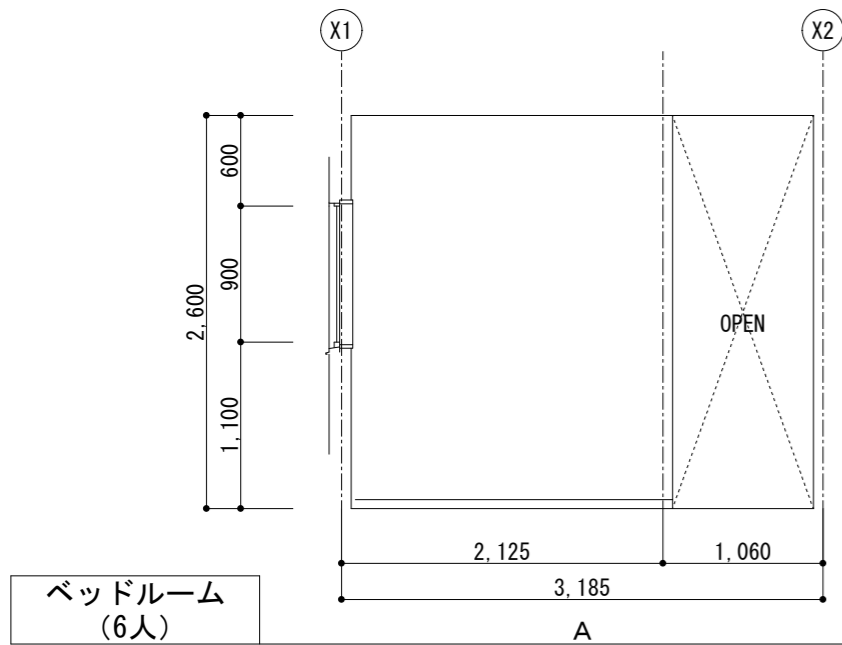
MEMO

SCALE 1 : 30

DATE

CHECK

NO D-14



ベッドルーム (3人)	
床	合板t9.0上タイルカーペットt6.2
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	石膏ボードt12.5下地の上 ビニルクロス
天井	石膏ボードt9.5下地の上 ビニルクロス
備考	

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

ITEM 【増築宿泊棟】展開図 1

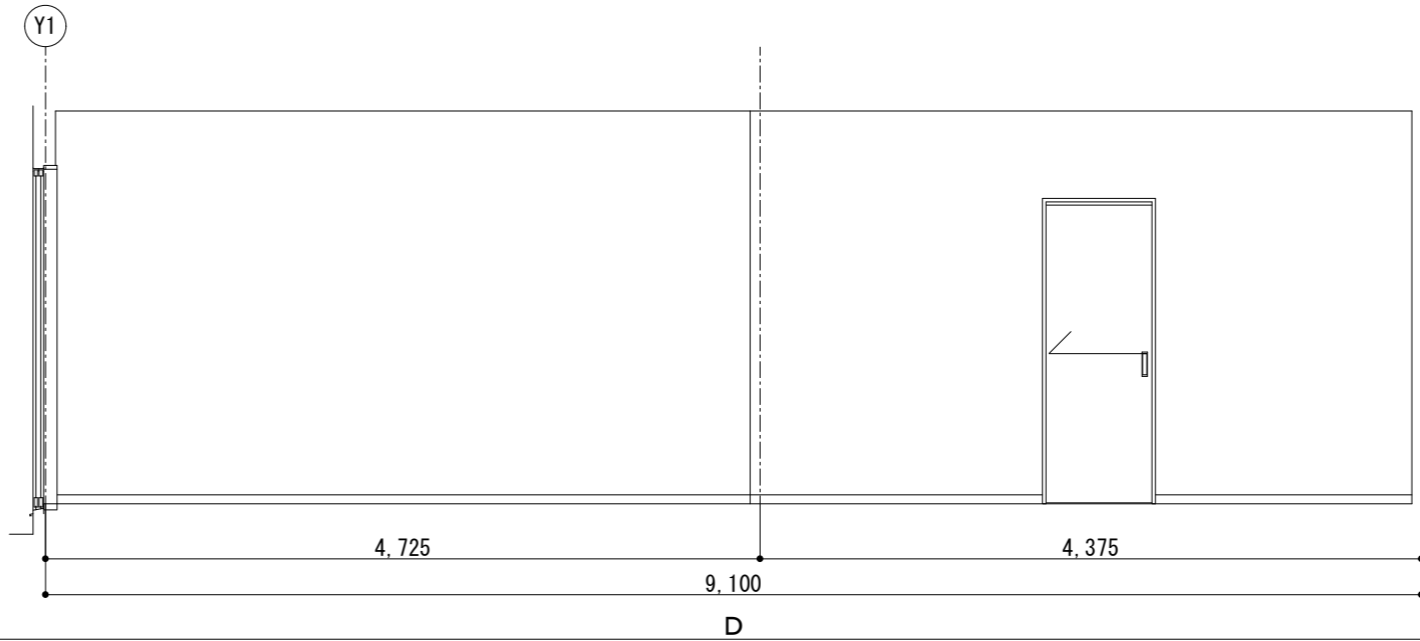
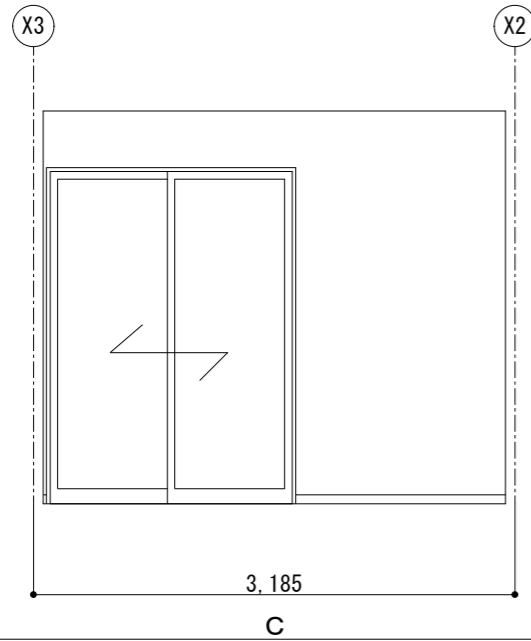
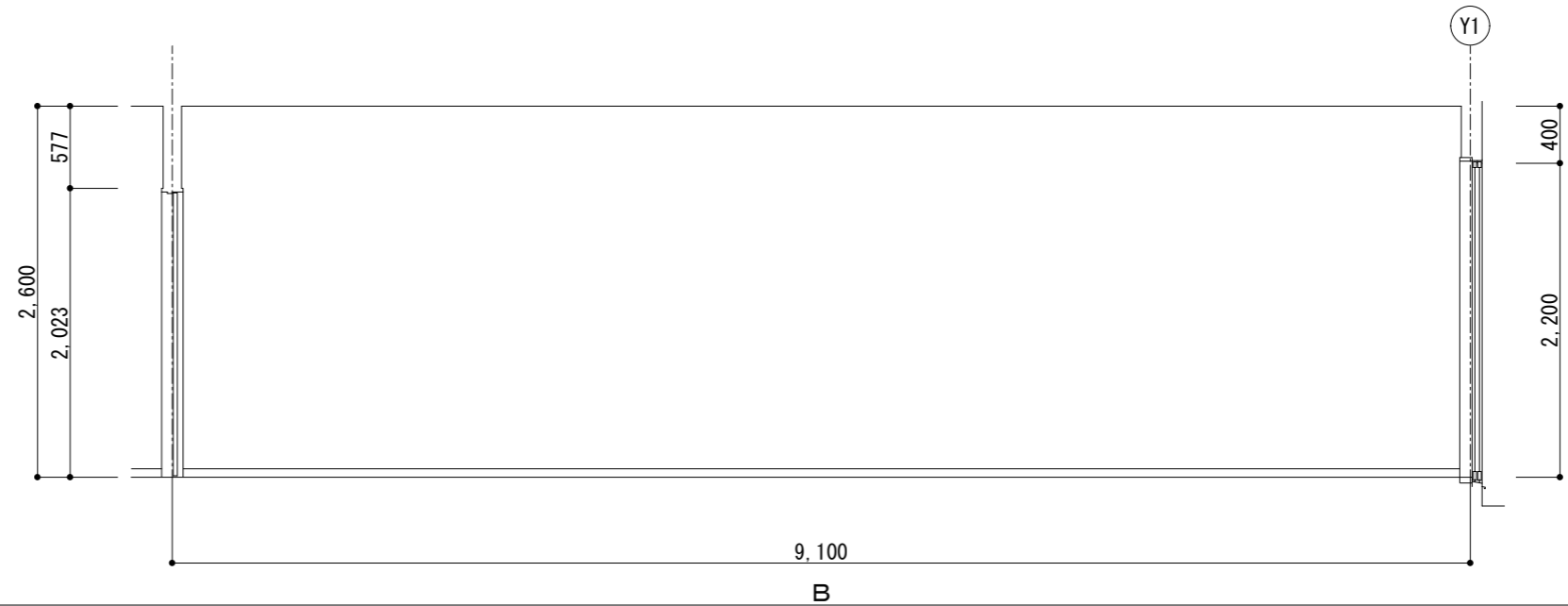
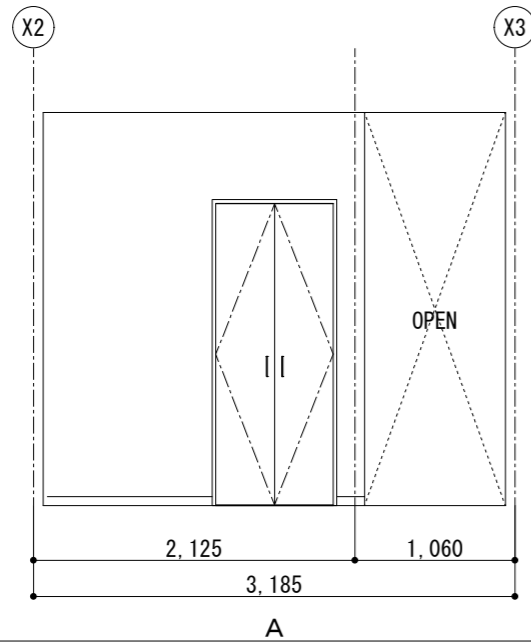
MEMO

SCALE 1 : 50

DATE

CHECK

ベッドルーム
(4人)



ベッドルーム (2人)	
床	合板t9.0上タイルカーペットt6.2
巾 木	ソフト巾木 H=60
壁	石膏ボードt12.5下地の上 ビニルクロス
天 井	石膏ボードt9.5下地の上 ビニルクロス
備 考	

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

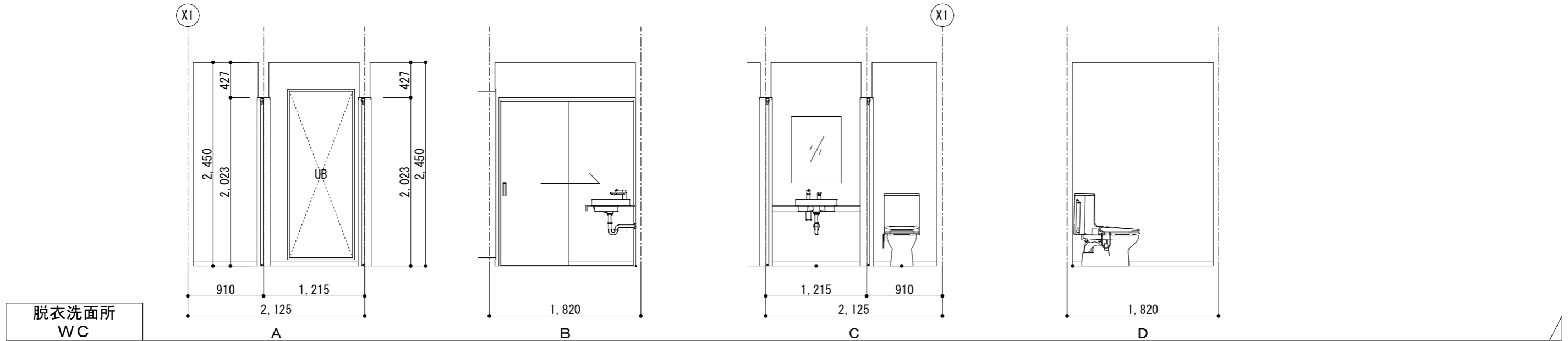
MEMO

DATE

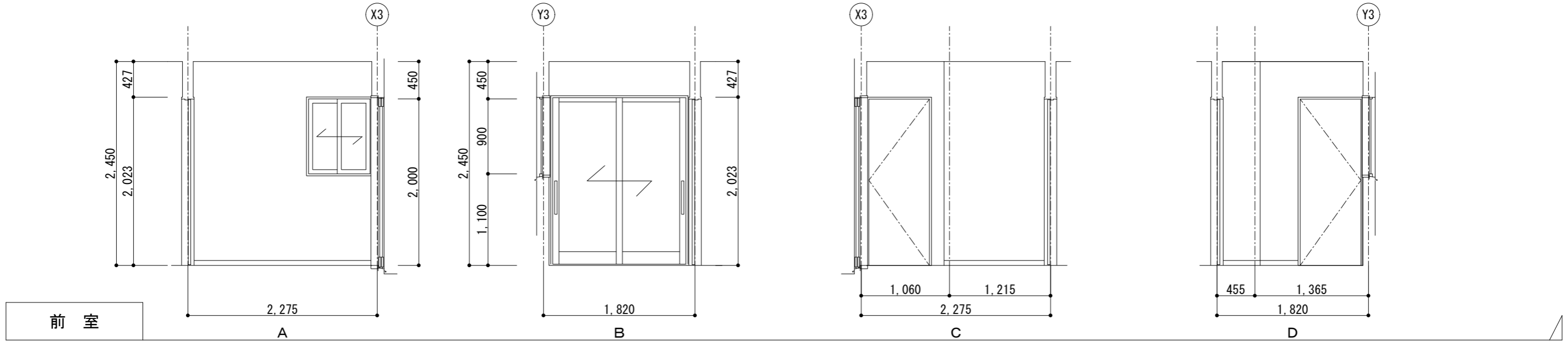
ITEM 【増築宿泊棟】展開図 2

SCALE 1 : 50

CHECK



脱衣洗面所
WC



前室

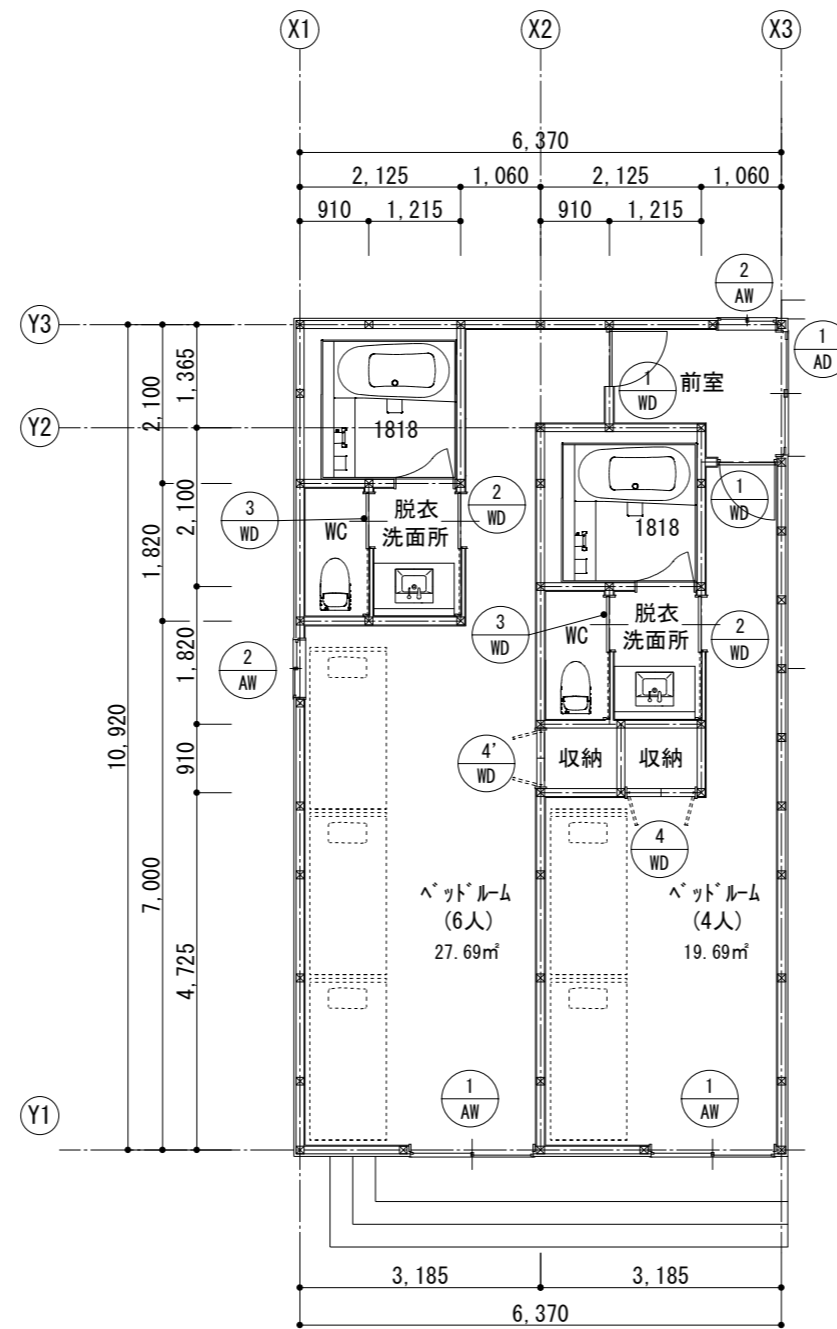
前室	
床	合板t9.0上タイルカーペットt6.2
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	石膏ボードt12.5下地の上 ビニルクロス
天井	石膏ボードt9.5下地の上 ビニルクロス
備考	

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）
ITEM 【増築宿泊棟】展開図 3

MEMO
SCALE 1 : 50

DATE
CHECK

ベッドルーム (3人) : 27.69㎡
 AW-1, AW-2
 採光 : $27.69 \times 1/7 = 3.96$
 $1.60 \times 2.2 + 0.74 \times 0.9$
 $= 4.18\text{㎡} > 3.96\text{※OK}$
 換気 : $27.69 \times 1/20 = 1.385$
 $1.60 \times 2.2 \times 1/2 + 0.74 \times 0.9 \times 1/2$
 $= 2.09\text{㎡} > 1.385\text{※OK}$
 排煙 : $27.69 \times 1/50 = 0.554$
 $1.60 \times 0.55 \times 1/2 + 0.74 \times 0.35 \times 1/2$
 $= 0.56\text{㎡} > 0.554\text{※OK}$



ベッドルーム (2人) : 19.69㎡
 AW-1
 採光 : $19.69 \times 1/7 = 2.813$
 1.60×2.2
 $= 3.52\text{㎡} > 2.813\text{※OK}$
 換気 : $19.69 \times 1/20 = 0.985$
 $1.60 \times 2.2 \times 1/2$
 $= 1.76\text{㎡} > 0.985\text{※OK}$
 排煙 : $19.69 \times 1/50 = 0.394$
 $1.60 \times 0.55 \times 1/2$
 $= 0.44\text{㎡} > 0.394\text{※OK}$

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

MEMO

DATE

ITEM 【増築宿泊棟】キープラン図

SCALE 1 : 100

CHECK

記号	① AD 前室 1	① AW ベッドルーム 2	② AW ベッドルーム(3人)・前室 2
姿図			
形式	引違ドア	アルミ樹脂複合 引違い窓	アルミ樹脂複合 引違い窓
材質・仕上	アルミ (カラー)	アルミ (ステンカラー) /樹脂	アルミ (ステンカラー) /樹脂
見込	70mm	70mm	70mm
硝子	強化ガラス6+A12+LowE3	FL4+A12+LowE3	FL4+A12+LowE3
金物	ドアハンドル、シリンダー錠	水切り、クレセント、額縁：樹脂既製品、網戸	水切り、クレセント、額縁：樹脂既製品、網戸
	衝突防止マーク	16020	07409
備考	付属金物一式 (マスターキー：WD-1, 2箇所対応)	付属金物一式	付属金物一式

記号	① WD ベッドルーム 2	② WD 脱衣洗面所 2	③ WD WC 2	④ WD 収納 1	④' WD 収納 1
姿図					() はWD-4'
形式	片開き戸	片開き戸	片引きトイレドア	クローゼットドア	
材質・仕上					
見込					
硝子					
金物	サムターンシリンダー錠、ドアチェーン		表示錠		
	ラシッサ LAA : LIXIL同等品	ラシッサ LAA : LIXIL同等品	ラシッサ LAA : LIXIL同等品	ラシッサ LAA : LIXIL同等品	
備考	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

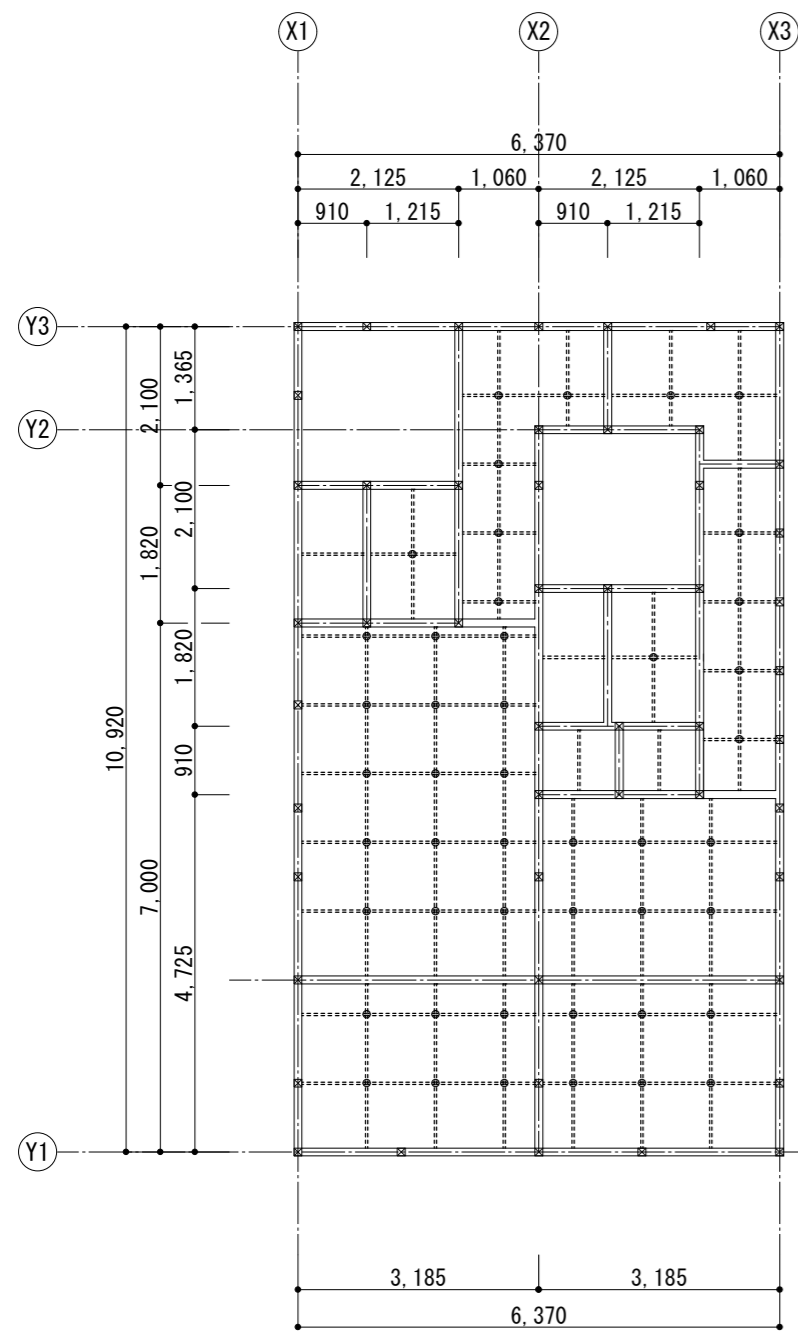
MEMO

DATE

ITEM 【増築宿泊棟】 建具表

SCALE 1 : 100

CHECK

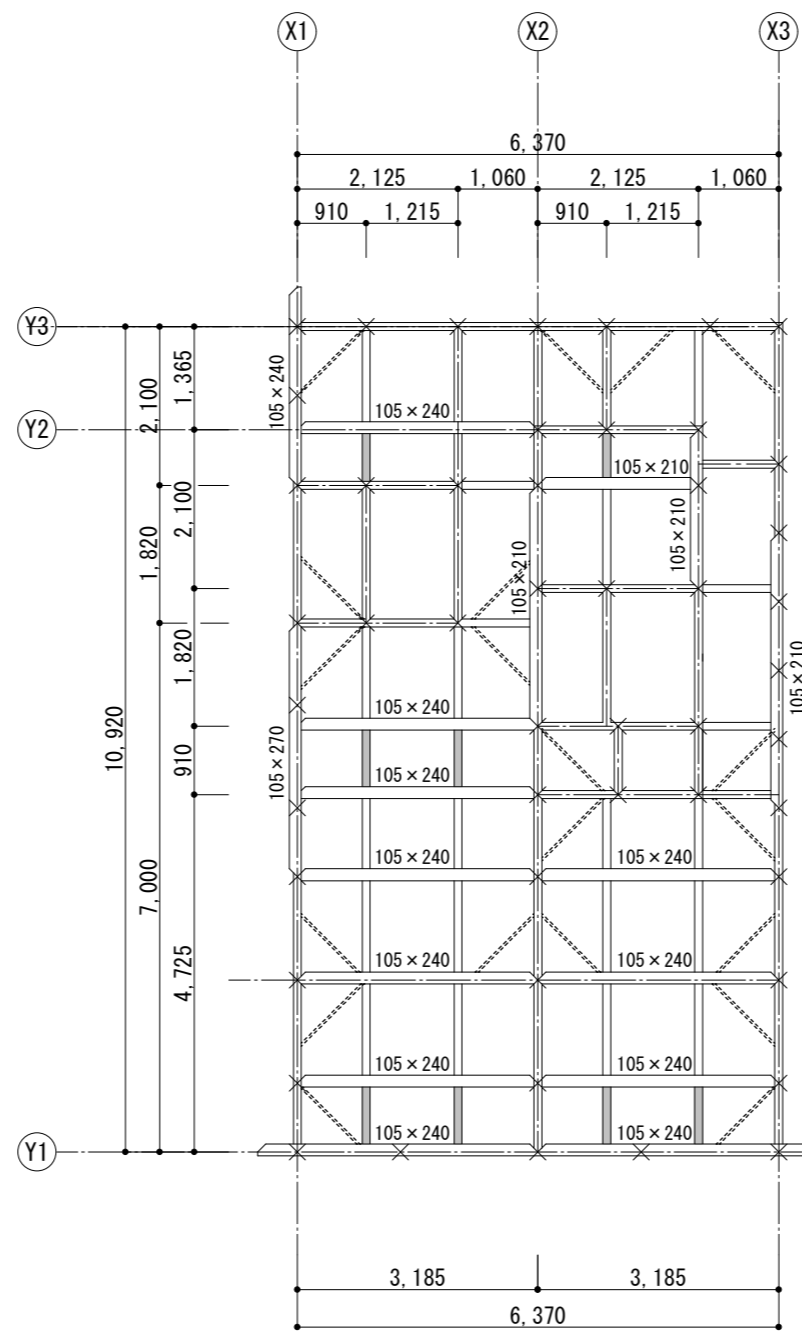


土台伏図

土台 : 105 × 105

..... 大引 : 90 × 90

○ スチール製床束



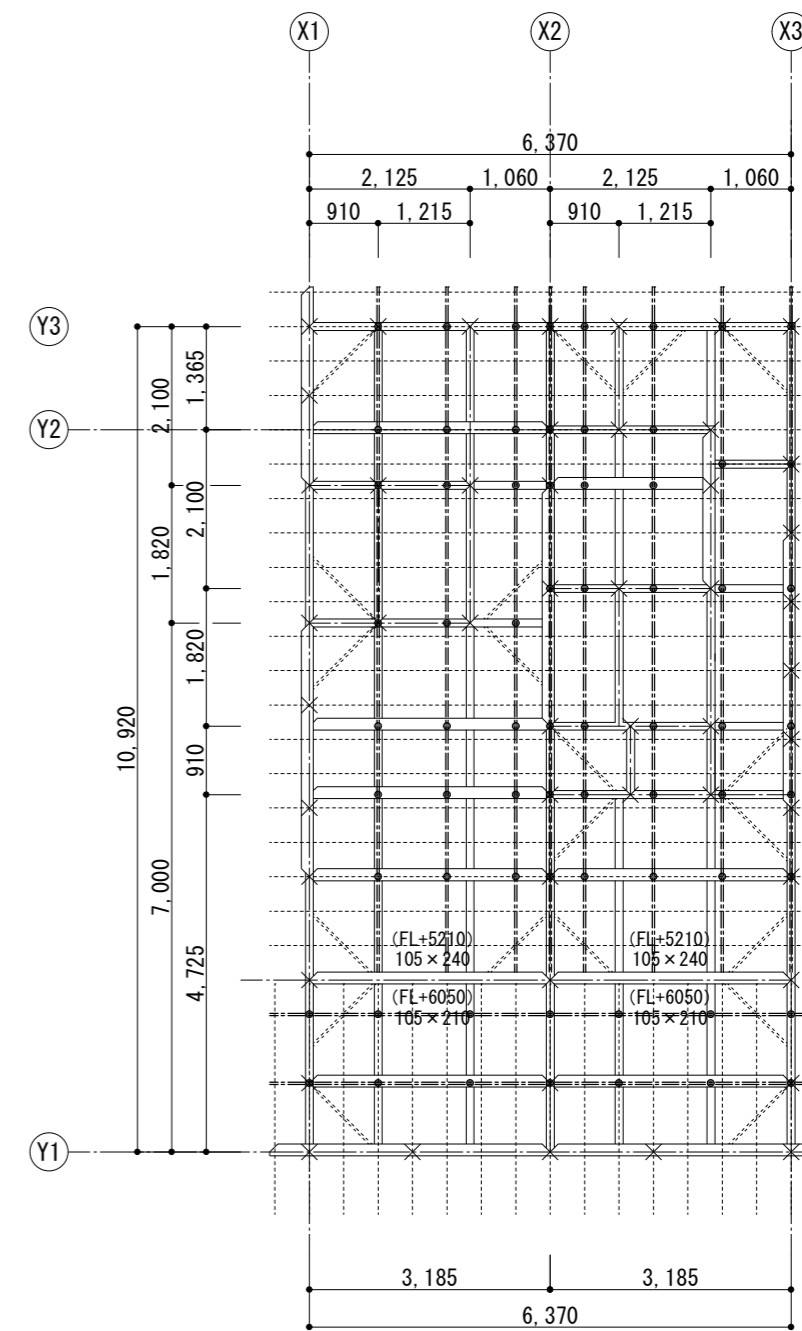
小屋伏図 1

× 1階柱

特記なき梁は105 × 180

==== 105 × 105

..... 火打ち金物



小屋伏図 2

---- 母屋 : 105 × 105 @ 910

..... 垂木 : 45 × 90 @ 455

○ 束 : 105 × 105

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

ITEM 【増築宿泊棟】伏図

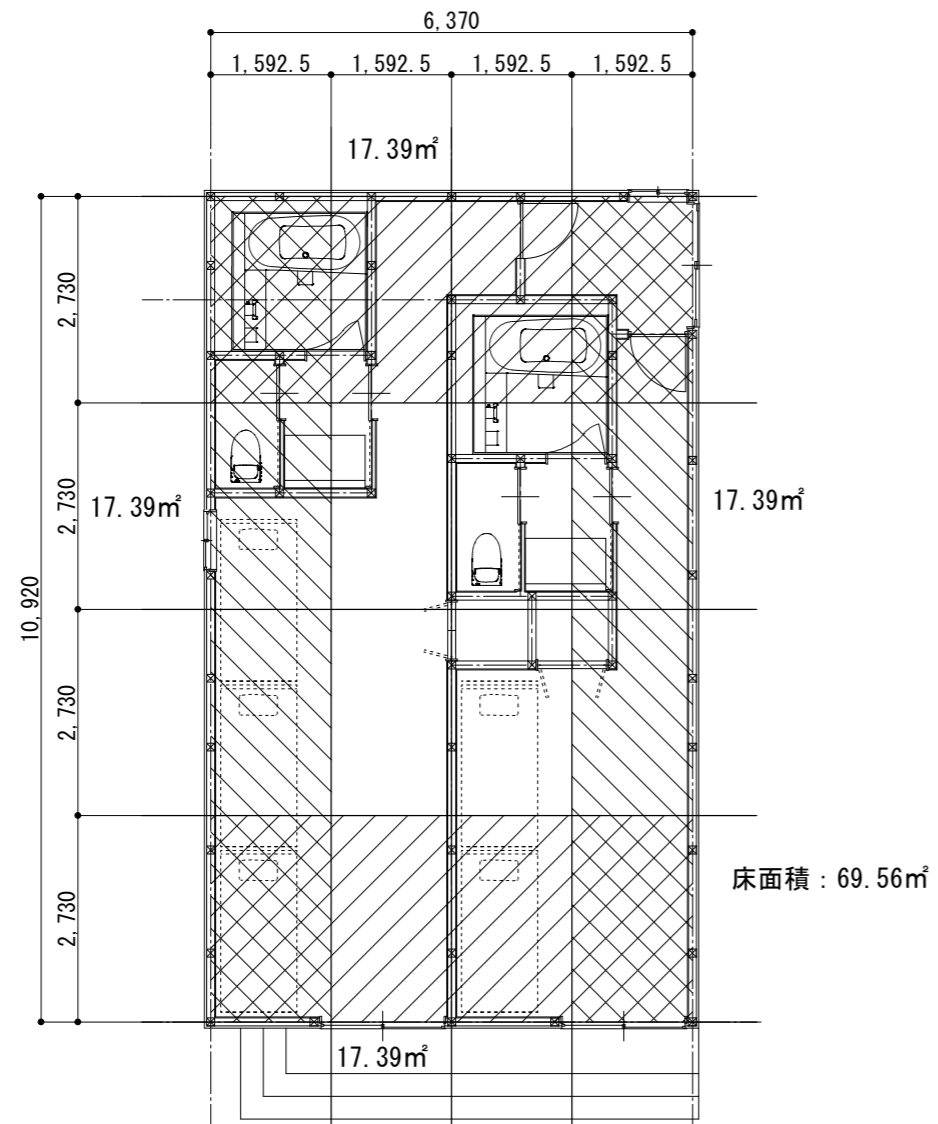
MEMO

SCALE 1 : 100

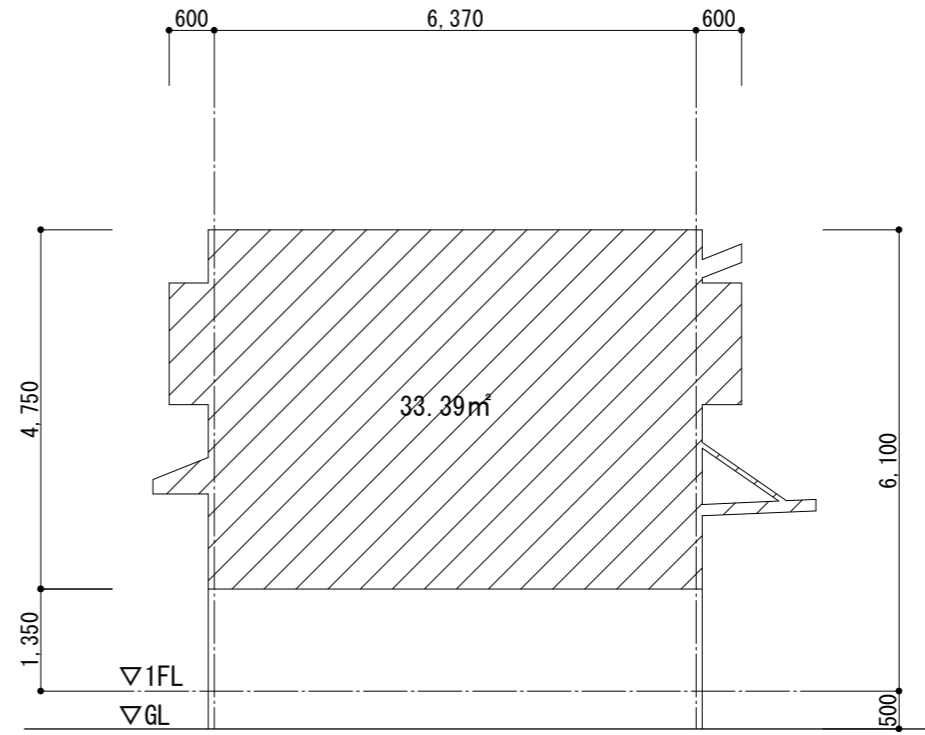
DATE

CHECK

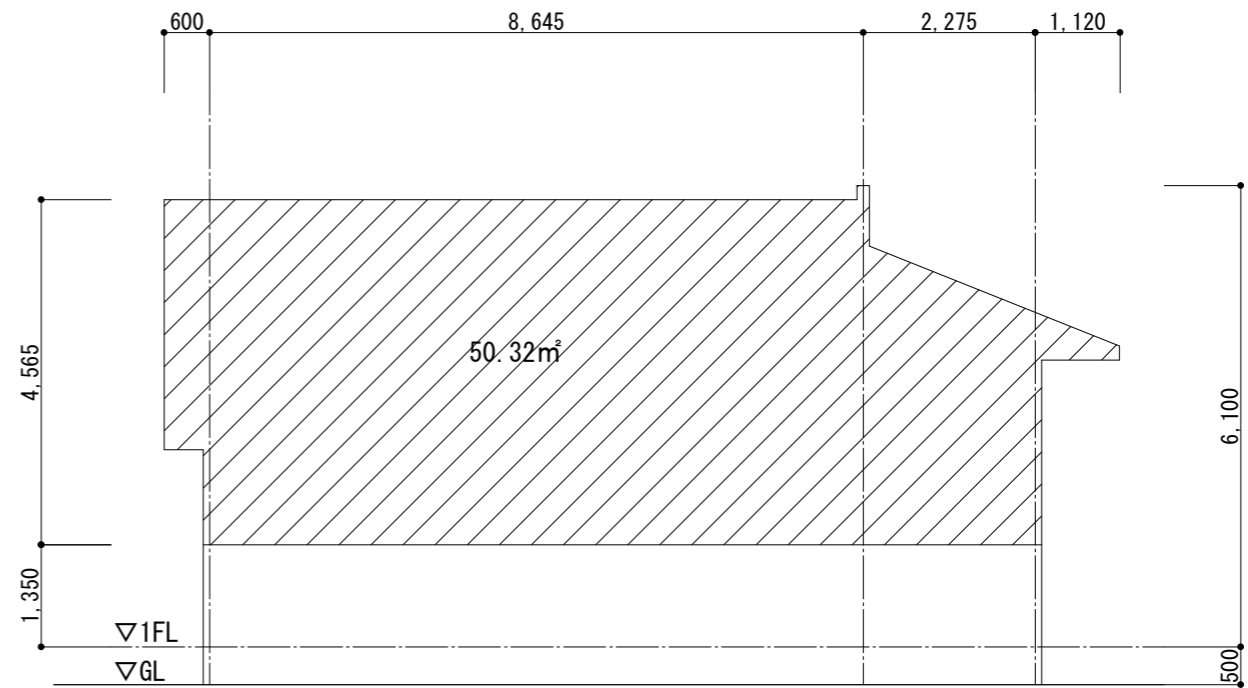
NO D-21



平面図



Y方向の見付面積 (はり間)



X方向の見付面積 (桁行)

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

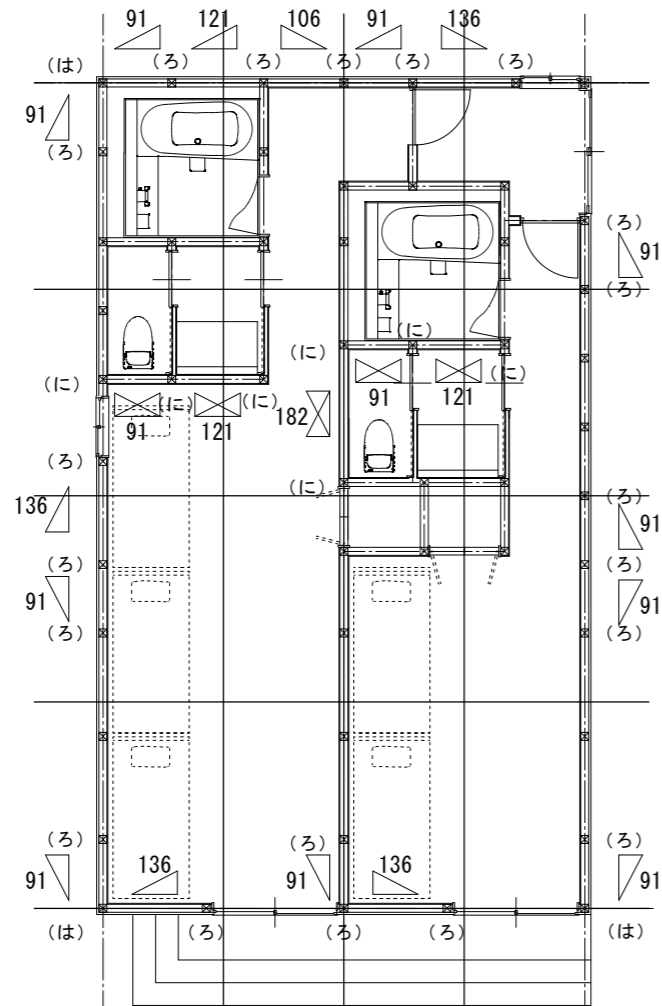
MEMO

DATE

ITEM 【増築宿泊棟】耐力壁算出 (求積図)

SCALE 1 : 100

CHECK



平面図

凡例

- 土台 : 105×105
- 柱 : 105×105
- 梁・頭繫 : 105×150 (基本サイズ)
- 母屋 : 105×105@910
- 小屋束 : 105×105
- 鋼製火打
 - △ : 45×90筋交い 壁倍率2.0
 - ◻ : 45×90筋交い (たすき) 壁倍率4.0

樹種

- 構造材 : ひのき (代用樹種の使用可)
- 造作材 : 松, 杉, ひのき (代用樹種の使用可)
- 下地材 : 松, 杉 (代用樹種の使用可)
- 代用樹種 : 国交省標準仕様書 表12.2.2による

・柱頭、柱脚接合部仕様 (平12建告第1460号表3)

	継手・仕口の仕様 又は、同等以上の接合方法
(い)	短ほぞ差し、かすがい打ち
(ろ)	長ほぞ差し込み栓打ち、又は、かど金物CP-L
(は)	かど金物CP-L、又は、山形プレートVP
(に)	羽子板ボルトSB、又は、短冊金物S
(ほ)	羽子板ボルトSB、又は、短冊金物S (スクリーナ釘あり)
(へ)	10kN用引き寄せ金物 (HD-B10)
(と)	15kN用引き寄せ金物 (HD-B15)
(ち)	20kN用引き寄せ金物 (HD-B20)
(り)	25kN用引き寄せ金物 (HD-B25)
(ぬ)	15kN用引き寄せ金物 (HD-B15) × 2個

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

MEMO

DATE

ITEM 【増築宿泊棟】耐力壁算出 (平面図)

SCALE 1 : 100

CHECK

必要壁量	階数	地震力に対する必要壁量 (cm)		風圧力に対する必要壁量 (cm)		必要壁量	
		X方向 (桁行), Y方向 (はり間)		X方向 (桁行)	Y方向 (はり間)	X方向	Y方向
	1階	床面積 (㎡) 69.56 × 13 = 904.28	(cm)	見付面積 (㎡) 50.32 × 50 = 2516.00	(cm)	見付面積 (㎡) 33.39 × 50 = 1669.50	(cm)
2階	床面積 (㎡)	(cm)	見付面積 (㎡)	(cm)	見付面積 (㎡)	(cm)	

壁量計算	階数	耐力壁の種類 (S56建告1100)	倍率	有効壁量 (cm)		判定	
				X方向 (桁行)	Y方向 (はり間)	X方向	Y方向
				壁長 × 倍率 × 個数 = 有効壁長	壁長 × 倍率 × 個数 = 有効壁長		
1階	筋交い 45×90	2.0	91 × 2.0 × 2 = 364	91 × 2.0 × 7 = 1274	3330>2516	2546>1669.5	
	筋交い 45×90	2.0	106 × 2.0 × 1 = 212	136 × 2.0 × 2 = 544			
	筋交い 45×90	2.0	121 × 2.0 × 1 = 242				
	筋交い 45×90	2.0	136 × 2.0 × 3 = 816				
	筋交い 45×90 (たすき)	4.0	91 × 4.0 × 2 = 728	182 × 4.0 × 1 = 728			
	筋交い 45×90 (たすき)	4.0	121 × 4.0 × 2 = 968				
				3330	2546	OK	OK
2階							

耐力壁配置検討					
階数		X方向		Y方向	
		側端部分 (上)	側端部分 (下)	側端部分 (左)	側端部分 (右)
1階	存在壁量 (cm)	91 × 2.0 × 2 = 364 106 × 2.0 × 1 = 212 121 × 2.0 × 1 = 242 136 × 2.0 × 1 = 272	136 × 2.0 × 2 = 544	91 × 2.0 × 3 = 546 136 × 2.0 × 1 = 272	91 × 2.0 × 3 = 546 136 × 2.0 × 1 = 272
		合計 1090	合計 544	合計 818	合計 818
	床面積 (㎡)	17.39	17.39	17.39	17.39
	必要壁量 (cm)	17.39 × 13 = 226.07	17.39 × 13 = 226.07	17.39 × 13 = 226.07	17.39 × 13 = 226.07
	壁量充足率	1090 / 226.07 ≒ 4.82 > 1.0	544 / 226.07 ≒ 2.40 > 1.0	818 / 226.07 ≒ 3.61 > 1.0	818 / 226.07 ≒ 3.61 > 1.0
壁量比	—		—		
2階	存在壁量 (cm)				
		合計	合計	合計	合計
	床面積 (㎡)				
	必要壁量 (cm)				
	壁量充足率				
壁量比					

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

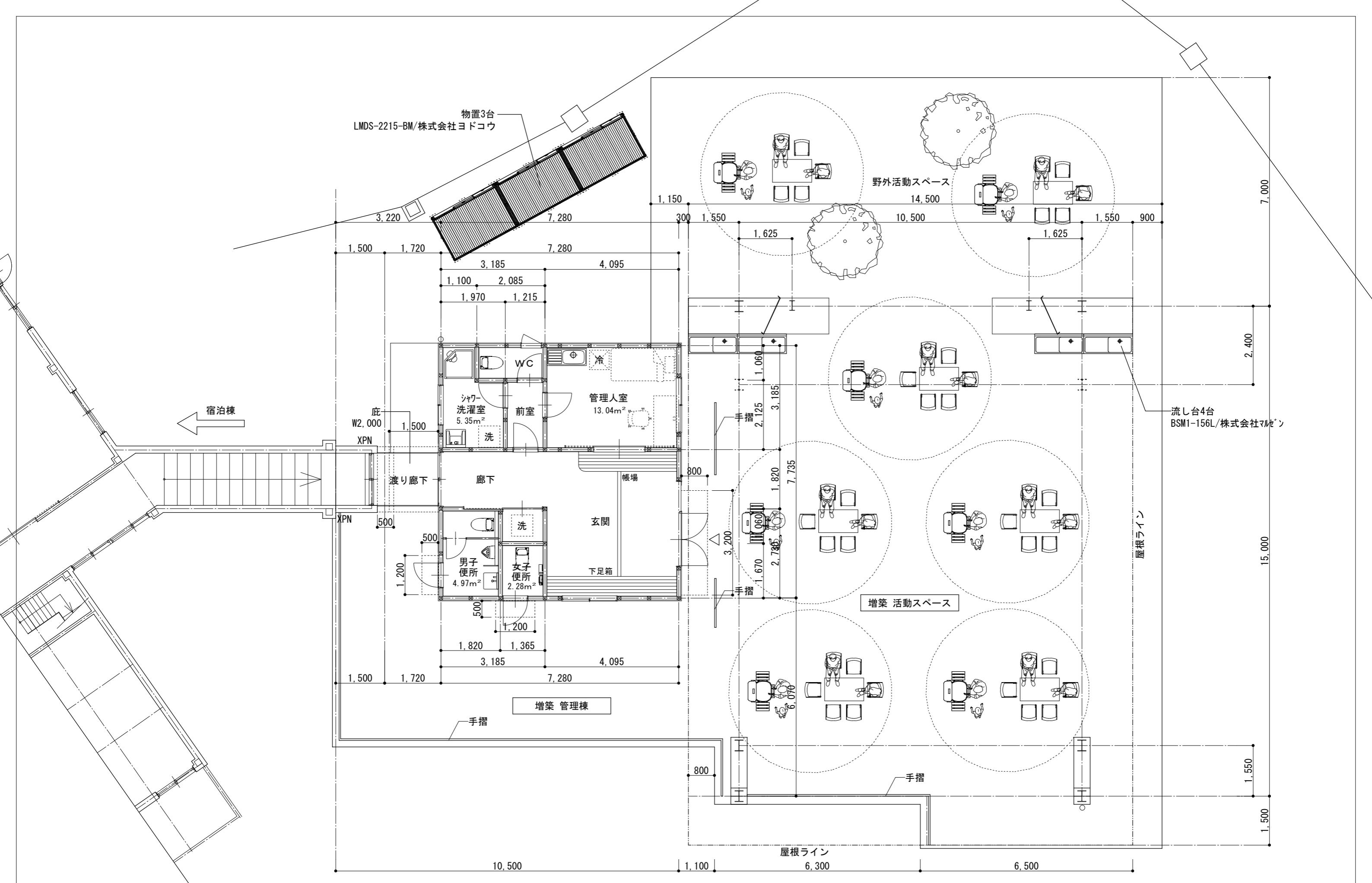
MEMO

DATE

ITEM 【増築宿泊棟】耐力壁算出

SCALE 1 : 100

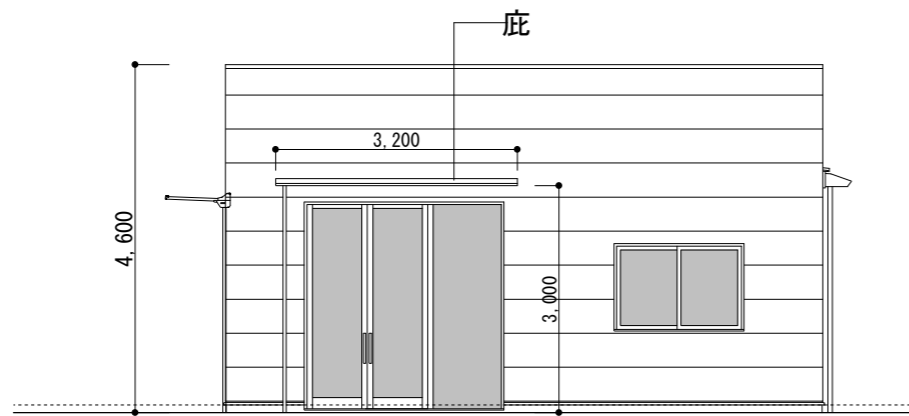
CHECK



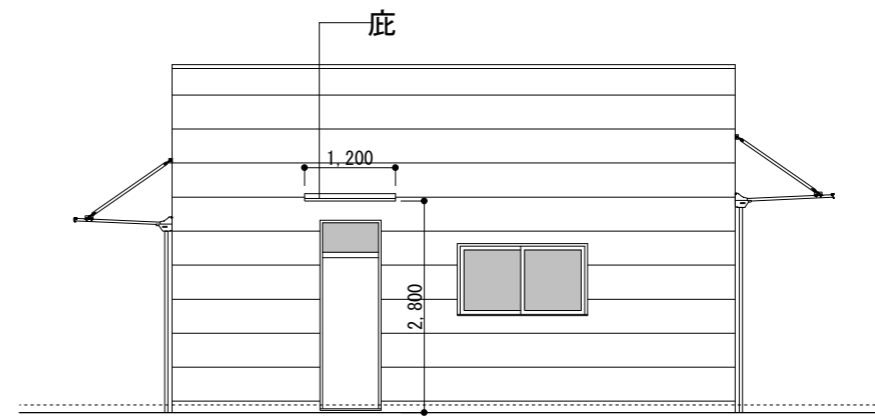
TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）
 ITEM 【改修後】増築部分平面図

MEMO
 SCALE 1 : 100

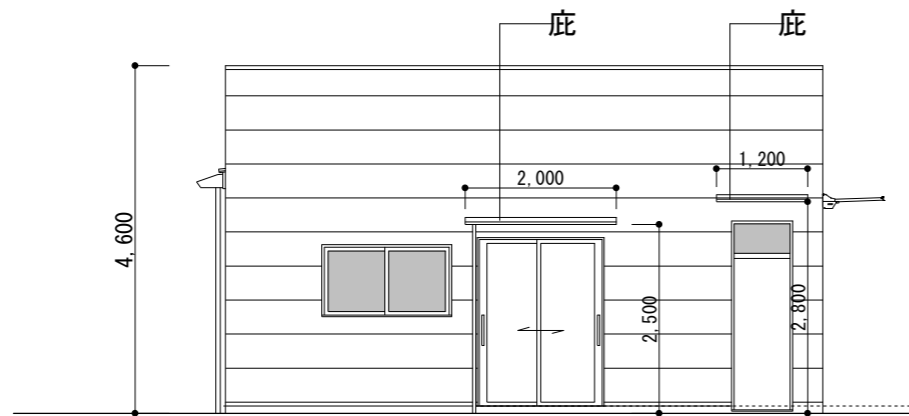
DATE
 CHECK



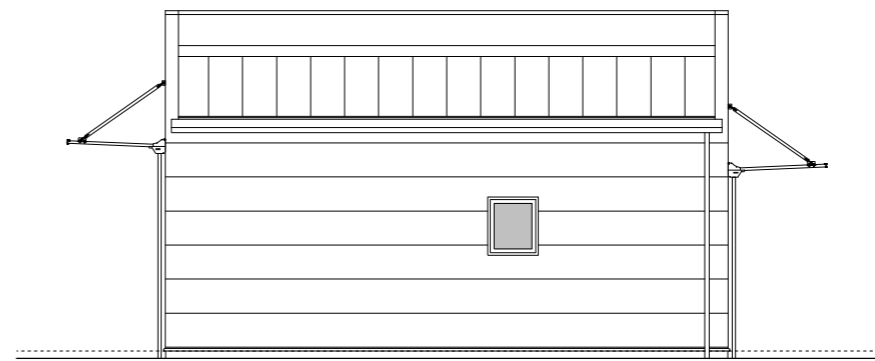
東側立面図



南側立面図



西側立面図



北側立面図

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

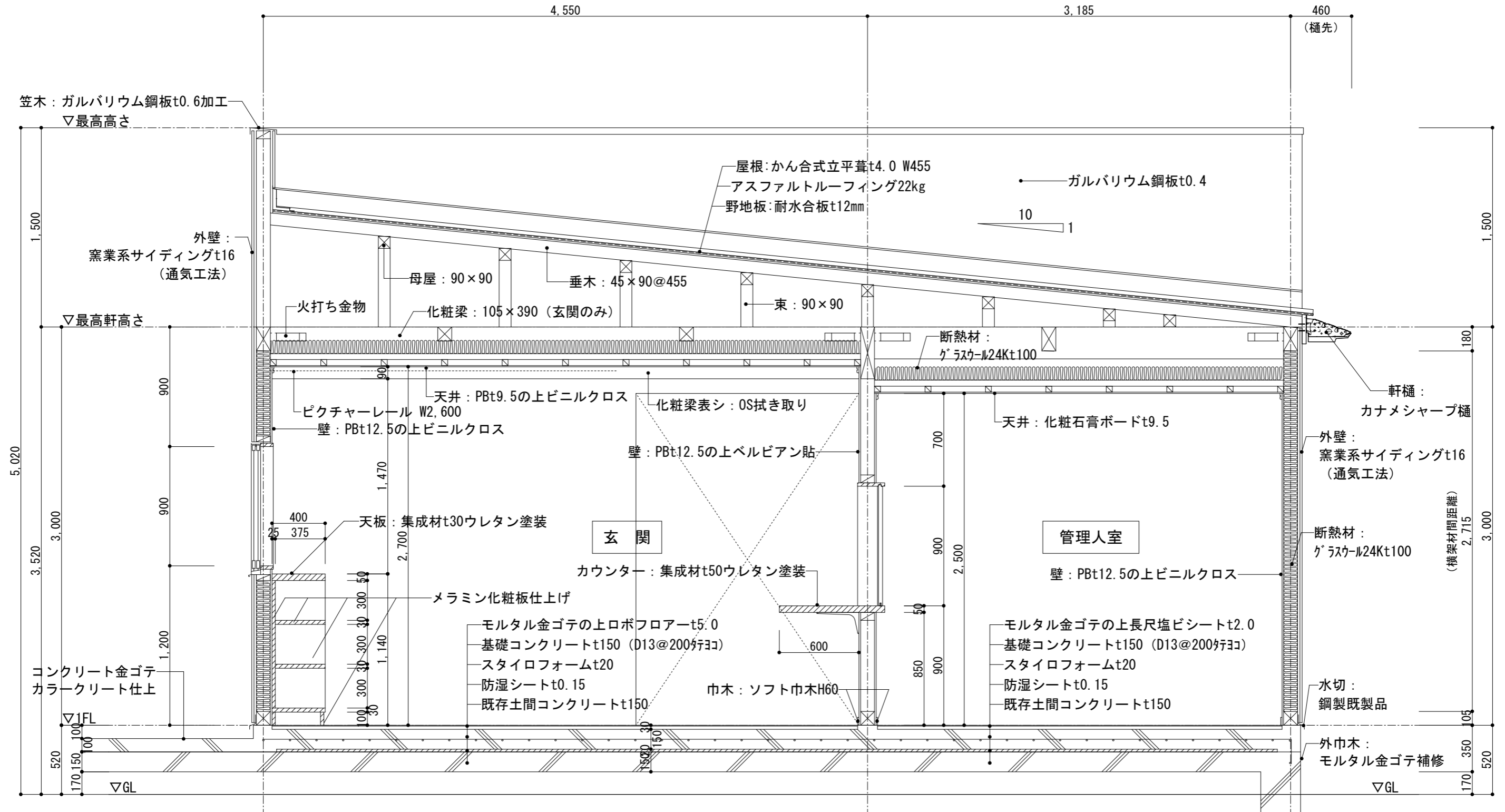
MEMO

DATE

ITEM 【増築管理棟】立面図

SCALE 1 : 150

CHECK



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

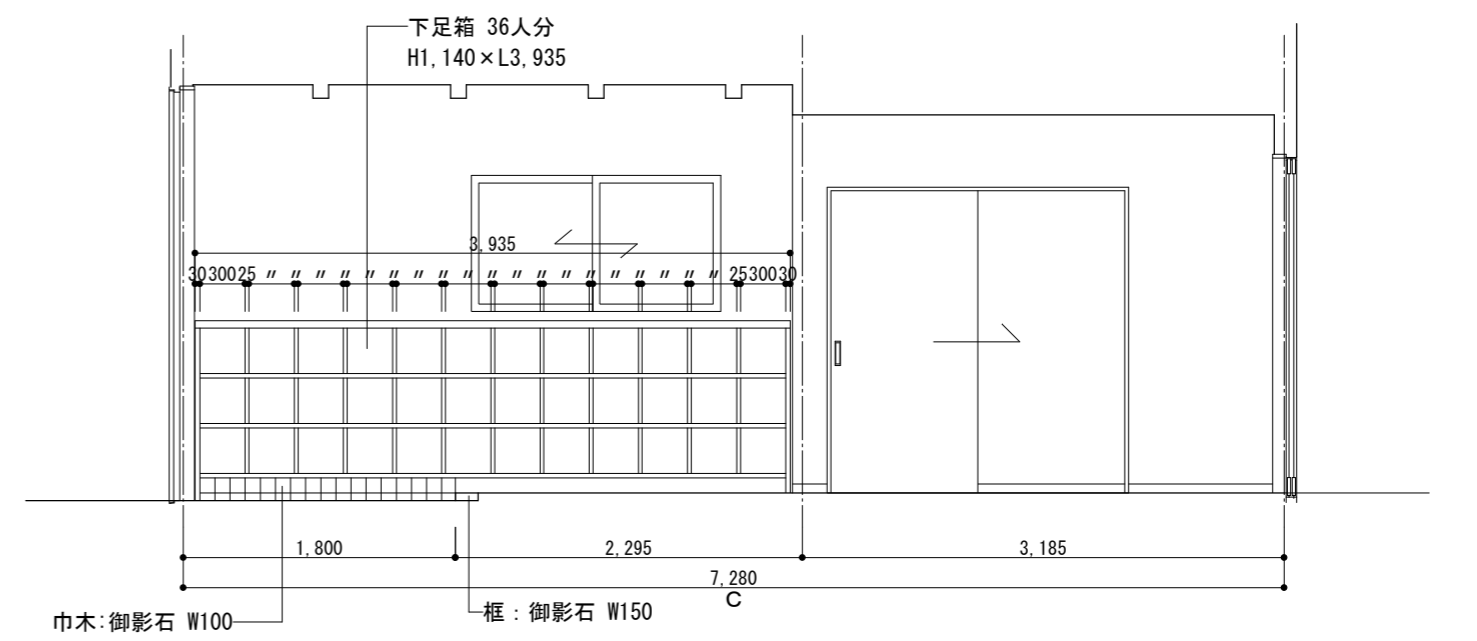
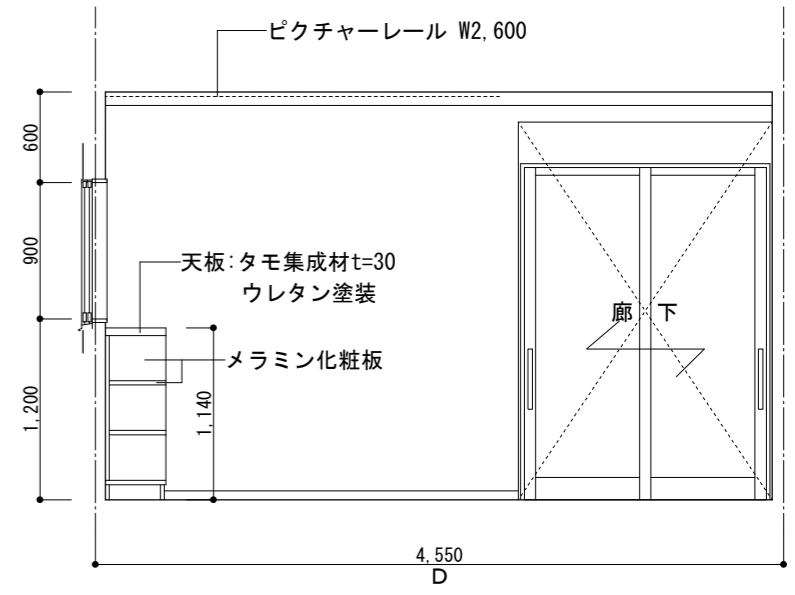
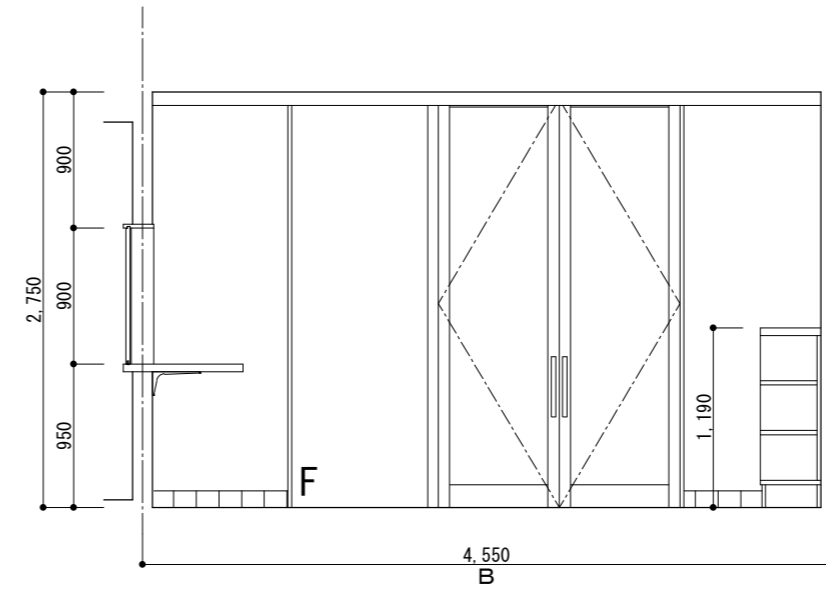
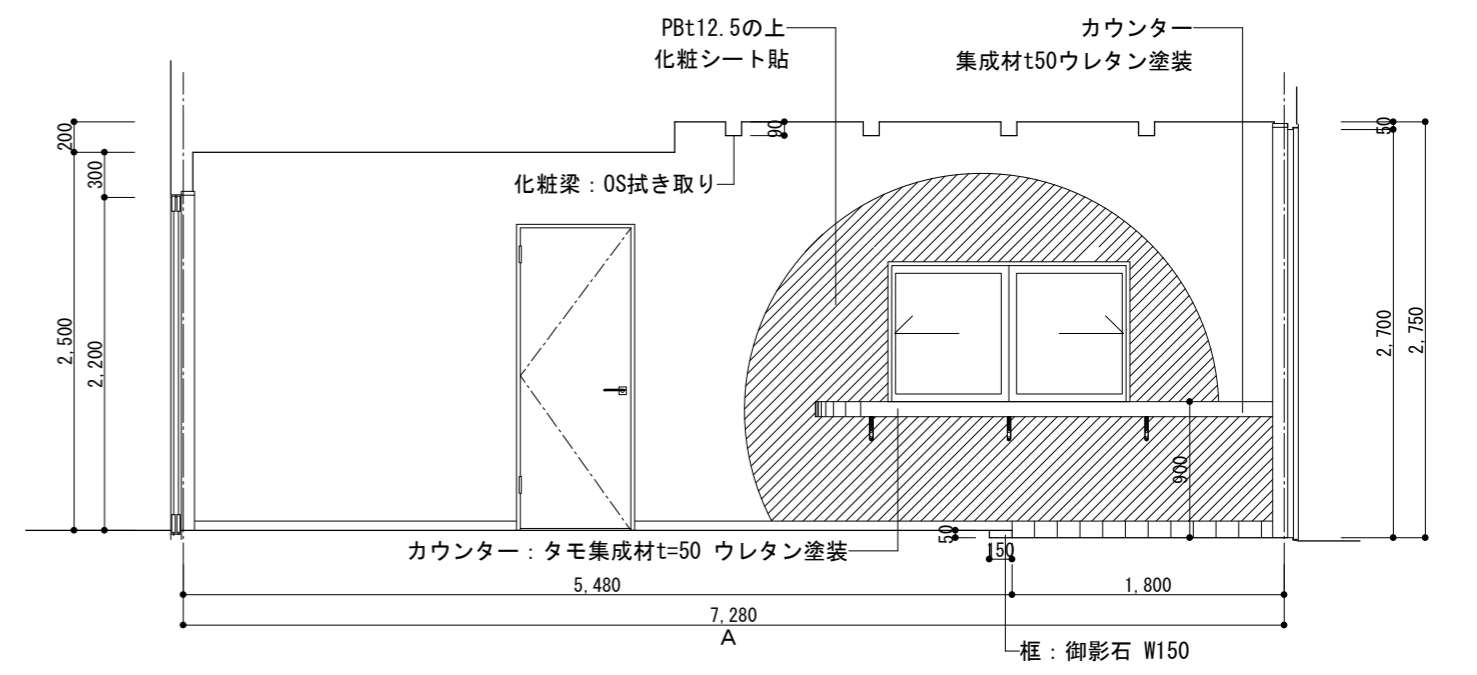
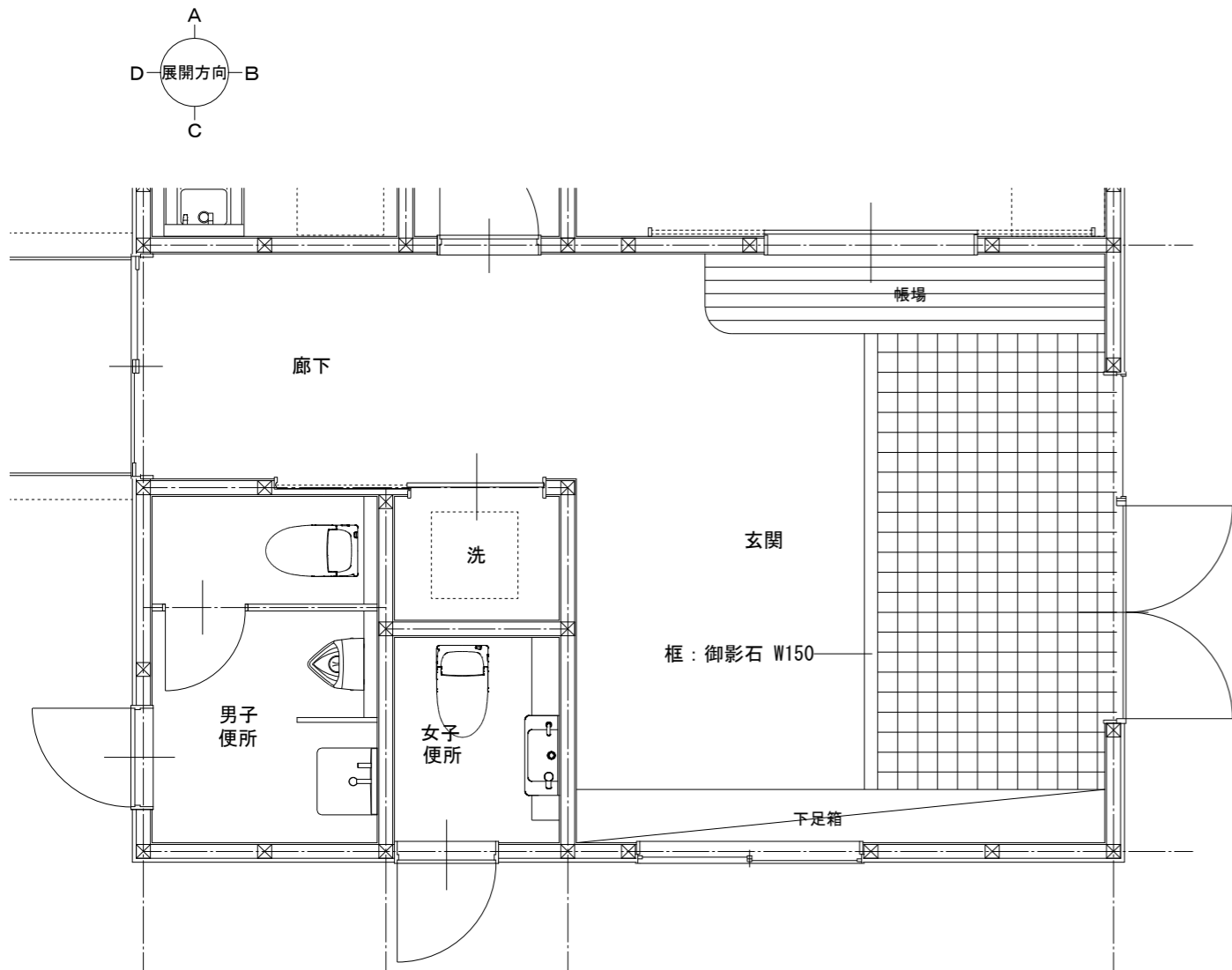
MEMO

DATE

ITEM 【増築管理棟】 矩計図

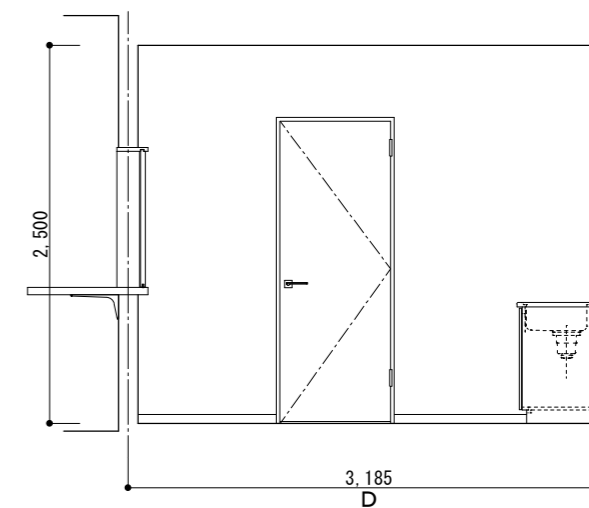
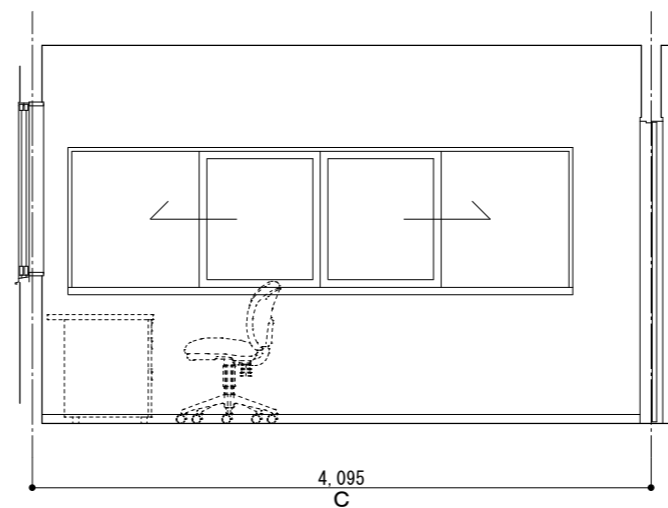
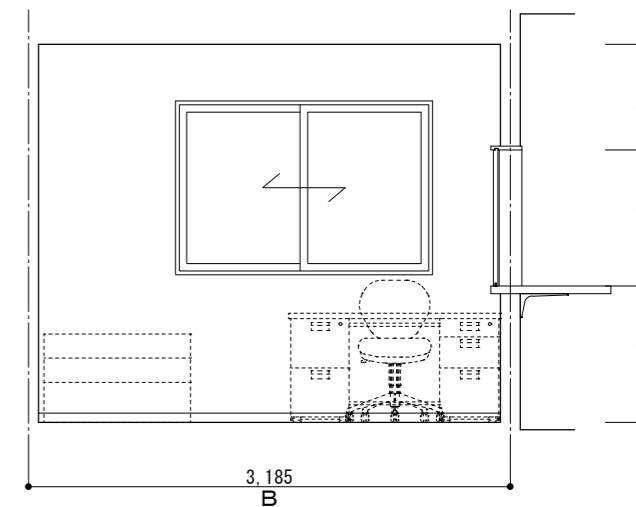
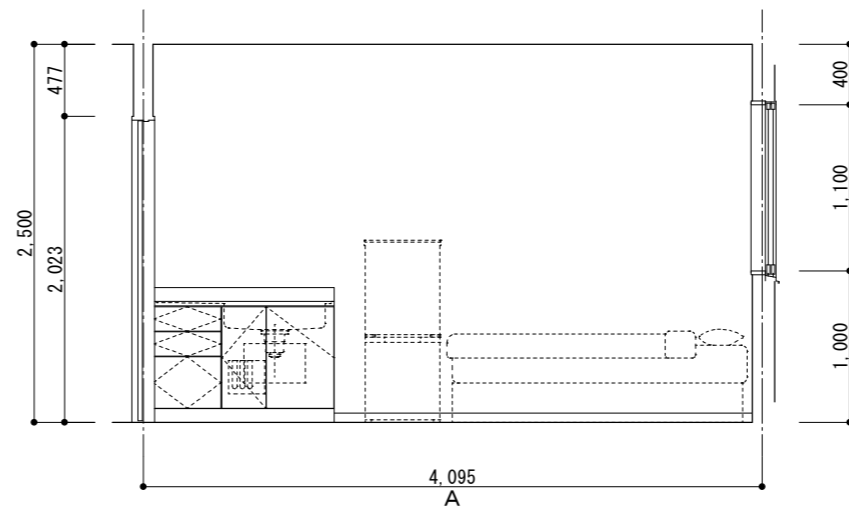
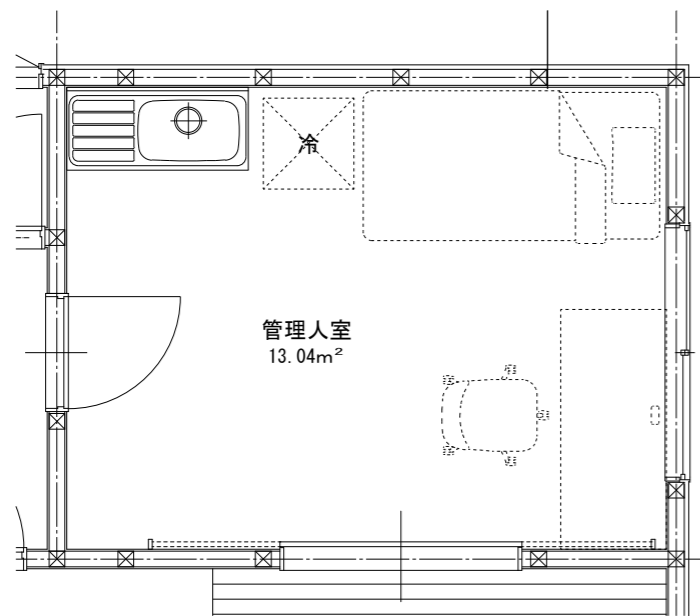
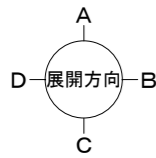
SCALE 1 : 30

CHECK



■ 廊下 仕上表

床	玄関:コンクリート金ゴテの上 150角御影石 廊下:モルタル金ゴテの上 ロボフローア シーグラスt=5.0mm程度/アスワン(株) 洗濯機室:モルタル金ゴテの上 長尺塩ビシート
巾木	ソフト巾木 H=60 一部 床150角御影石立上げH=150
壁	石膏ボードt12.5の上 ビニールクロス貼 一部 化粧シート貼
天井	石膏ボードt9.5の上 ビニールクロス貼 一部 化粧石膏ボードt9.5
備考	帳場カウンター:仕様は展開図参照 計算できません 下足箱:仕様は展開図参照 ピックアップレール W2,600 洗濯室:洗濯パン(設備)



■ 管理人室 仕上表

床	モルタル金ゴテの上 長尺塩ビシートt2.0
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	石膏ボードt12.5の上 ビニールクロス貼
天井	化粧石膏ボードt9.5
備考	ミニキッチン L1200

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

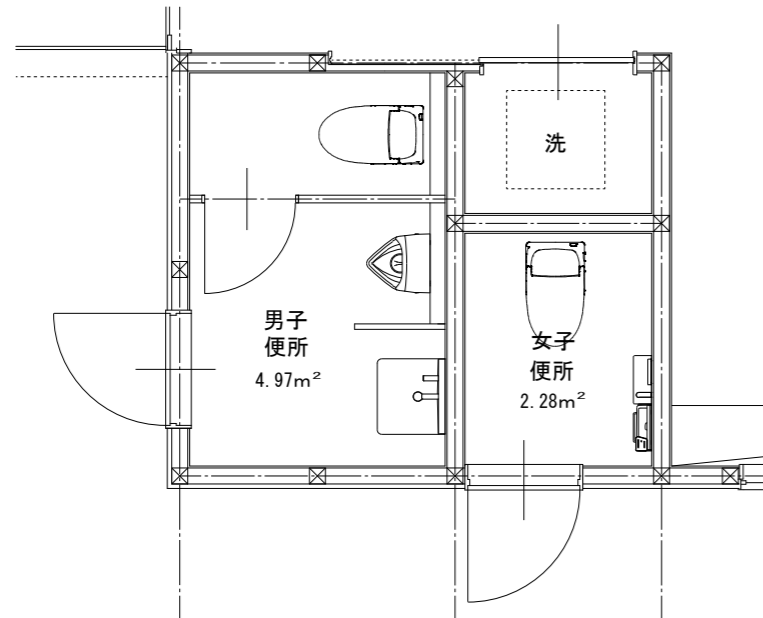
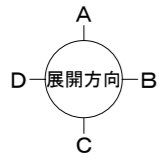
MEMO

DATE

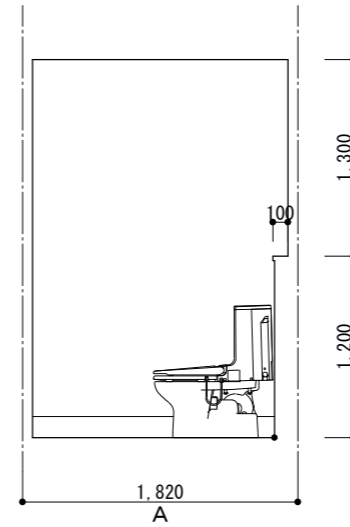
ITEM 【宿泊管理棟】展開図2

SCALE 1 : 80

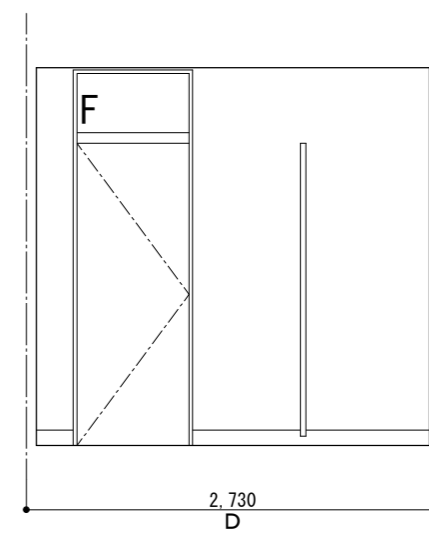
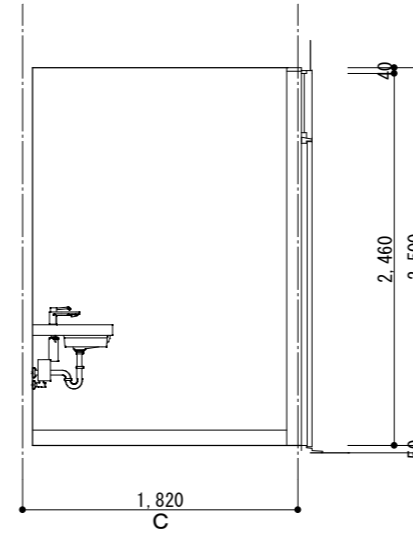
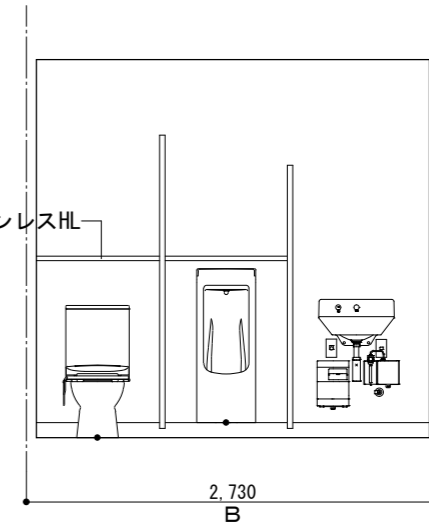
CHECK



男子便所



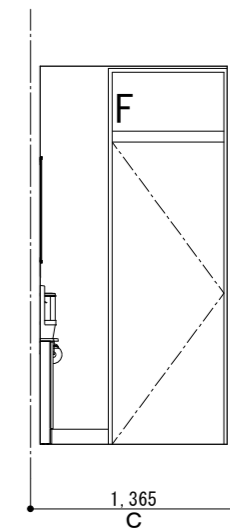
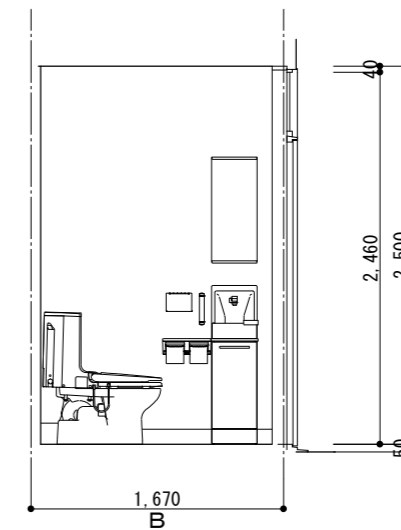
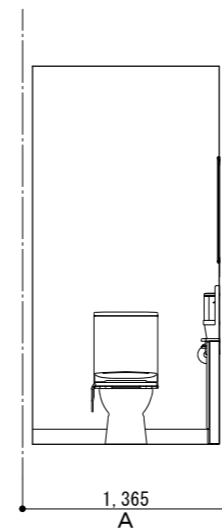
甲板：ステンレスHL



■男女トイレ 仕上表

床	コンクリート金ゴテの上 塗床
巾木	塗床立ち上げ H=100
壁	耐水Pbt12.5の上 着剤付き化粧シート貼
天井	化粧石膏ボードt9.5
備考	甲板：ステンレスHL

女子便所



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

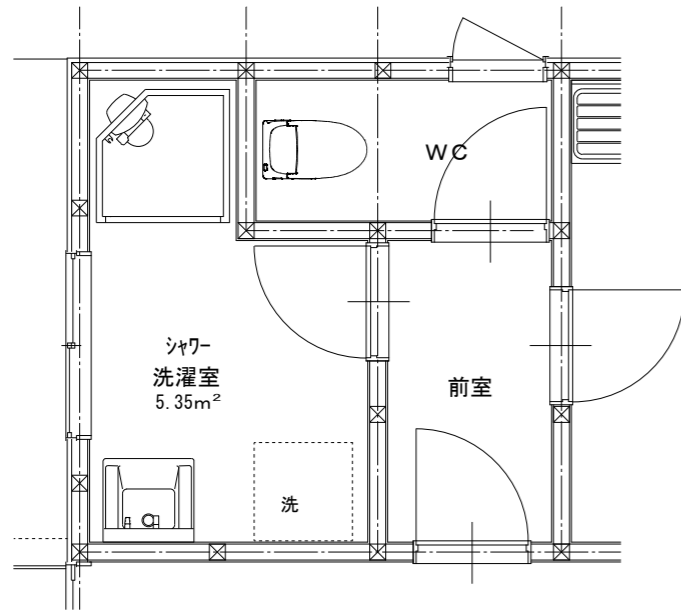
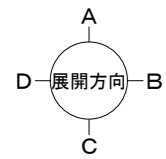
MEMO

DATE

ITEM 【増築管理棟】展開図3

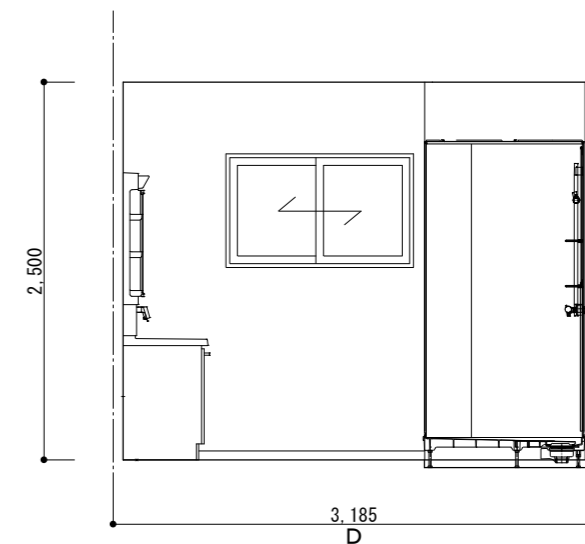
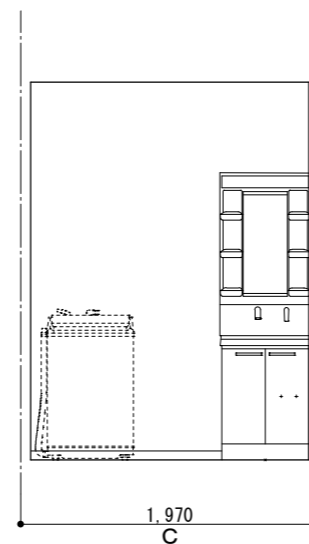
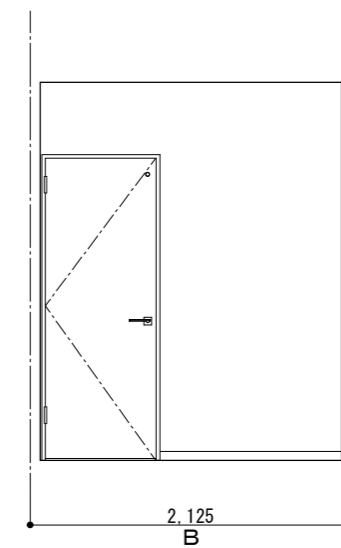
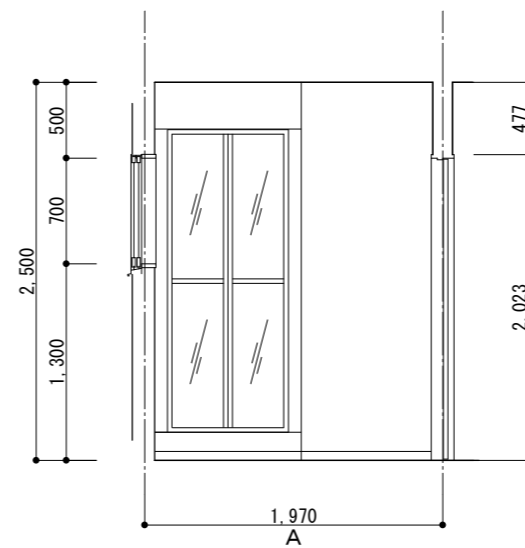
SCALE 1 : 100

CHECK



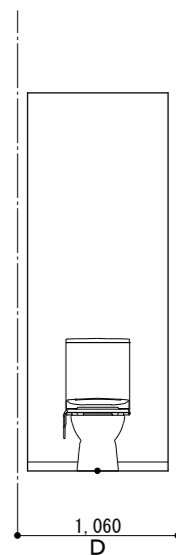
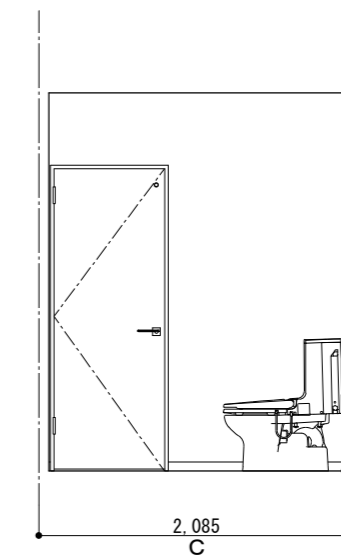
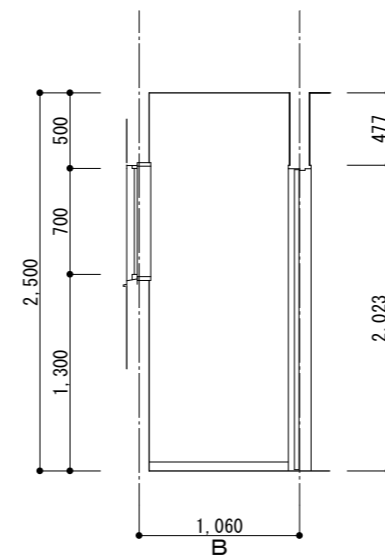
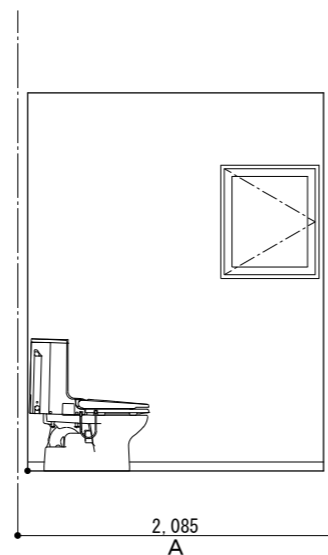
■ 管理人シャワー洗濯室 仕上表

床	コンクリート金ゴテの上 長尺塩ビシートt2.0
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	石膏ボードt12.5の上 ビニールクロス貼
天井	化粧石膏ボードt9.5
備考	流し (LOS0705. LMAS075) 設備工事 洗濯機パン 設備工事



■ 管理人トイレ 仕上表

床	コンクリート金ゴテの上 長尺塩ビシートt2.0
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	石膏ボードt12.5の上 ビニールクロス貼
天井	化粧石膏ボードt9.5
備考	シャワーユニット 0808



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

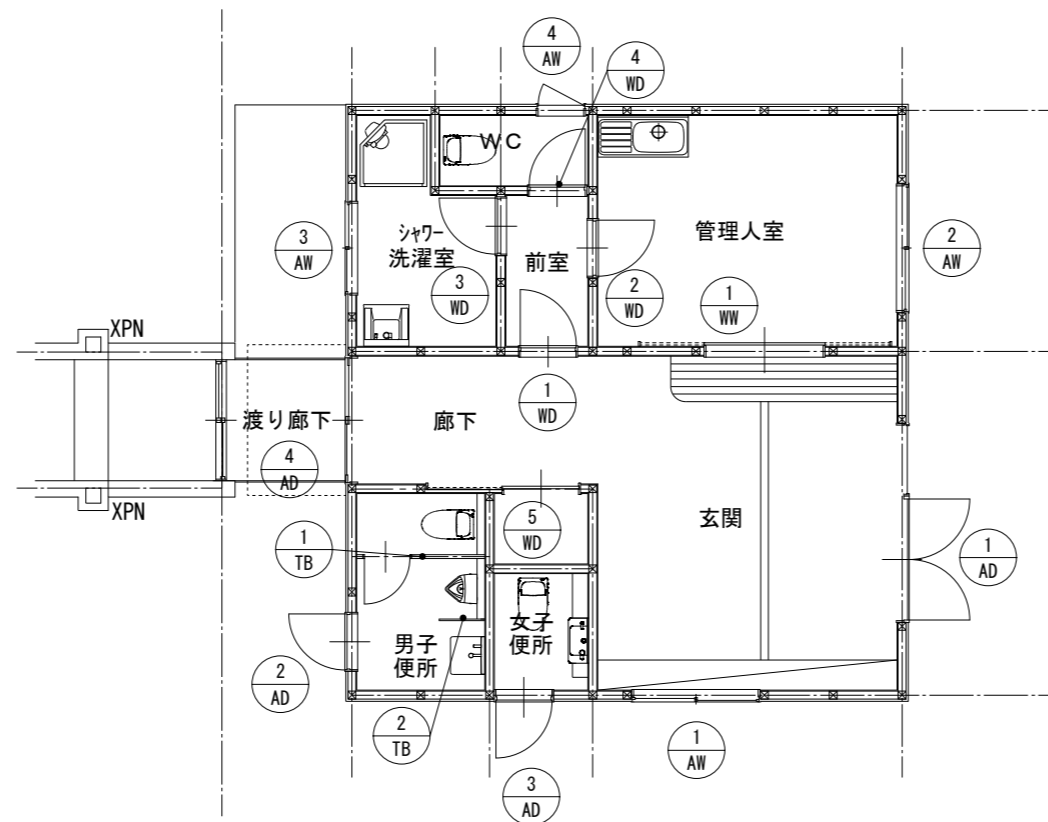
MEMO

DATE

ITEM 【増築管理棟】展開図4

SCALE 1 : 100

CHECK



管理人室 : 13.04㎡
 AW-2
 採光 : $13.04 \times 1/20 = 0.652$
 1.65×1.1
 $= 1.81\text{㎡} > 0.652 \text{※OK}$
 換気 : $13.04 \times 1/20 = 0.652$
 $1.65 \times 1.1 \times 1/2$
 $= 0.91\text{㎡} > 0.652 \text{※OK}$
 排煙 : $13.04 \times 1/50 = 0.261$
 $1.65 \times 0.4 \times 1/2$
 $= 0.33\text{㎡} > 0.261 \text{※OK}$

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

MEMO

DATE

ITEM 【増築管理棟】建具キープラン図

SCALE 1 : 100

CHECK

記号	1 AD	前室 1	2 AD	男子便所 1	3 AD	女子便所 1	4 AD	廊下 1
姿図								
形式	両開きドア+FIX		片開きドア+ランマFIX		片開きドア+ランマFIX		引違ドア	
材質・仕上	アルミ (カラー)		アルミ (カラー)		アルミ (カラー)		アルミ (カラー)	
見込	70mm		70mm		70mm		70mm	
硝子	強化ガラス6+A12+LowE3		型板4+A12+LowE3		型板4+A12+LowE3		強化ガラス6+A12+LowE3	
金物	ドアハンドル、サムターンシリンダー錠 DC、フランス落し、衝突防止マーク		レバーハンドル、シリンダー錠 DC		レバーハンドル、サムターンシリンダー錠 (表示) DC		ドアハンドル、サムターンシリンダー錠 衝突防止マーク	
備考	付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式	

記号	1 AW	玄関 1	2 AW	管理人室 1	3 AW	シャワ洗濯室 1	4 AW	WC 1
姿図								
形式	アルミ樹脂複合 引違い窓		アルミ樹脂複合 引違い窓		アルミ樹脂複合 引違い窓		アルミ樹脂複合 横滑り窓	
材質・仕上	アルミ (ステンカラー) /樹脂		アルミ (ステンカラー) /樹脂		アルミ (ステンカラー) /樹脂		アルミ (ステンカラー) /樹脂	
見込	70mm		70mm		70mm		70mm	
硝子	FL4+A12+LowE3		FL4+A12+LowE3		型板4+A12+LowE3		型板4+A12+LowE3	
金物	水切り、クレセント、額縁：樹脂既製品、網戸 16509		水切り、クレセント、額縁：樹脂既製品、網戸 16511		水切り、クレセント、額縁：樹脂既製品、網戸 11907		水切り、クレセント、額縁：樹脂既製品、網戸 06007	
備考	付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式	

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

MEMO

DATE

ITEM 【増築管理棟】建具表 1

SCALE 1 : 100

CHECK

記号	① WD 前室 1	② WD 管理人室 1	③ WD シャ-洗濯室 1	④ WD WC 1
姿 図				
形 式	片開き戸	片開き戸	片開き戸	片開きトイレ戸
材質・仕上				
見 込				
硝 子				
金 物	サムターンシリンダー錠 ラシッサ LAA : LIXIL同等品	ラシッサ LAA : LIXIL同等品	ラシッサ ATL : LIXIL同等品	表示錠 ラシッサ ATL : LIXIL同等品
備 考	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式

記号	⑤ WD 廊下 1	① WW 管理人室 1	① TB 男子便所 1	② TB 男子便所 1
姿 図				
形 式	片引き戸 (Vレール)	引分け窓	トイレブース	トイレブース
材質・仕上		メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板
見 込		36	36	36
硝 子		FL4		
金 物		堀込引手、Vレール、戸車、鎌鍵	脚金物、表示錠、ラバトリーヒンジ、帽子掛	脚金物
備 考	ラシッサ LAA : LIXIL同等品 付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

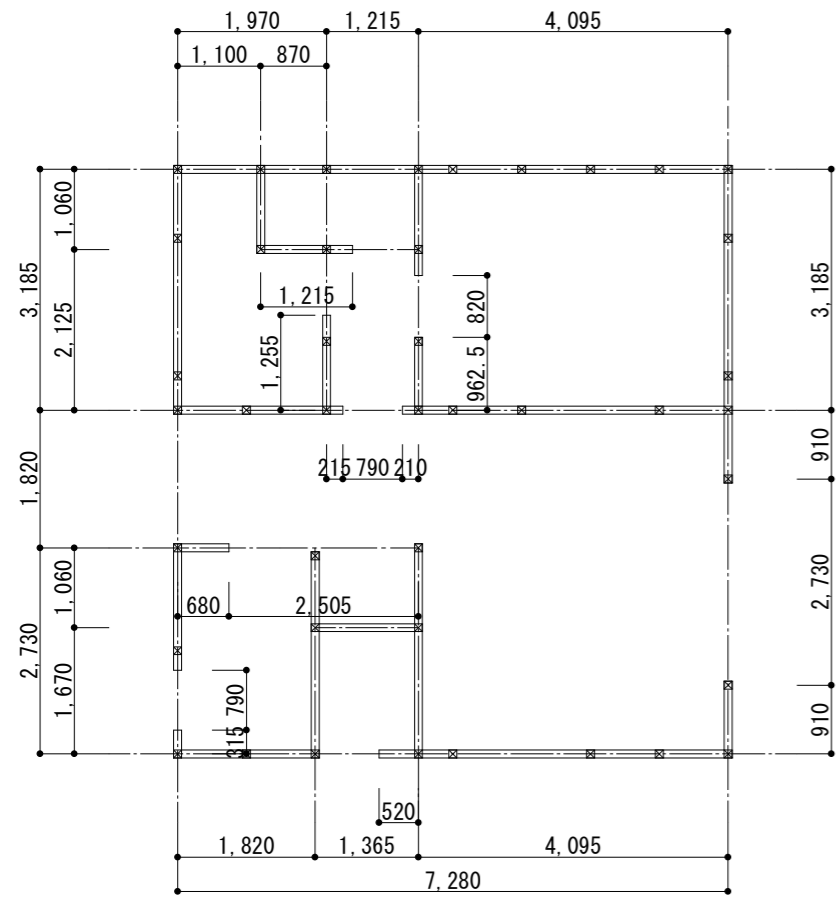
MEMO

DATE

ITEM 【増築管理棟】建具表 2

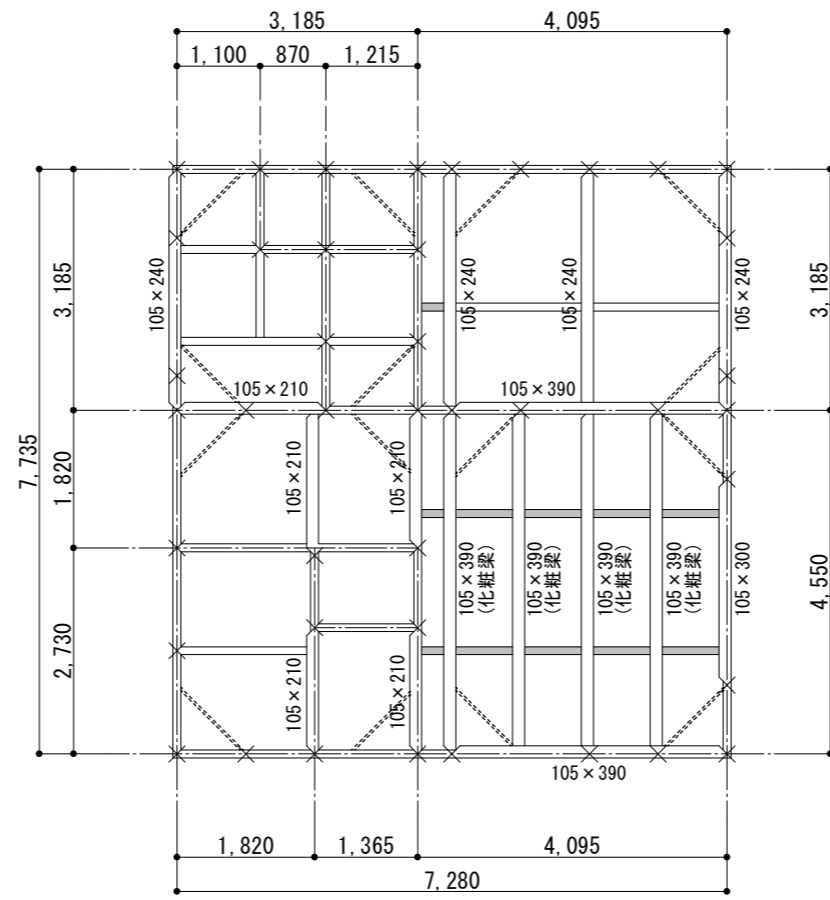
SCALE 1 : 100

CHECK



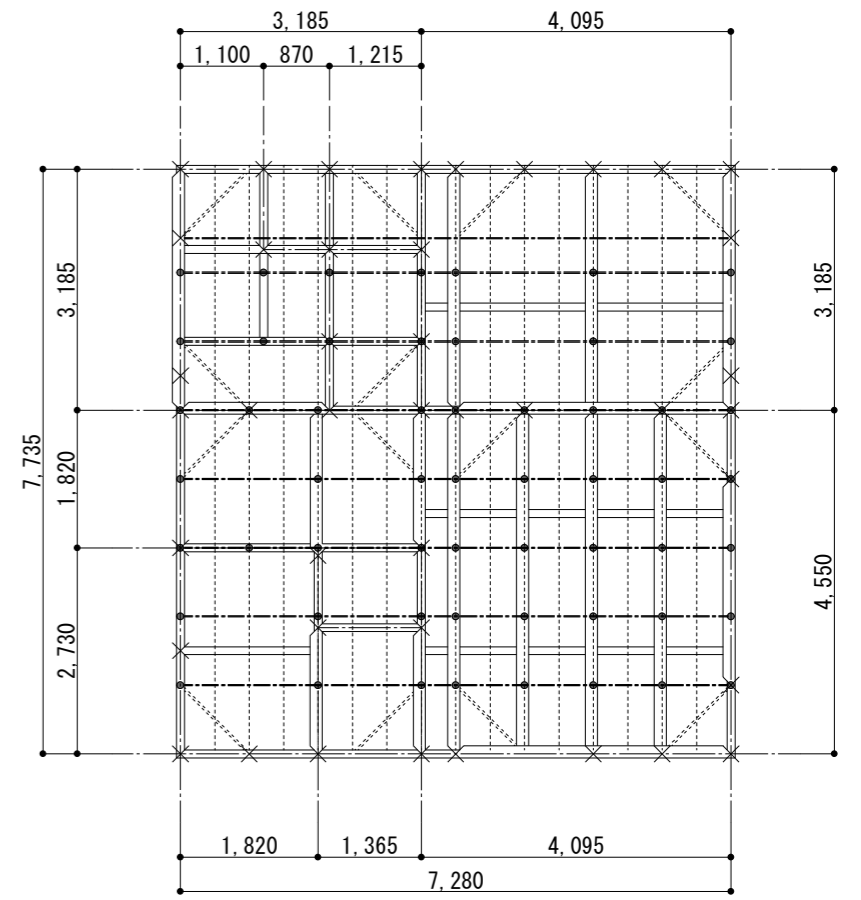
土台 : 105 × 105

土台伏図



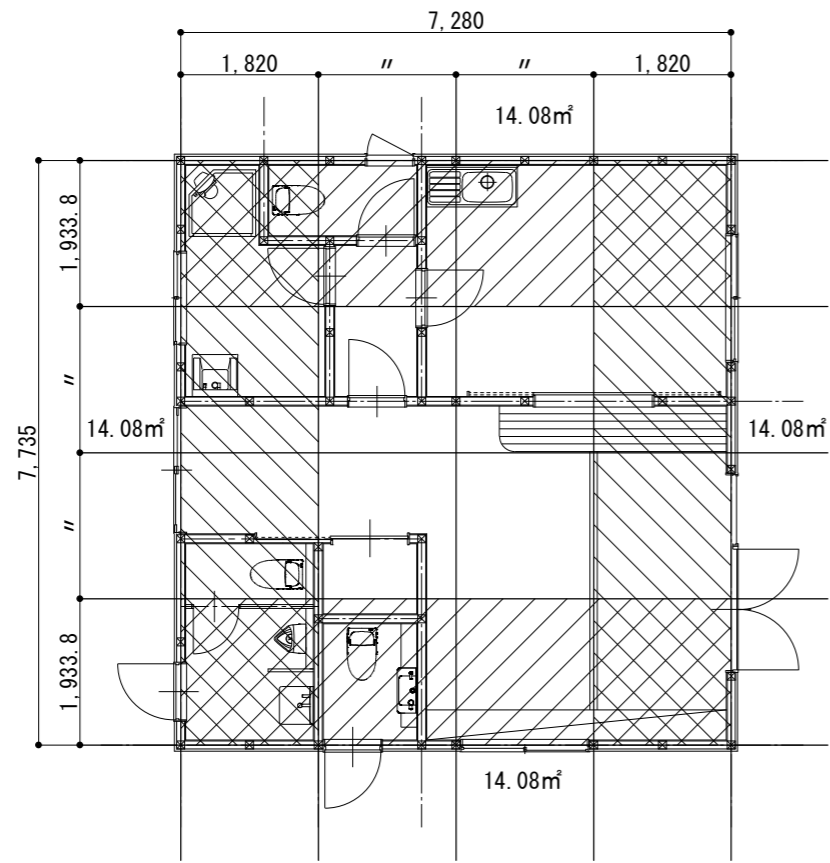
小屋伏図 1

- × 1階柱
- 特記なき梁は105 × 180
- 105 × 105
- 火打ち金物

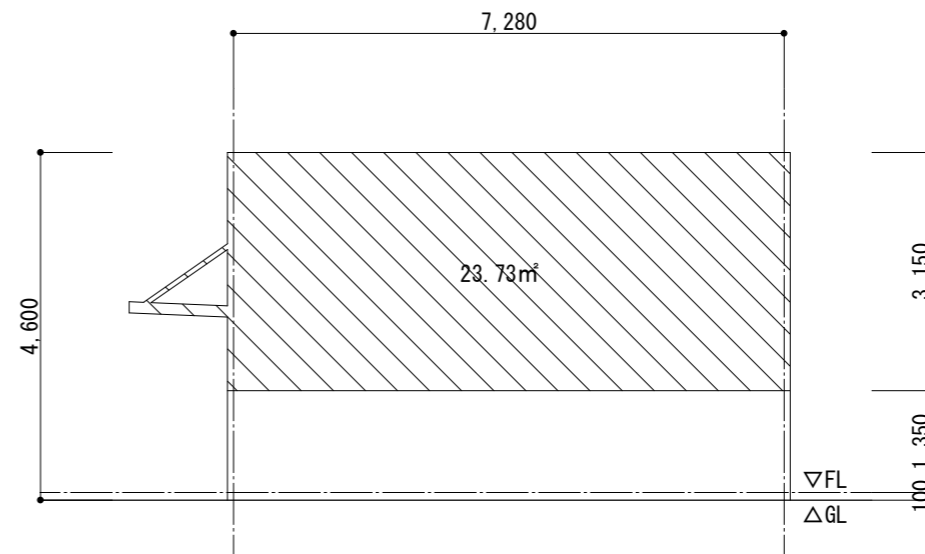


小屋伏図 2

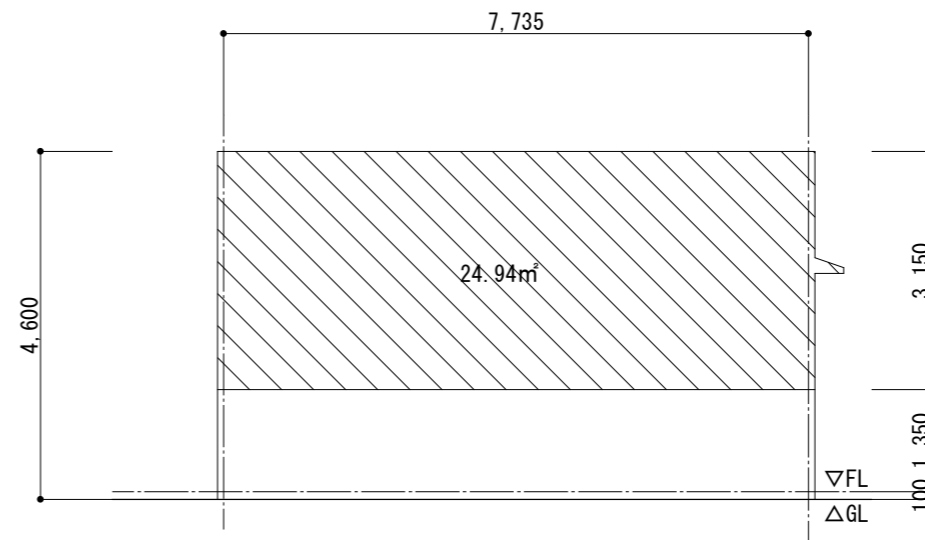
- 母屋 : 90 × 90 @ 910
- 垂木 : 45 × 90 @ 455
- 束 : 90 × 90



床面積 : 56.31m²



Y方向の見付面積 (はり間)



X方向の見付面積 (はり間)

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

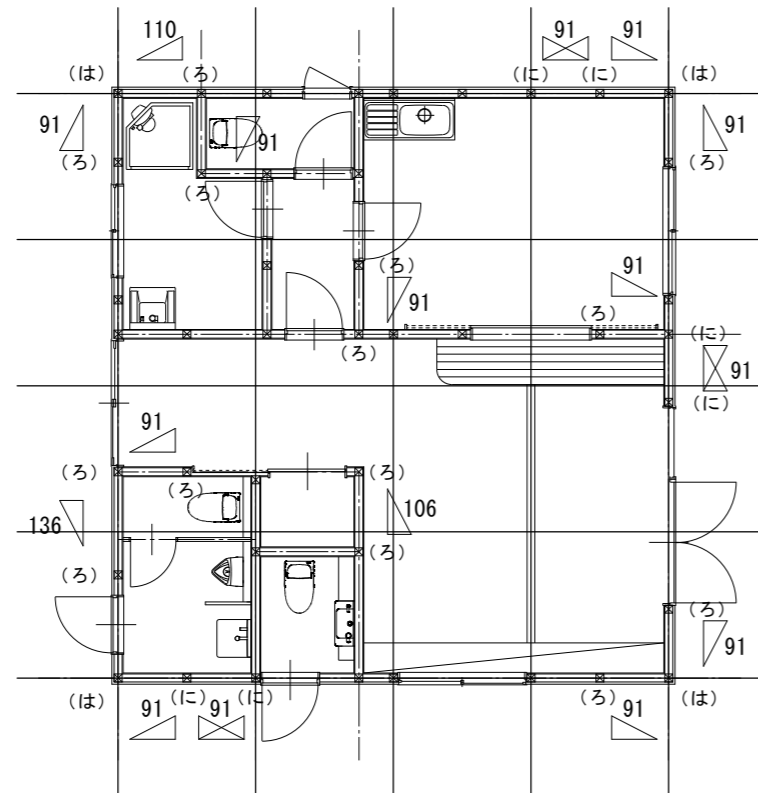
MEMO

DATE

ITEM 【増築管理棟】耐力壁算出 (求積図)

SCALE 1 : 100

CHECK



凡例

土台 : 105×105

柱 : 105×105

梁・頭繋 : 105×180 (基本サイズ)

母屋 : 90×90@910

小屋束 : 90×90

鋼製火打

△ : 45×90筋交い 壁倍率2.0

⊠ : 45×90筋交い (たすき) 壁倍率4.0

樹種

構造材 : ひのき (代用樹種の使用可)

造作材 : 松, 杉, ひのき (代用樹種の使用可)

下地材 : 松, 杉 (代用樹種の使用可)

代用樹種 : 国交省標準仕様書 表12.2.2による

・柱頭、柱脚接合部仕様 (平12建告第1460号表3)

	継手・仕口の仕様 又は、同等以上の接合方法
(い)	短ほぞ差し、かすがい打ち
(ろ)	長ほぞ差し込み栓打ち、又は、かど金物CP-L
(は)	かど金物CP-L、又は、山形プレートVP
(に)	羽子板ボルトSB、又は、短冊金物S
(ほ)	羽子板ボルトSB、又は、短冊金物S (スクリュウ釘あり)
(へ)	10kN用引き寄せ金物 (HD-B10)
(と)	15kN用引き寄せ金物 (HD-B15)
(ち)	20kN用引き寄せ金物 (HD-B20)
(り)	25kN用引き寄せ金物 (HD-B25)
(ぬ)	15kN用引き寄せ金物 (HD-B15) × 2個

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

MEMO

DATE

ITEM 【増築管理棟】耐力壁算出 (平面図)

SCALE 1 : 100

CHECK

必要壁量	階数	地震力に対する必要壁量 (cm)		風圧力に対する必要壁量 (cm)		必要壁量	
		X方向 (桁行), Y方向 (はり間)		X方向 (桁行)	Y方向 (はり間)	X方向	Y方向
	1階	床面積 (㎡) 56.31 × 13 = 732.03	(cm)	見付面積 (㎡) 24.94 × 50 = 1247.00	(cm)	見付面積 (㎡) 23.73 × 50 = 1186.50	(cm)
2階	床面積 (㎡)	(cm)	見付面積 (㎡)	(cm)	見付面積 (㎡)	(cm)	

壁量計算	階数	耐力壁の種類 (S56建告1100)	倍率	有効壁量 (cm)		判定	
				X方向 (桁行)	Y方向 (はり間)	X方向	Y方向
				壁長 × 倍率 × 個数 = 有効壁長	壁長 × 倍率 × 個数 = 有効壁長		
1階	筋交い 45×90	2.0	91 × 2.0 × 5 = 910	91 × 2.0 × 5 = 910	1858>1247	1758>1186.5	
	筋交い 45×90	2.0	110 × 2.0 × 1 = 220	106 × 2.0 × 1 = 212			
	筋交い 45×90	2.0		136 × 2.0 × 1 = 272			
	筋交い 45×90 (たすき)	4.0	91 × 4.0 × 2 = 728	91 × 4.0 × 1 = 364			
			1858	1758	OK	OK	
2階							

耐力壁配置検討					
階数		X方向		Y方向	
		側端部分 (上)	側端部分 (下)	側端部分 (左)	側端部分 (右)
1階	存在壁量 (cm)	91 × 2.0 × 1 = 182 110 × 2.0 × 1 = 220 91 × 4.0 × 1 = 364	91 × 2.0 × 2 = 364 91 × 4.0 × 1 = 364	91 × 2.0 × 2 = 364 136 × 2.0 × 1 = 272	91 × 2.0 × 2 = 364 91 × 4.0 × 1 = 364
		合計 766	合計 728	合計 636	合計 728
	床面積 (㎡)	14.08	14.08	14.08	14.08
	必要壁量 (cm)	14.08 × 13 = 183.04	14.08 × 13 = 183.04	14.08 × 13 = 183.04	14.08 × 13 = 183.04
	壁量充足率	766 / 183.04 ≒ 4.18 > 1.0	728 / 183.04 ≒ 3.97 > 1.0	636 / 183.04 ≒ 3.47 > 1.0	728 / 183.04 ≒ 3.97 > 1.0
壁量比	—		—		
2階	存在壁量 (cm)				
		合計	合計	合計	合計
	床面積 (㎡)				
	必要壁量 (cm)				
	壁量充足率				
壁量比					

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

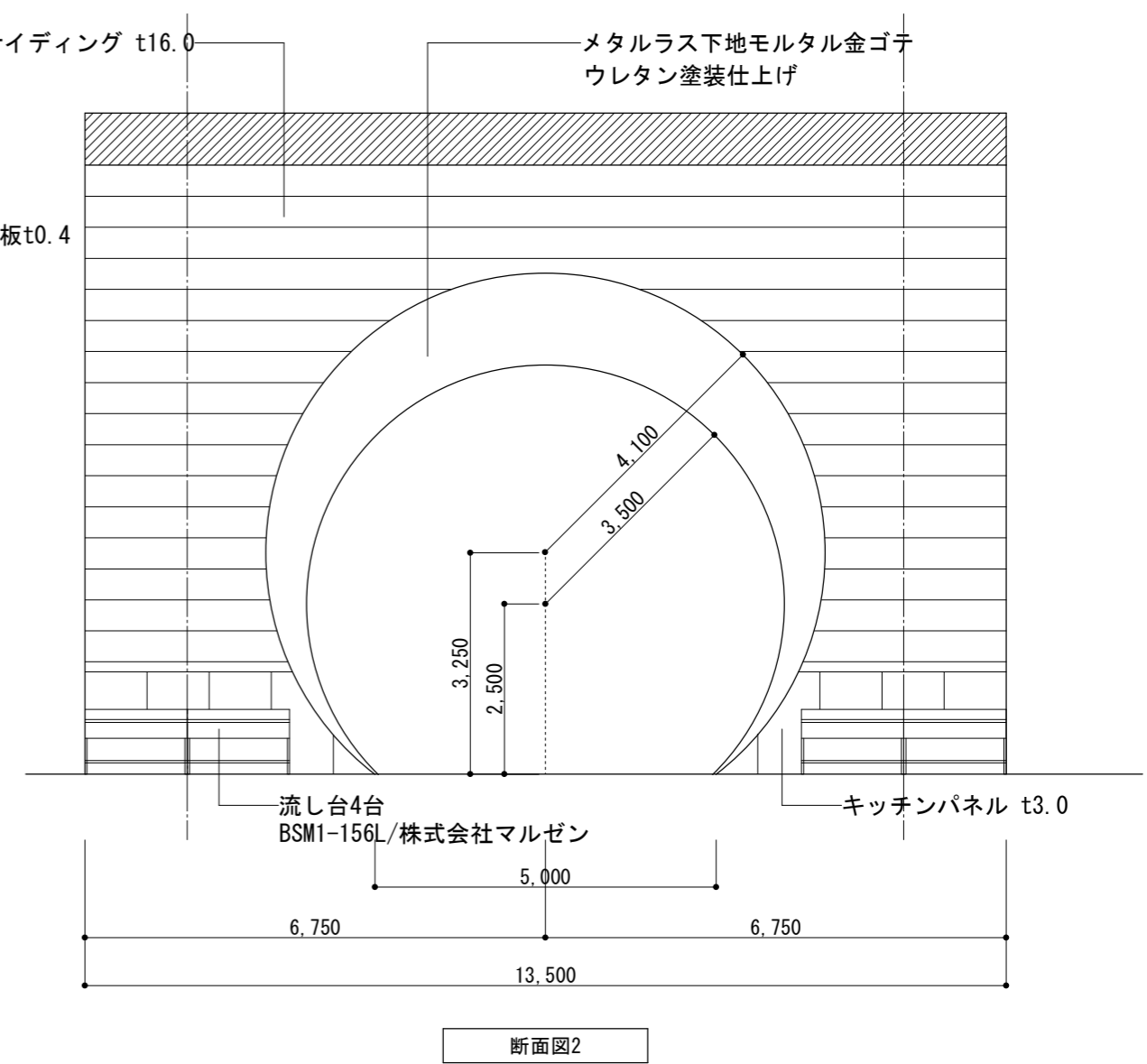
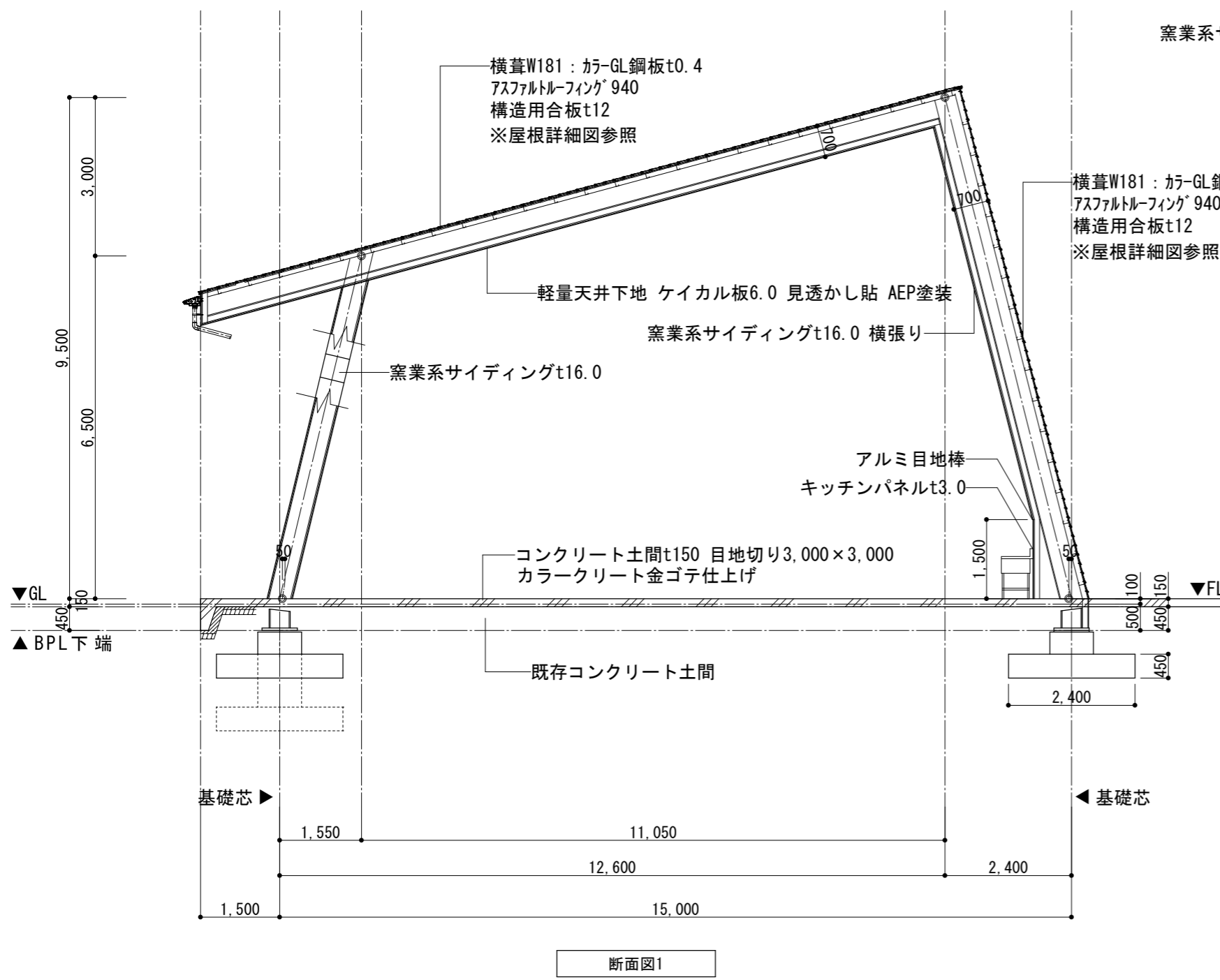
MEMO

DATE

ITEM 【増築管理棟】耐力壁算出

SCALE 1 : 100

CHECK



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

ITEM 【活動スペース】断面図

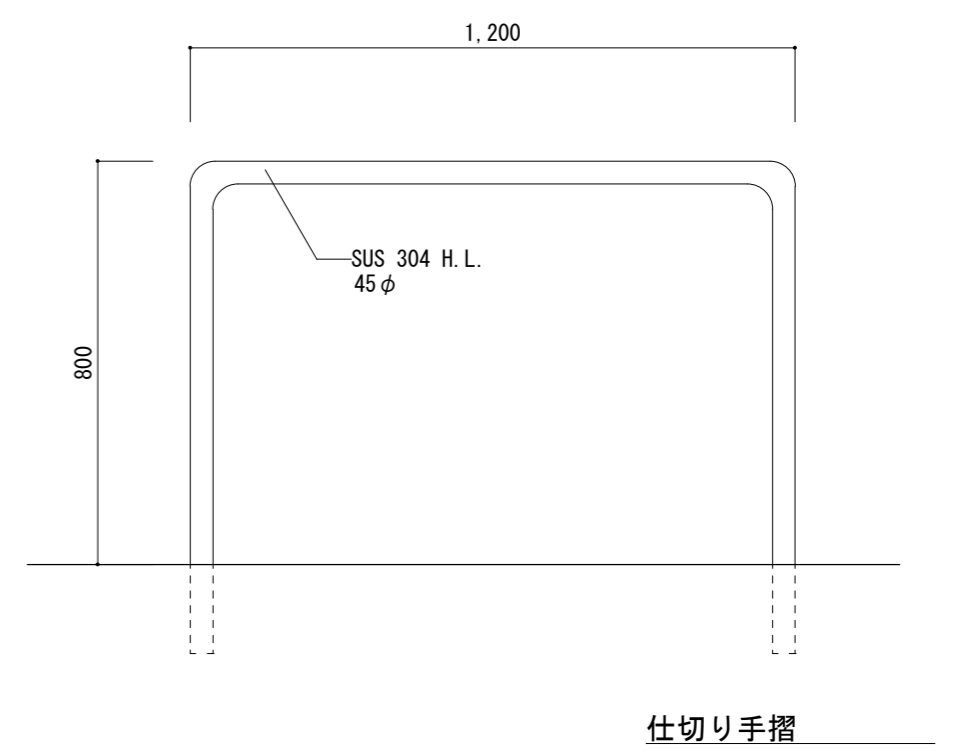
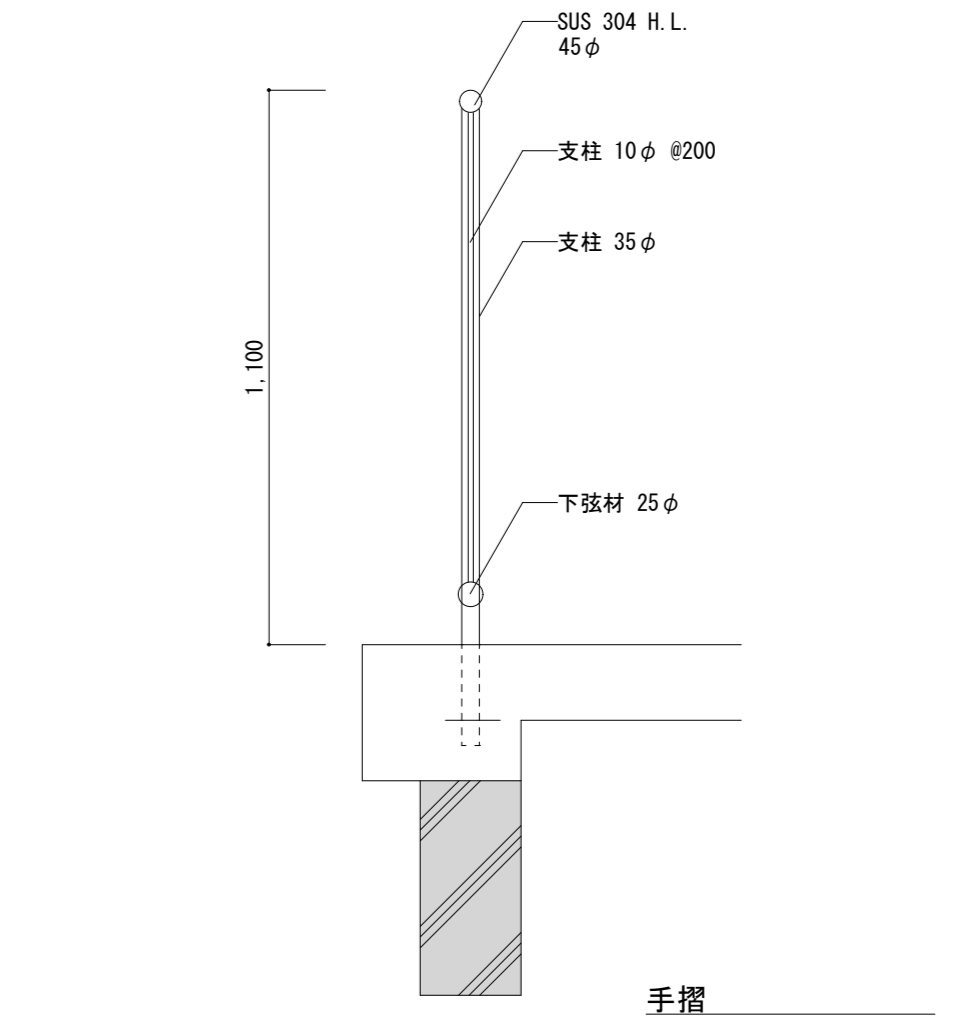
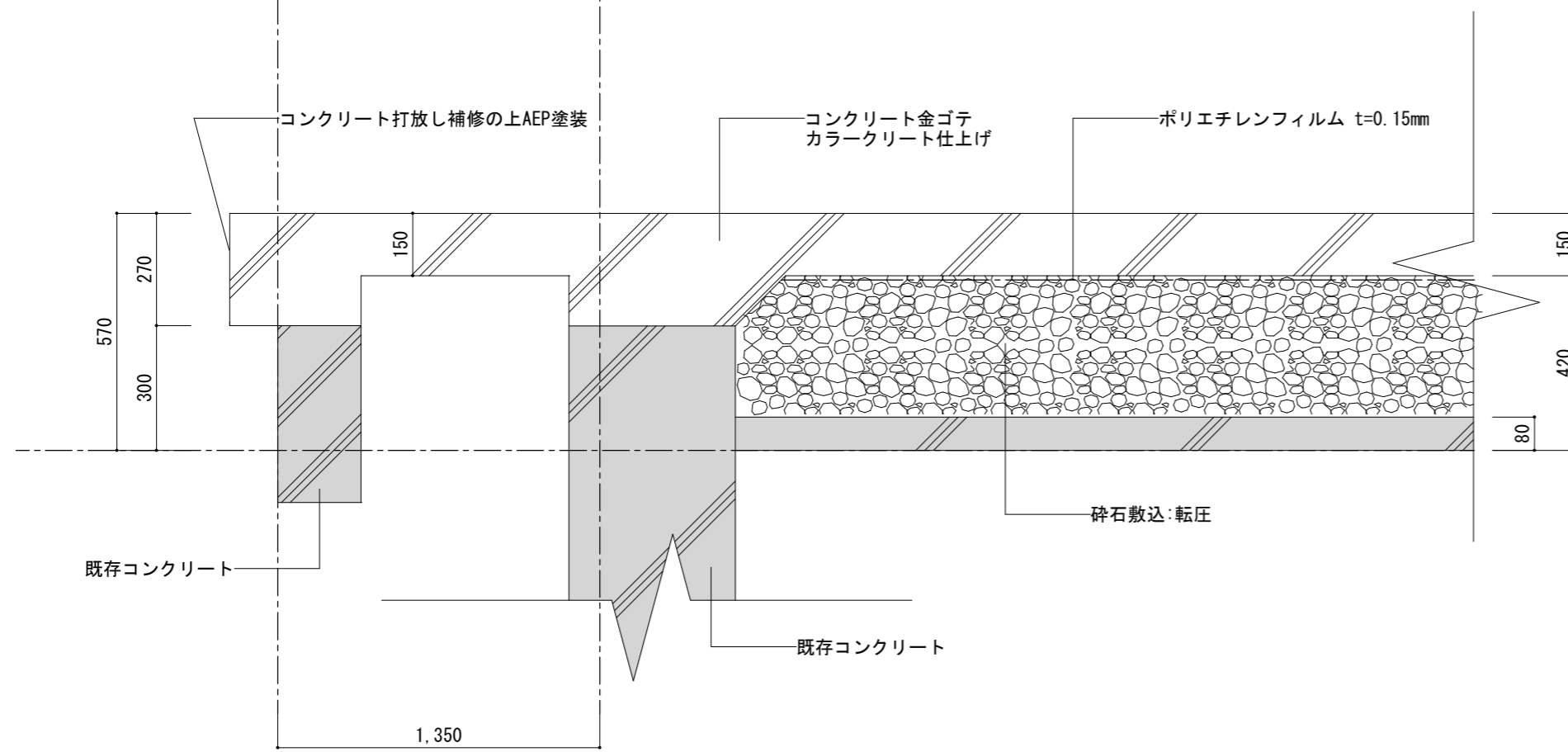
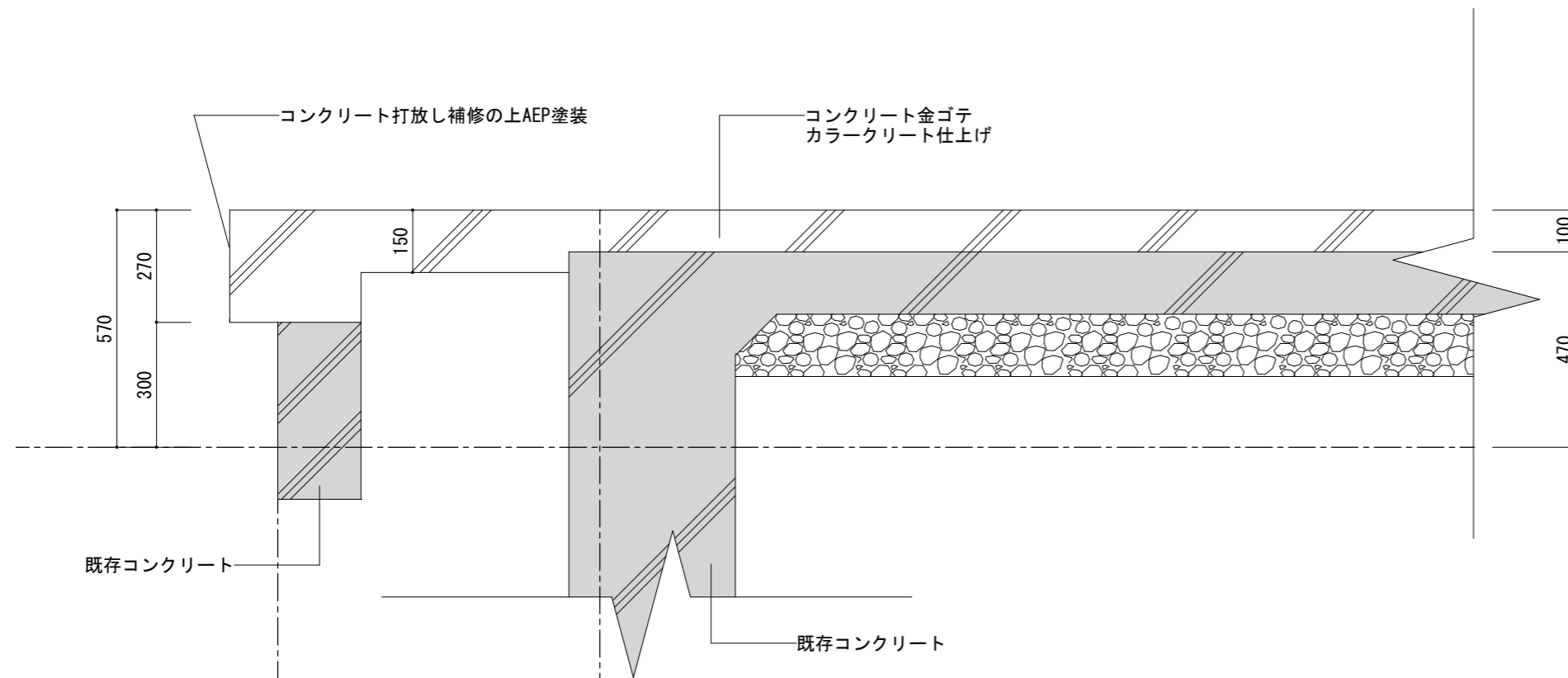
MEMO

SCALE 1 : 100

DATE

CHECK

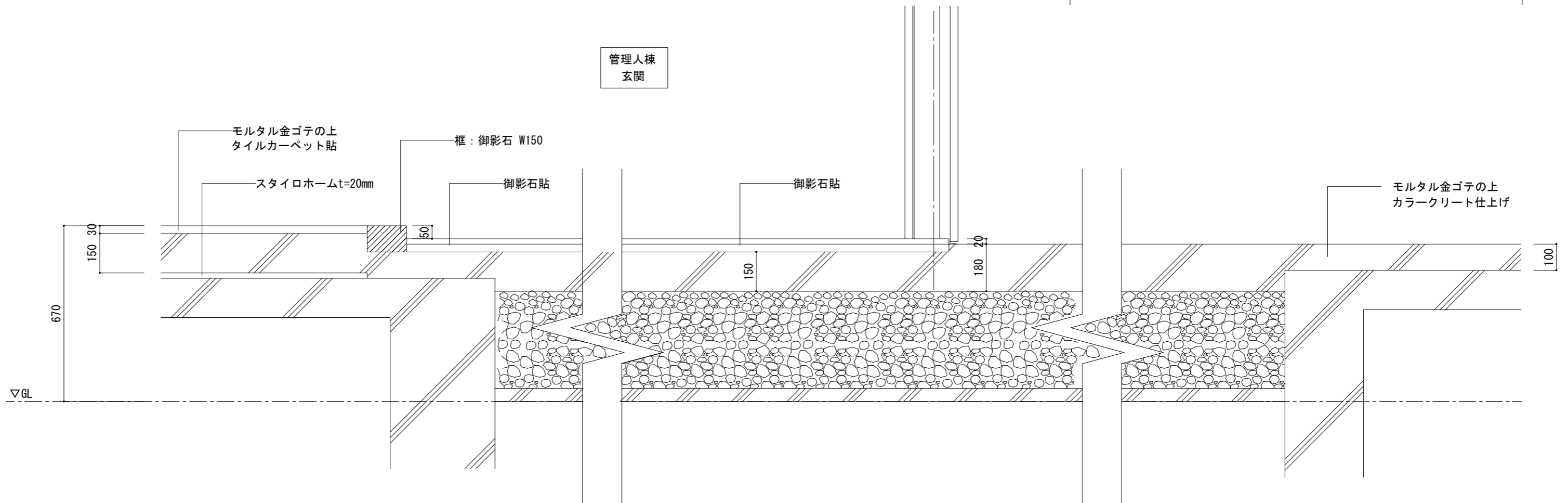
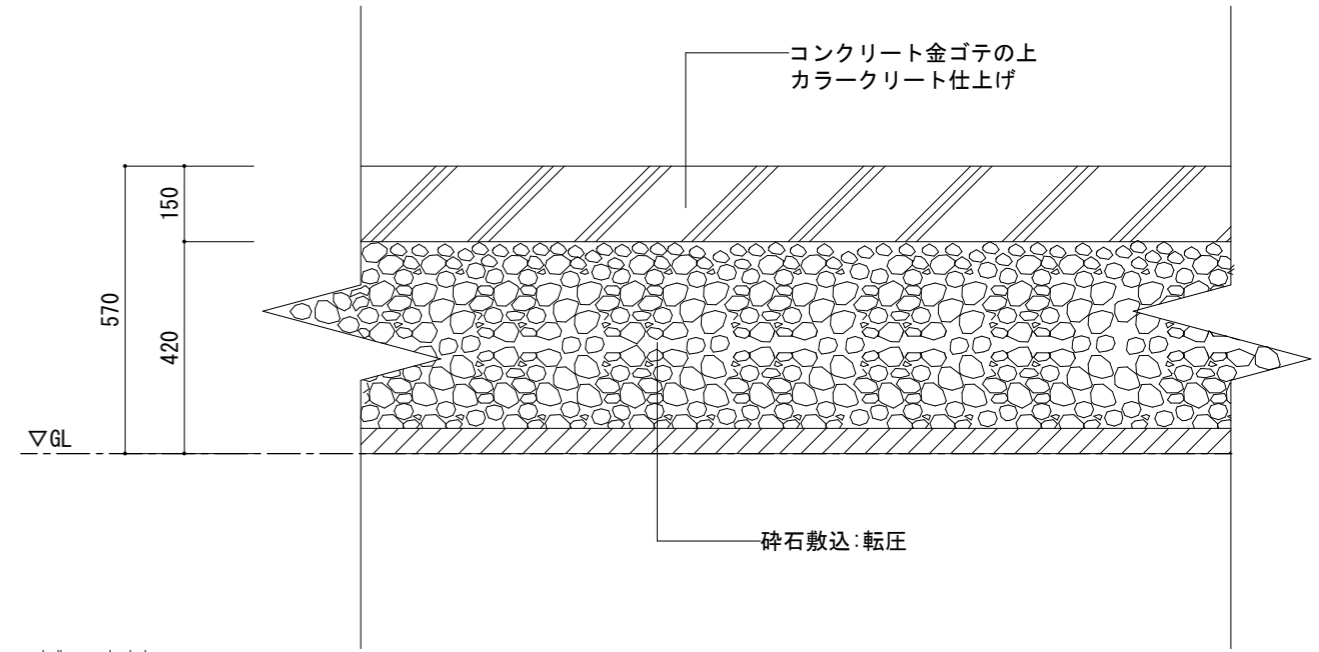
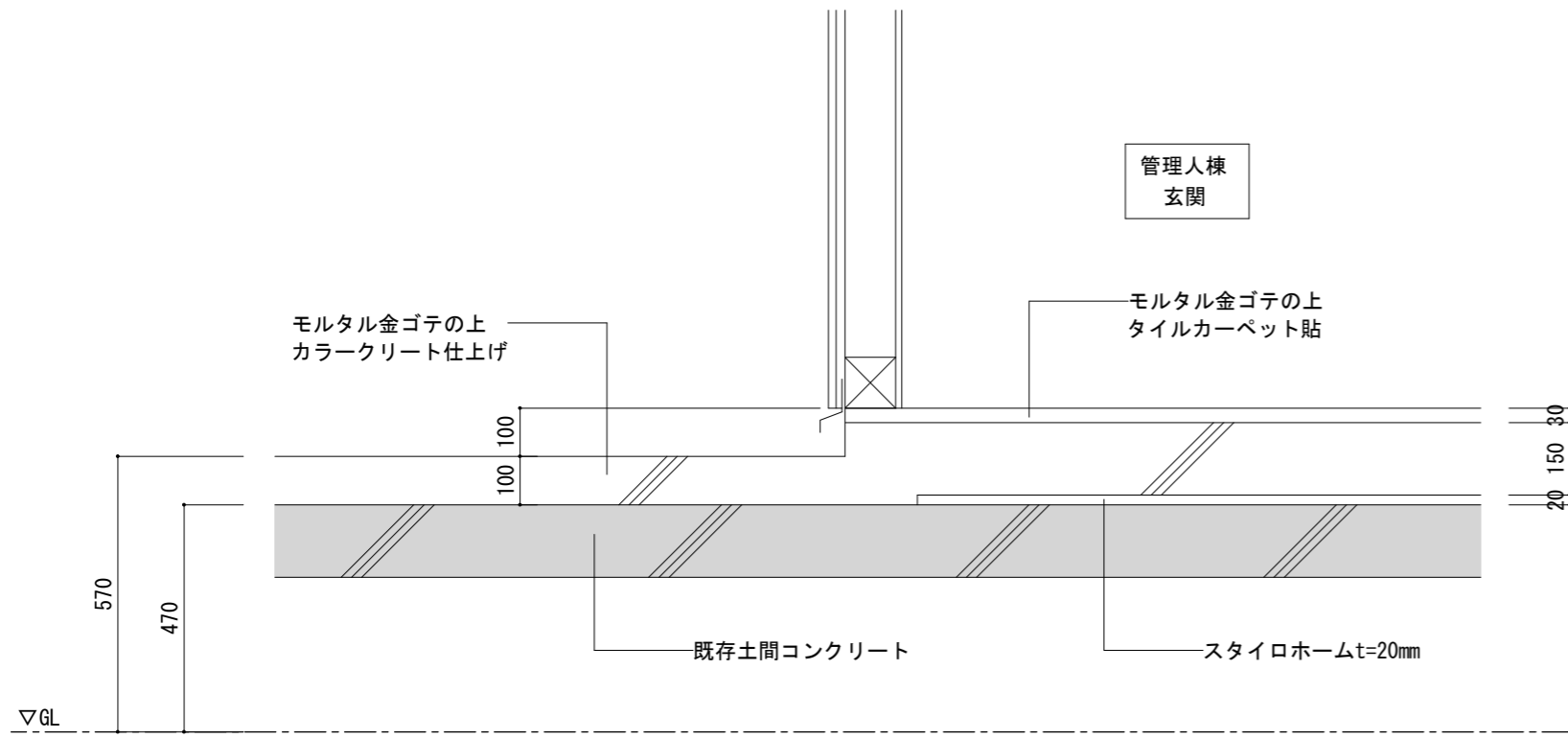
NO D-40



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）
 ITEM 詳細図

MEMO
 SCALE 1 : 15

DATE
 CHECK



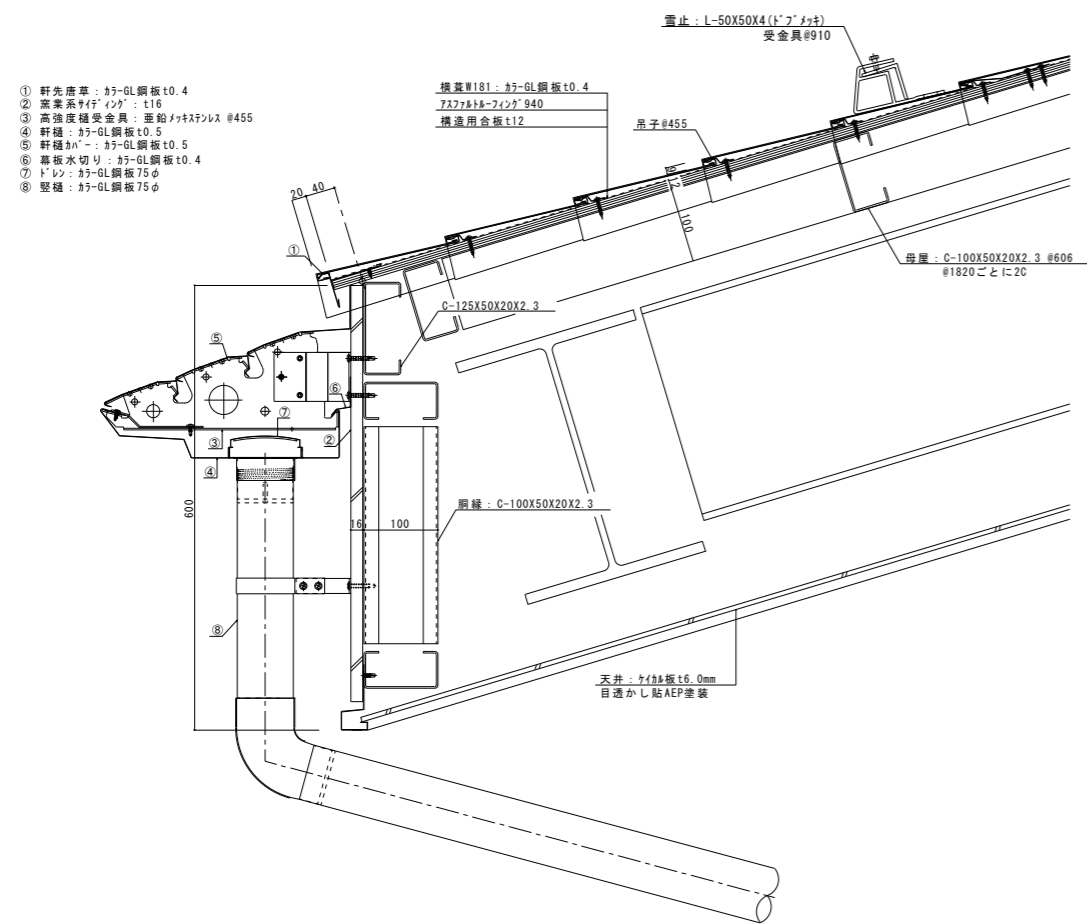
TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）
 ITEM 詳細図2

MEMO
 SCALE 1 : 15

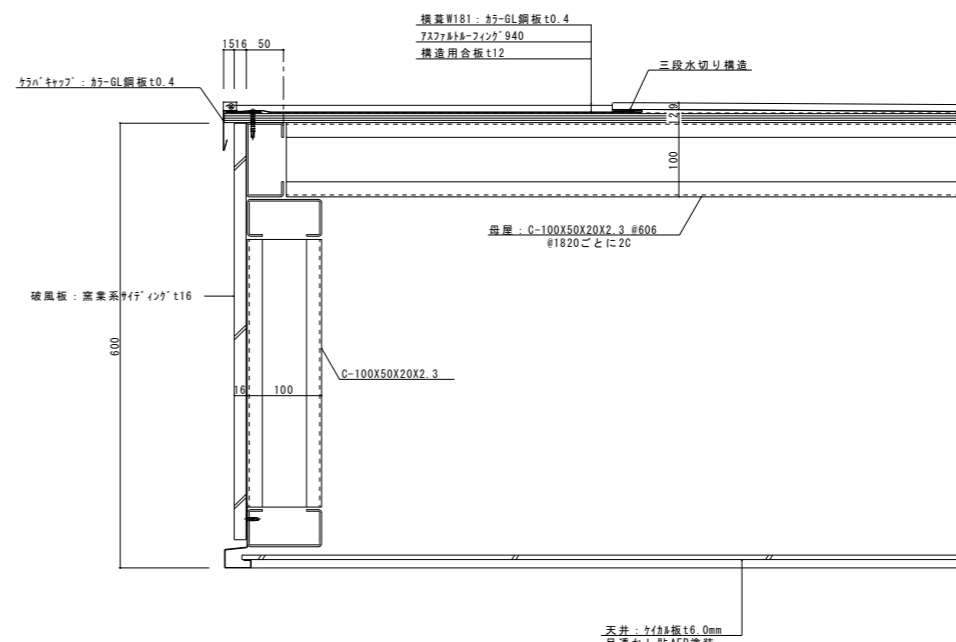
DATE
 CHECK

NO D-41
 -2

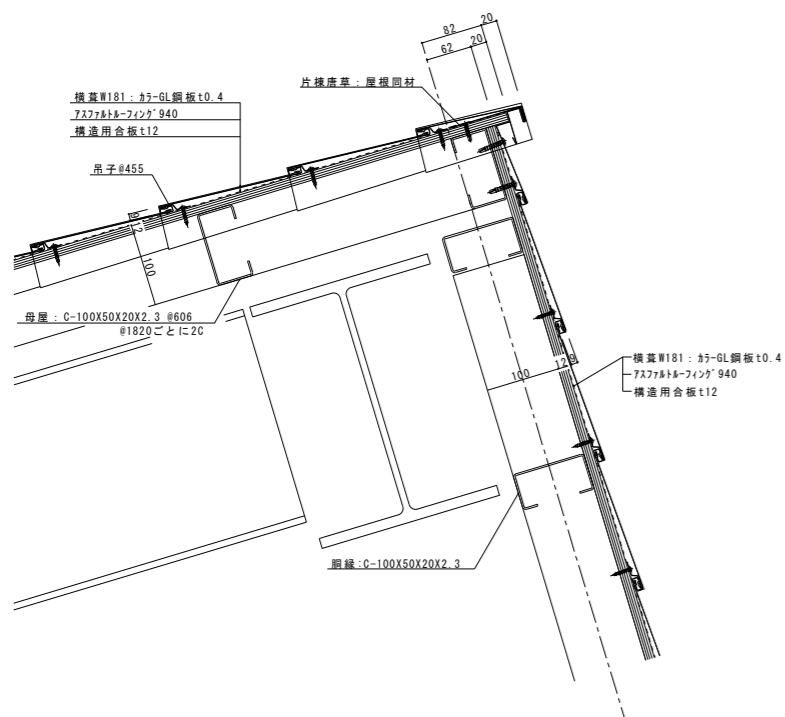
軒先



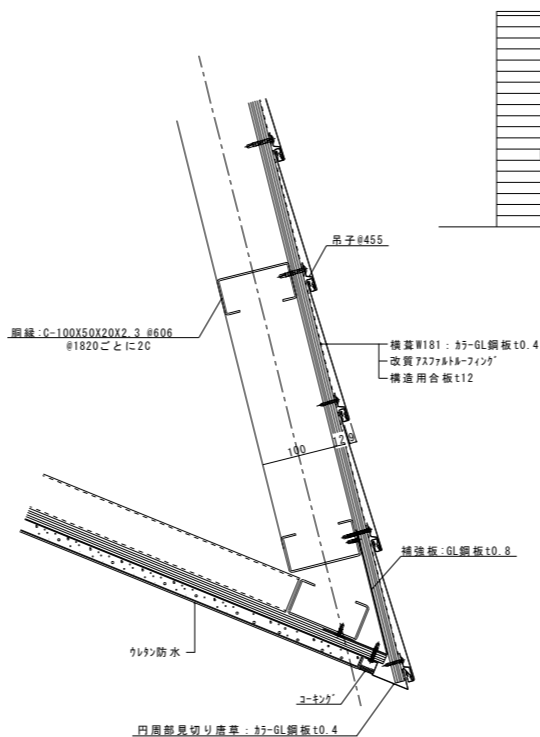
妻側



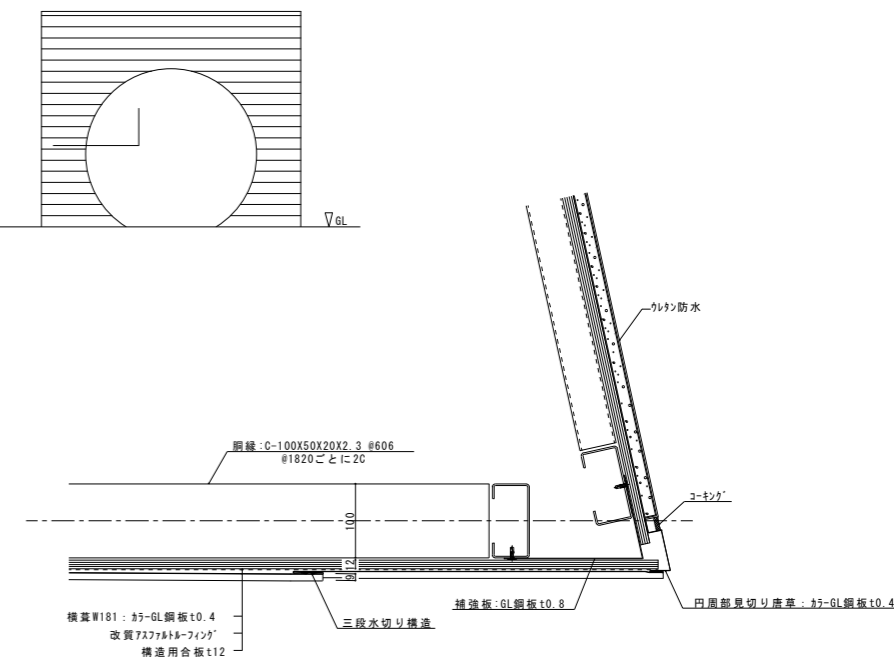
片棟



円周上部



円周側面



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事(建築主体)(債務)

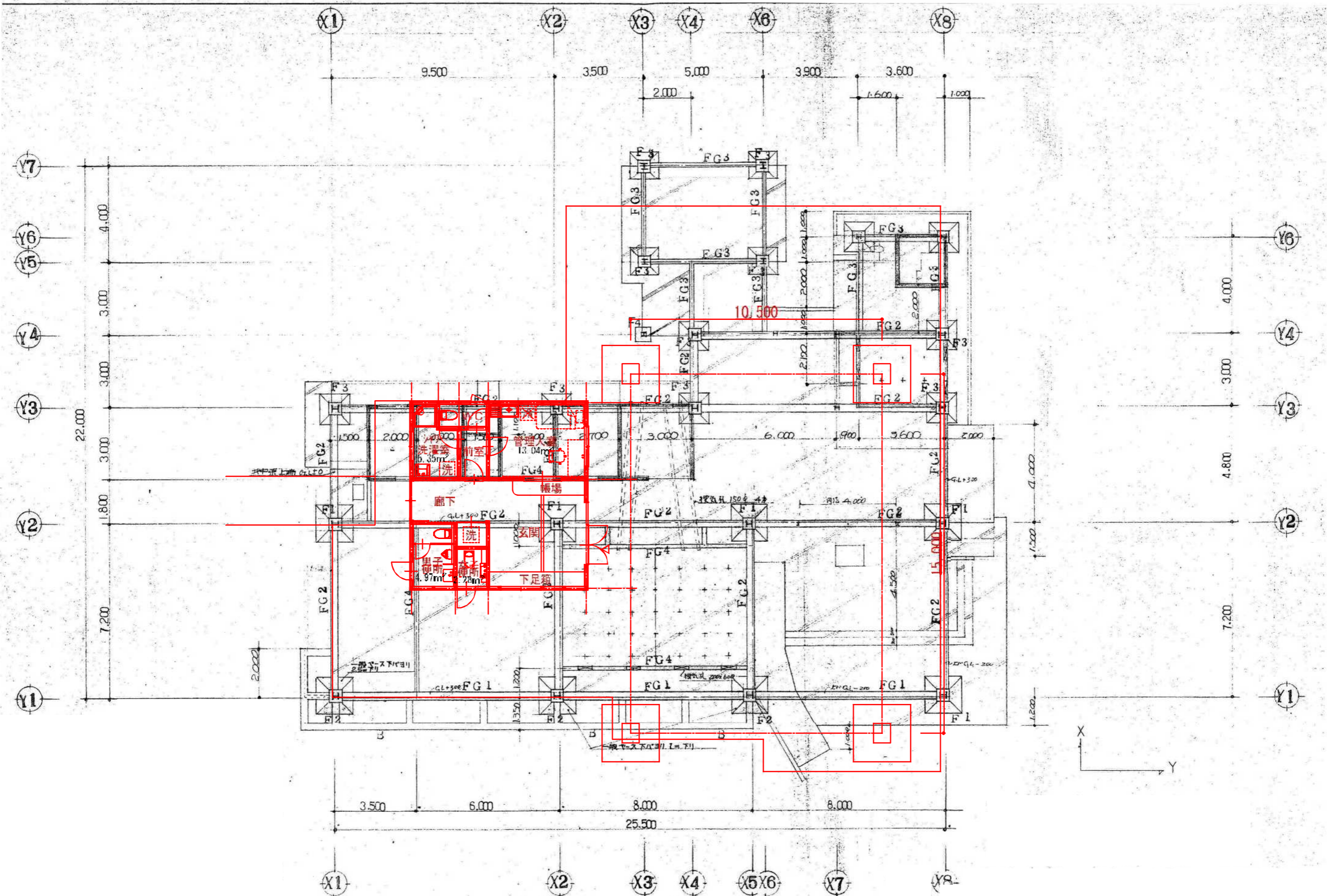
MEMO

DATE

ITEM 【活動スペース】屋根詳細図

SCALE 1:5

CHECK



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

MEMO

DATE

ITEM 【活動スペース】基礎確認図

SCALE 1 : 150

CHECK

外部仕上表

屋根	改修前	カラー鉄板瓦葺き、アスファルトルーフィング22kg、野地板@12、雪止めアングル：耐候性鋼L=50×50、L=300 チドリ配置 トップライト：ポリカーボネート性 900角（アルミ枠・アルミ水切付）3ヶ所、（建設省告示101号適合品）	ぬれ縁	改修前	スノコ、ヒバ120×60 @80、木材保護塗料塗り（3回）
	改修後	断熱材付ガルバリウム鋼板によるカバー工法		改修後	撤去
軒天	改修前	硬質木片セメント板 @12 VP 目透かし@900	縦樋・軒樋	改修前	配管用鋼板 縦樋：塩ビ製100φ OP
	改修後	軒天及び破風板撤去、 軒天一段ケイカル板AEP塗装、破風板キシラデコール塗装		改修後	既存撤去、新規新設 軒樋：カナメシャープ樋、縦樋：カラーGL鋼板t0.5
外壁	改修前	ラスカットボード@9.0 モルタル金ゴテ シリカー系リシン吹付、ローラー押え 腰：杉板@18 押縁下見張り@176、木材保護塗料塗り（3甲斐）	柱型	改修前	化粧付柱 180×30杉材、木材保護塗料塗り（3回）
	改修後	現況の腰杉板撤去、その他、現況の上、構造用合板t3.0、縦胴縁、現場発泡ウレタンt25、構造用合板t9.0 窯業系サイディングt16貼		改修後	付け柱：調整の上、縦胴縁として使用
基礎	改修前	コンクリート打放し	建具	改修前	アルミ製サッシ見込70（ブロンズ色）、内部木製、スチール製サッシ見込86（OP塗）
	改修後	コンクリート打放し、モルタル補修の上、AEP塗装		改修後	ガラスを真空ガラスに入替え
渡り廊下	改修後	床：ノーマッドマット（ケミタングルハード）t14.0mm			

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

MEMO

DATE

ITEM 【既存宿泊棟】外部仕上表

SCALE -

CHECK

NO

D-44

内部仕上表

階	室名		天井高	床	巾木	壁	天井	備考
1階	前室	改修前	2,450	モルタル金ゴテ、長尺塩ビ系シート t2.0(ヨウセツ止め)	木製 OP H=100	木胴縁、石膏ボードt12 AEP	石膏ボードt9.0 AFP	
		改修後		長尺塩ビシート撤去の上、タイルカーペット (NT350)t6.2	OP	PB面はビニールクロス貼 モルタル面はクラック部分パテ処理後、寒冷紗貼の上、AEP塗装	一部天井補修の上、AEP塗装上塗り	
	研修室 ↓ ベツルム	改修前	2,400	モルタル金ゴテ下地、ラバークッション付、長尺縁甲板張りt12.5	木製 OP H=100	木胴縁、ラスカットボードt9.0、モルタル金ゴテ AEP塗装	石膏ボードt9.0 AEP 木製格子天井(一部)	
		改修後		縁甲板張り撤去の上、 レベルクリート下地タイルカーペット (NT350)t6.2	OP	モルタル面はクラック部分パテ処理後、寒冷紗貼の上、AEP塗装	天井撤去の上、天井表し / 梁OP塗装 デッキプレートに不燃性現場発泡ウレタンt20 水性アクリル塗装	カーテン(備品)、カーテンレール セキュリティボックス、壁掛け扇風機(各個室)
	研修室・宿泊室 ↓ ベツルム	改修前	2,400	モルタル金ゴテ下地、ラバークッション付、長尺縁甲板張りt12.5	木製 OP H=100	木胴縁、ラスカットボード@9.0、モルタル金ゴテ AEP (界壁は小屋裏までモルタル金ゴテ仕上)	石膏ボードt9.0 AEP 木製格子天井(一部)	
		改修後		縁甲板張り撤去の上、 レベルクリート下地タイルカーペット (NT350)t6.2	OP	モルタル面はクラック部分パテ処理後、寒冷紗貼の上、AEP塗装	天井撤去の上、天井表し / 梁OP塗装 デッキプレートに不燃性現場発泡ウレタンt20 水性アクリル塗装	カーテン(備品)、カーテンレール セキュリティボックス、壁掛け扇風機(各個室)
	リネン	改修前	2,400	モルタル金ゴテ、長尺塩ビ系シート t2.0(ヨウセツ止め)	木製 OP H=100	木胴縁、石膏ボードt12 AEP	石膏ボードt9.0 AEP	木製棚
		改修後		長尺塩ビシート t2.0 張り替え	OP	AEP塗装上塗り	天井補修の上、AEP塗装上塗り	
	食堂	改修前	2,300 3,600	モルタル金ゴテ、長尺塩ビ系シート t2.0(ヨウセツ止め)	木製 OP H=100	木胴縁、石膏ボードt12、ビニールクロス貼り(準不)	石膏ボードt9.0 ビニールクロス貼り(準不)	ステンレス流し(撤去)
		改修後		長尺塩ビシート撤去の上、ロボフロアt5.0(アスワン様)	OP	ビニールクロス張り替え	ビニールクロス張り替え	流し台新設、暖炉 カーテンレール
	洗面 ↓ 男子・女子便所	改修前	2,450	モルタル金ゴテ、長尺塩ビ系シート t2.0(ヨウセツ止め)	木製 OP H=100	木胴縁、石膏ボードt12 AEP	石膏ボードt9.0 AEP	
		改修後		長尺塩ビシート t2.0 張り替え	長尺巻き上げ	下地処理の上化粧シート貼	既存石膏ボード撤去の上、化粧石膏ボード貼	ミラー600×1,600
	女子便所	改修前	2,400	磁器質タイル50角タイル貼り 踏込：モルタル金ゴテ、長尺塩ビ系シート t2.0(ヨウセツ止め)	磁器質 100角タイル	木胴縁、ラスカットボードt9.0、モルタル金ゴテ 目地切VP 腰壁：磁器質タイル貼り H=1000 色分けライン	フレキシブルボードt6.0 目透かし VP 910角	
		改修後		既存タイル上、モルタル金ゴテの上、長尺塩ビシート	長尺巻き上げ	モルタル、タイル撤去の上、 耐水PB12.5下地化粧シート貼	フレキシブルボード撤去の上、化粧石膏ボード貼	ミラー600×2,000
	男子便所	改修前	2,400	磁器質タイル50角タイル貼り 踏込：モルタル金ゴテ、長尺塩ビ系シート t2.0(ヨウセツ止め)	磁器質 100角タイル	木胴縁、ラスカットボードt9.0、モルタル金ゴテ 目地切VP 腰壁：磁器質タイル貼り H=1000 色分けライン	フレキシブルボードt6.0 目透かし VP 910角	
		改修後		既存タイル上、モルタル金ゴテの上、長尺塩ビシート	長尺巻き上げ	モルタル、タイル撤去の上、 耐水PB12.5下地化粧シート貼	フレキシブルボード撤去の上、化粧石膏ボード貼	ミラー600×1,600
シャワー室 ↓ シャワー室及び脱衣室	改修前	2,400	防水モルタル金ゴテ、塩ビ製スノコ敷込 踏込：モルタル金ゴテ、長尺塩ビ系シート t2.0(ヨウセツ止め)	モルタル金ゴテ 目地分れ VP H=100	木胴縁、ラスカットボードt9.0、モルタル金ゴテ 目地切VP	フレキシブルボードt6.0 目透かし VP 910角		
	改修後		既存撤去後 シャワールーム 脱衣室：長尺塩ビシート 張り替え	ソフト巾木 H=100	耐水PBt12.5 ビニールクロス貼	フレキシブルボード撤去の上、化粧石膏ボード貼	ミラー1,200×900 シャワーユニット 0912	
廊下	改修前	2,450	モルタル金ゴテ、長尺塩ビ系シート t2.0(ヨウセツ止め)	木製 OP H=100	木胴縁、石膏ボードt12 AEP	石膏ボードt9.0 AEP トップライト部：アルミ製ルーバー60角(木柄)		
	改修後		長尺塩ビシート撤去の上、タイルカーペット (NT350)t6.2	OP	PB面はビニールクロス貼 モルタル面はクラック部分パテ処理後、寒冷紗貼の上、AEP塗装	既存天井補修の上、AEP		
渡廊下 (階段)	改修前	2,450	モルタル金ゴテ、長尺塩ビ系シート t2.0(ヨウセツ止め)	木製 OP H=100	木胴縁、石膏ボードt12 AEP	石膏ボードt9.0 AEP		
	改修後		長尺塩ビシート撤去の上、タイルカーペット (NT350)t6.2	OP	PB面はビニールクロス貼 モルタル面はクラック部分パテ処理後、寒冷紗貼の上、AEP塗装	既存天井補修の上、AEP	ノンスリップ	
2階	研修兼 宿泊室 ↓ ベツルム	改修前	2,100 3,750	均しモルタル下地、ネダフォームt65 タタミt60敷込、ケヤキ柄縁甲板張り	タタミ寄せ 雑巾摺り	木胴縁、ラスカットボードt9.0、モルタル金ゴテ 目地切VP ジュラク柄ビニールクロス貼り(準不)(界壁は小屋裏まで)	石膏ボードt9.0 ビニールクロス貼り(準不)	
		改修後		ネダフォーム撤去の上、乾式2重床の上、合板t12.0 タイルカーペット (NT350)t6.2	ソフト巾木 H=100	ビニールクロス張り替え	ビニールクロス張り替え 一部換気扇部分フラット壁必要	壁掛け扇風機(各個室)
	押入	改修前		木組床、合板t5.5 (T.1)	雑巾摺り	木胴縁、合板t4 (T.1)	合板t3.0 (T.1)	
		改修後		合板t5.5の上、長尺塩ビシート	ソフト巾木 H=100	PBt12.5の上、ビニールクロス貼	PBt9.5の上、ビニールクロス貼	
	廊下	改修前	2,100 3,750	モルタル金ゴテ下地、ラバークッション付、長尺縁甲板張りt12.5	木製 OP H=100	木胴縁、石膏ボードt12 AEP	石膏ボードt9.0 AEP	
改修後			長尺縁甲板張りの上、タイルカーペット (NT350)t6.2	OP	ボード下地の上、AEP塗装 一部、クラック部分パテ処理後、寒冷紗貼の上、AEP塗装	既存天井補修の上、AEP		
階段			踏面：タイルカーペット (NT350)t6.2、蹴上：ウレタン塗装				ササ、蹴上：OP塗装 ノンスリップ 取付	

注1) 内部天井補修はボード張替とし、想定数量20.5㎡とする
但し、施工時期変更がある場合は協議し、負債金額の増減を行う

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事(建築主体)(債務)

MEMO

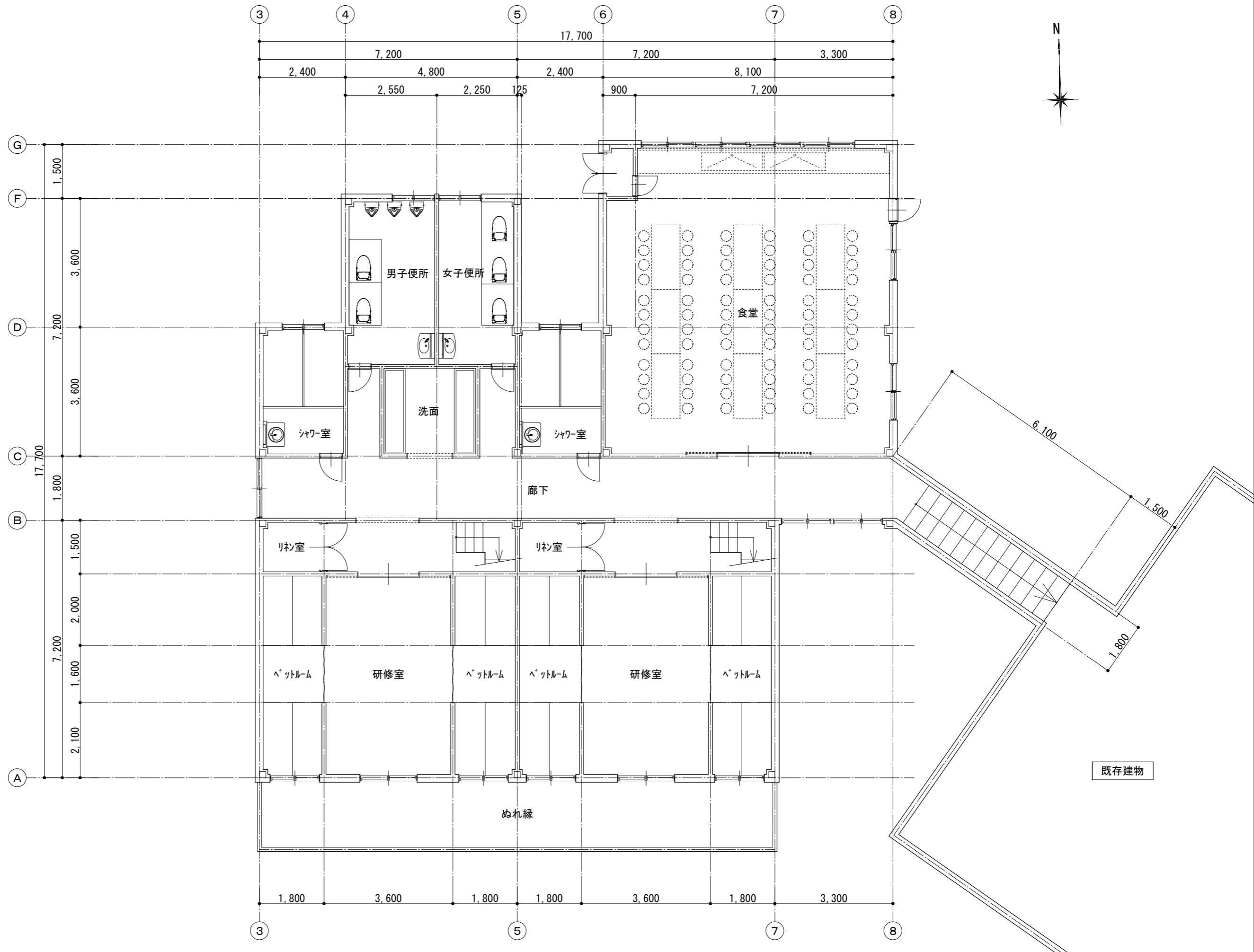
DATE

ITEM 【既存宿泊棟】内部仕上表

SCALE -

CHECK

NO D-45



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

ITEM 【改修前】1階平面図

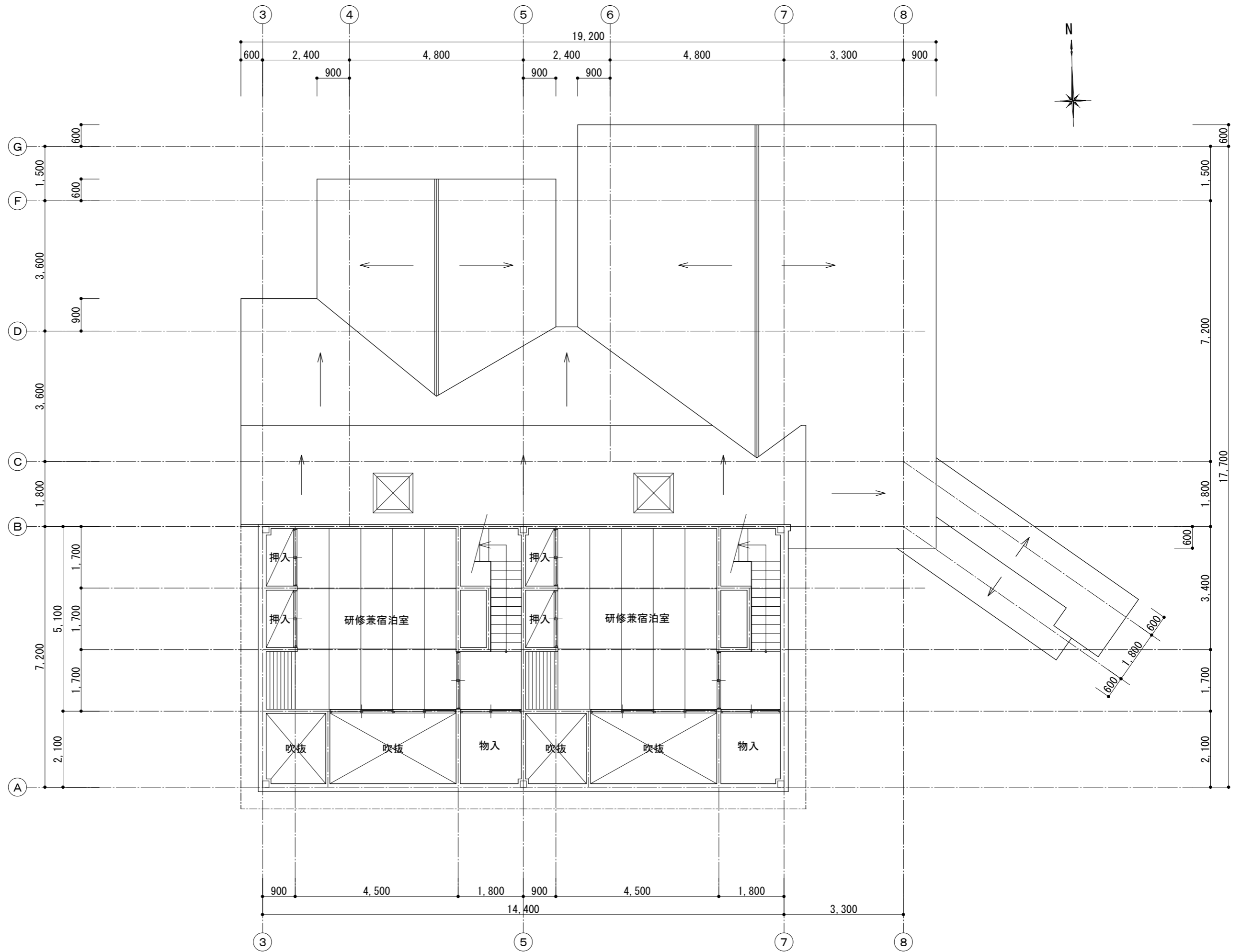
MEMO

SCALE 1 : 100

DATE

CHECK

NO D-46



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

MEMO

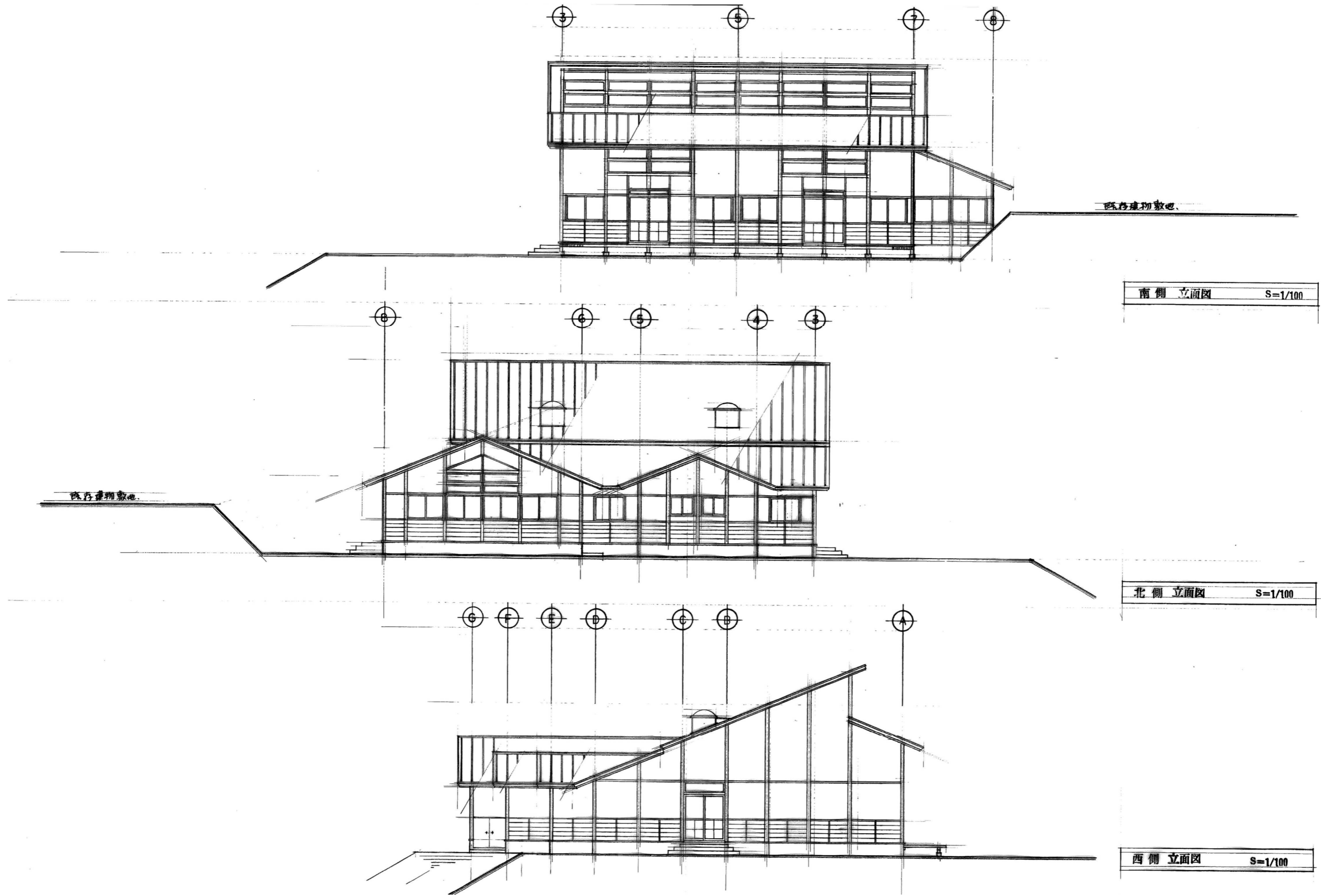
DATE

ITEM 【改修前】2階平面図・1階屋根伏図

SCALE 1 : 100

CHECK

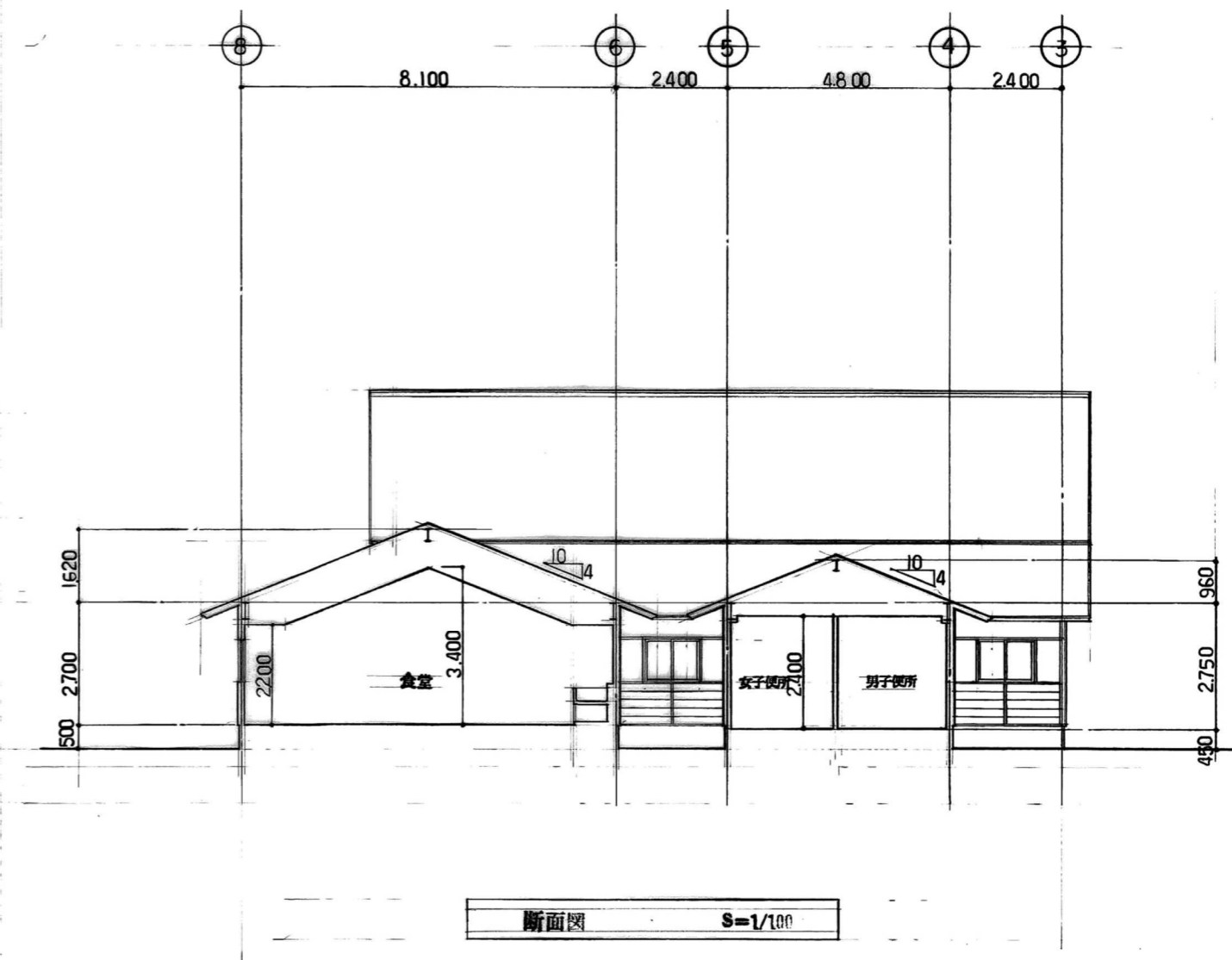
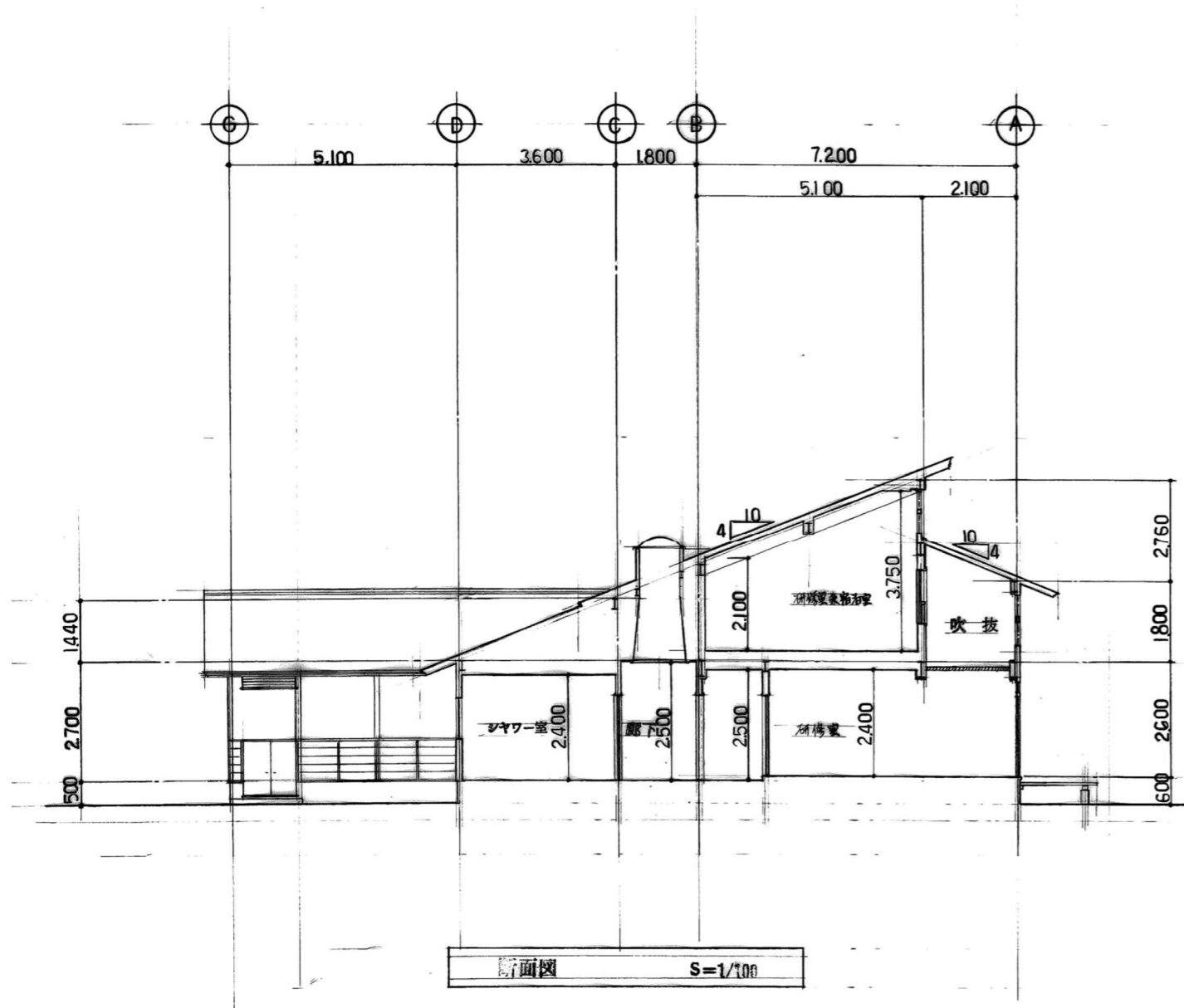
NO D-47



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）
 ITEM 【既存宿泊棟】 既存立面図

MEMO
 SCALE

DATE
 CHECK



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

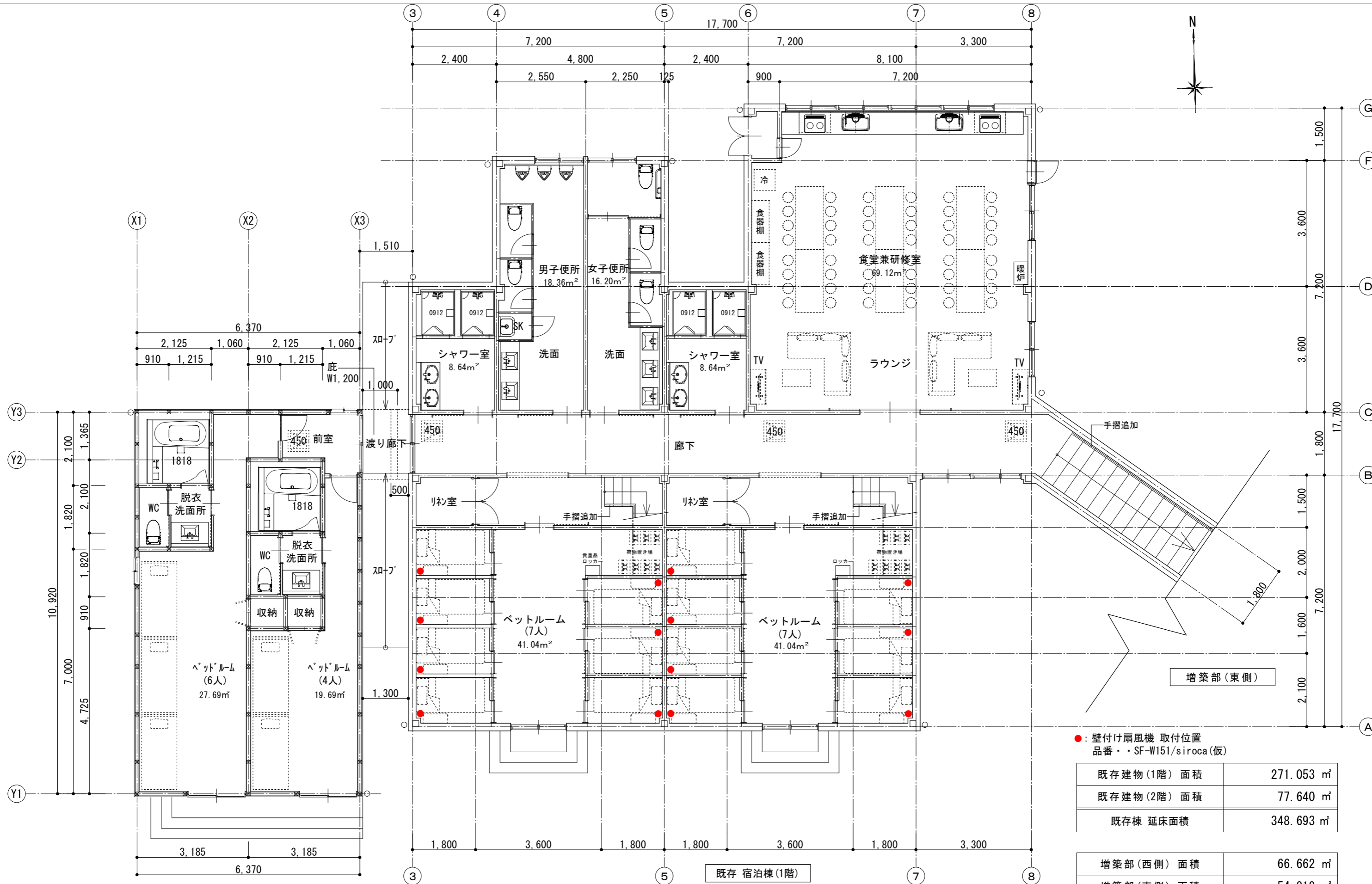
MEMO

DATE

ITEM 【既存宿泊棟】既存断面図

SCALE

CHECK



●: 壁付け扇風機 取付位置
品番・・SF-W151/siroca(仮)

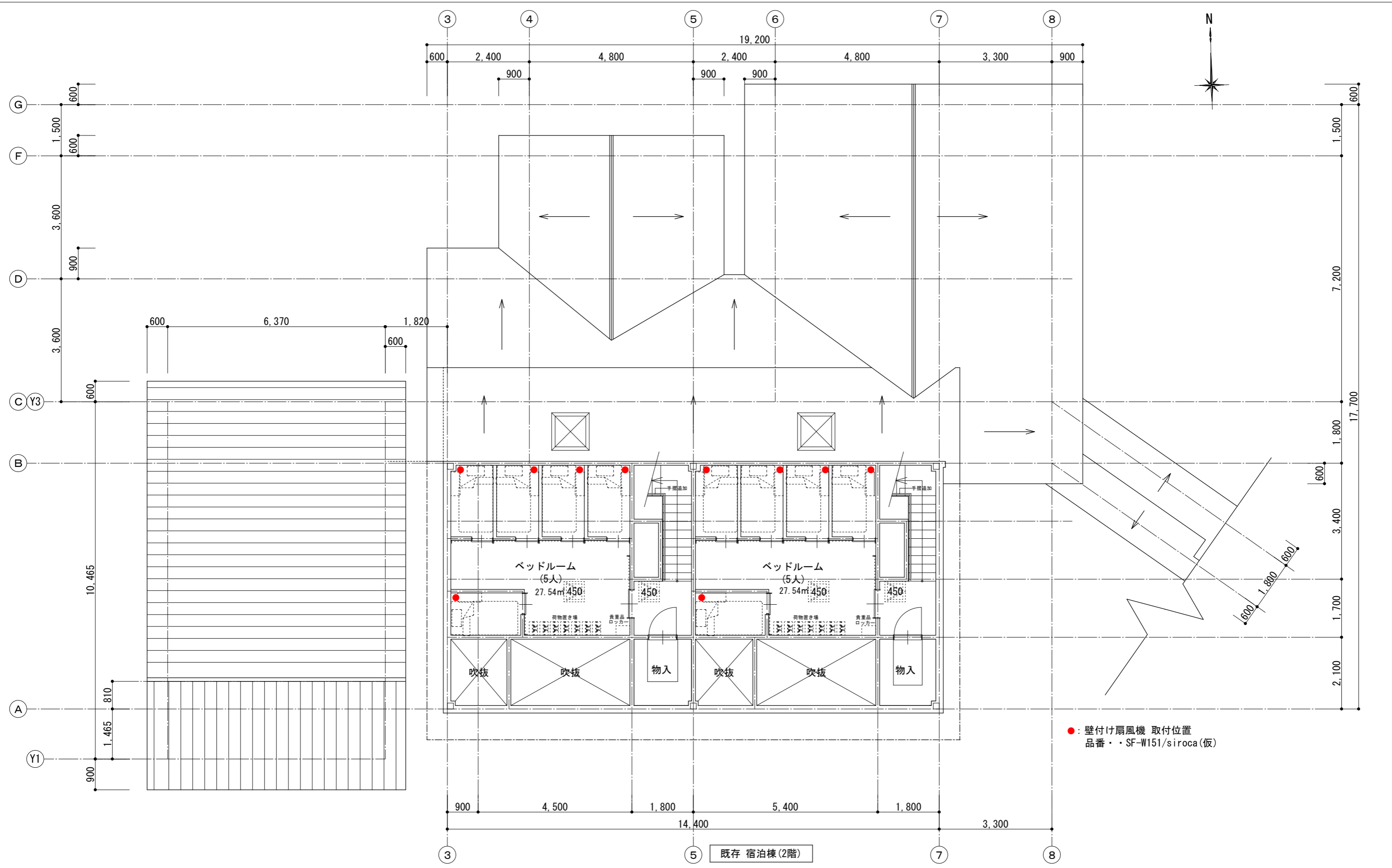
既存建物(1階)面積	271.053 m ²
既存建物(2階)面積	77.640 m ²
既存棟 延床面積	348.693 m ²

増築部(西側)面積	66.662 m ²
増築部(東側)面積	54.818 m ²
大屋根 面積	199.14 m ²

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事(建築主体)(債務)
ITEM 【改修後】1階平面図

MEMO
SCALE 1:100

DATE
CHECK



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

ITEM 【改修後】2階平面図・1階屋根伏図

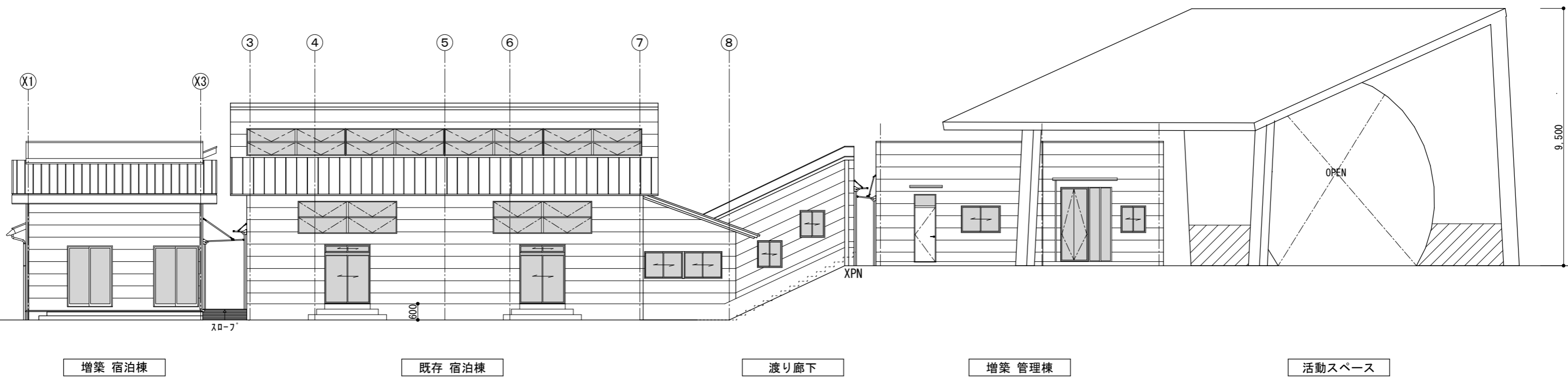
MEMO

SCALE 1 : 100

DATE

CHECK

NO D-52



増築 宿泊棟

既存 宿泊棟

渡り廊下

増築 管理棟

活動スペース

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

MEMO

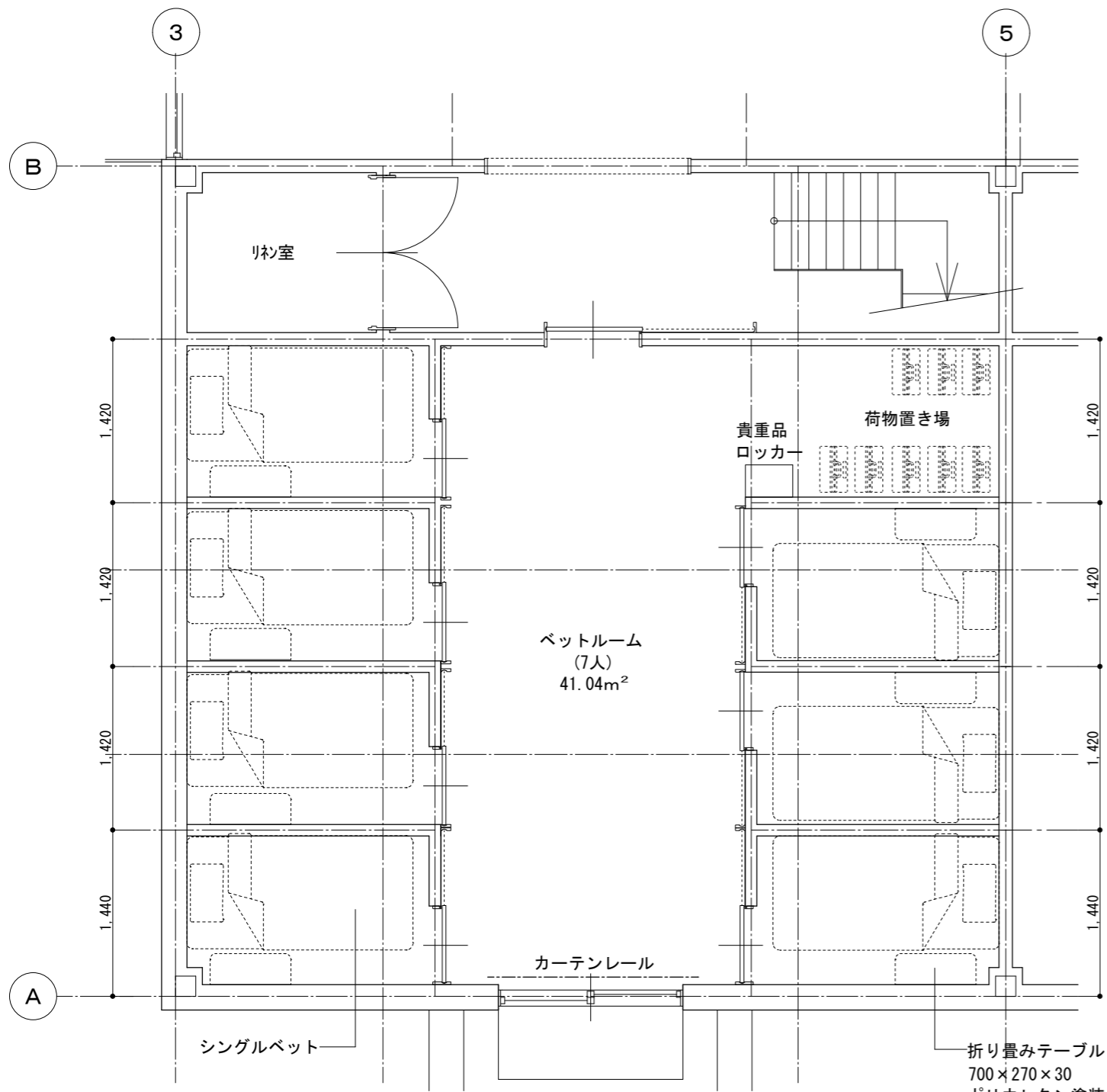
DATE

ITEM 【改修後】全体立面図

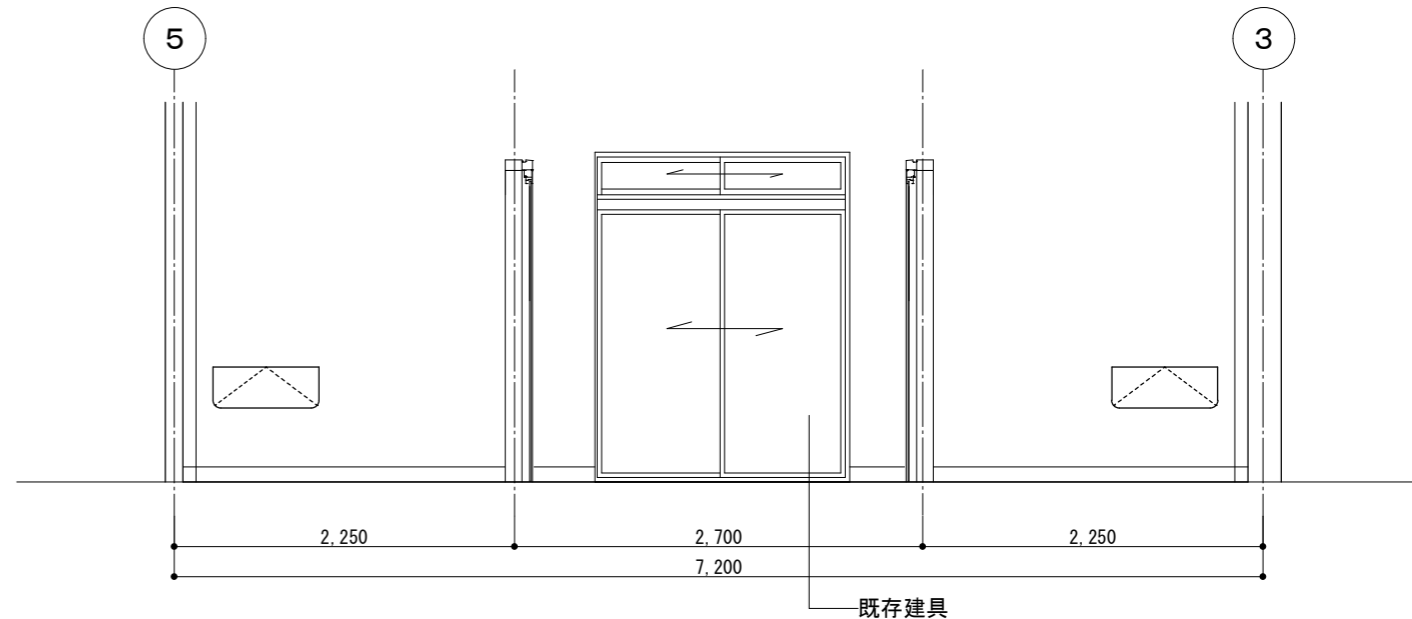
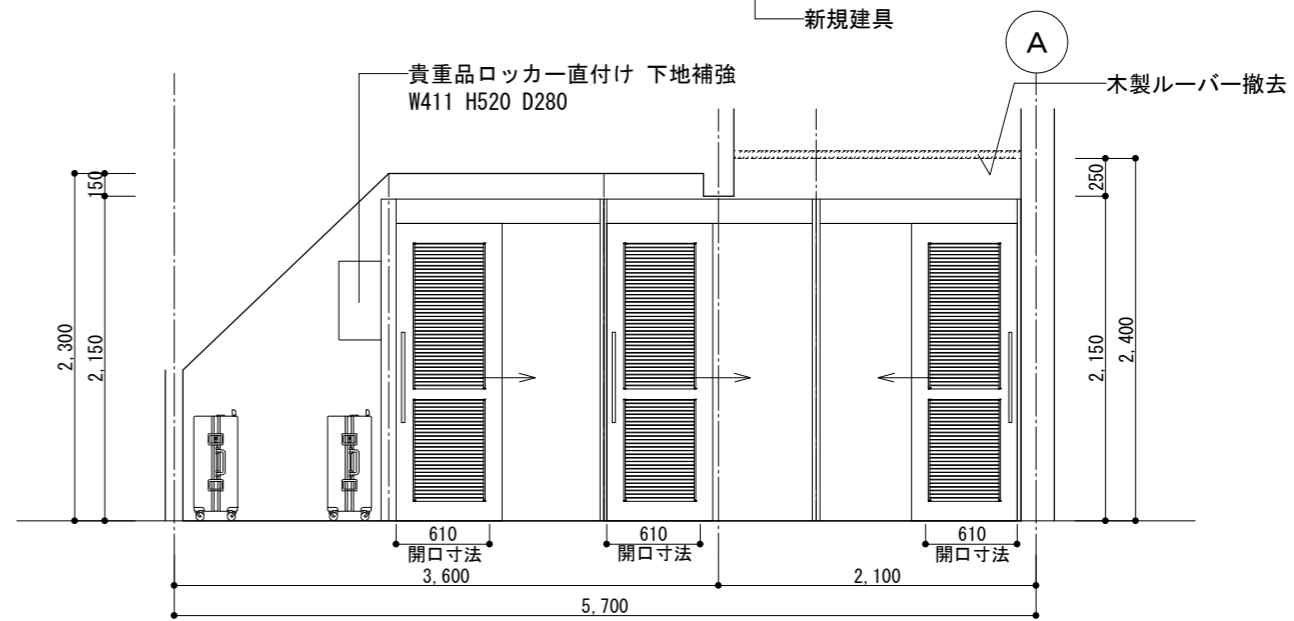
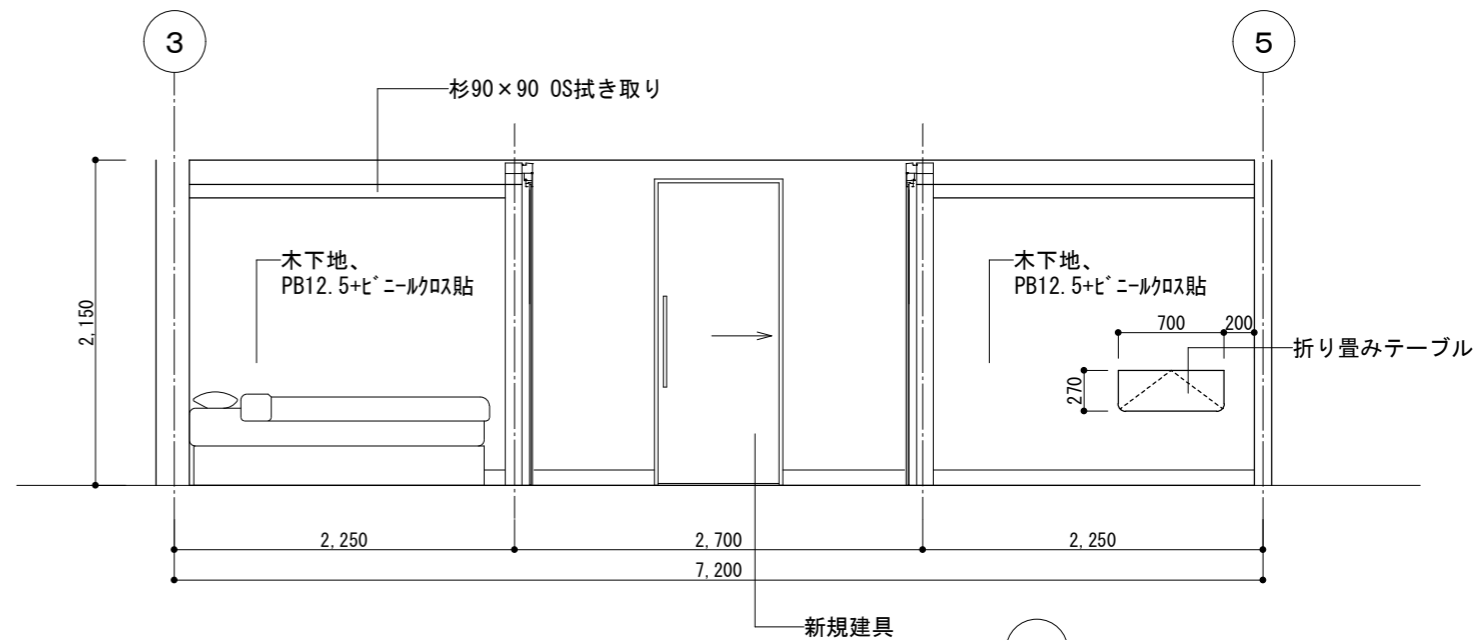
SCALE 1 : 150

CHECK

NO D-54



ベツドルーム (7人)	
床	縁甲板張り撤去の上、 レベルクリート下地タイルカーベツ (NT350) t6.2
巾木	既存木製H=100 OP塗装
壁	モルタル面はクラック部分パテ処理後、寒冷紗貼の上、AEP塗装
天井	天井撤去の上、天井表し / 梁OP塗装 デッキプレートに不燃性現場発泡ウレタンt20 水性アクリル塗装
備考	カーテン(備品) カーテンレール、セキュリティボツクス、壁掛け扇風機(各個室)



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

ITEM 【既存宿泊棟】展開図1

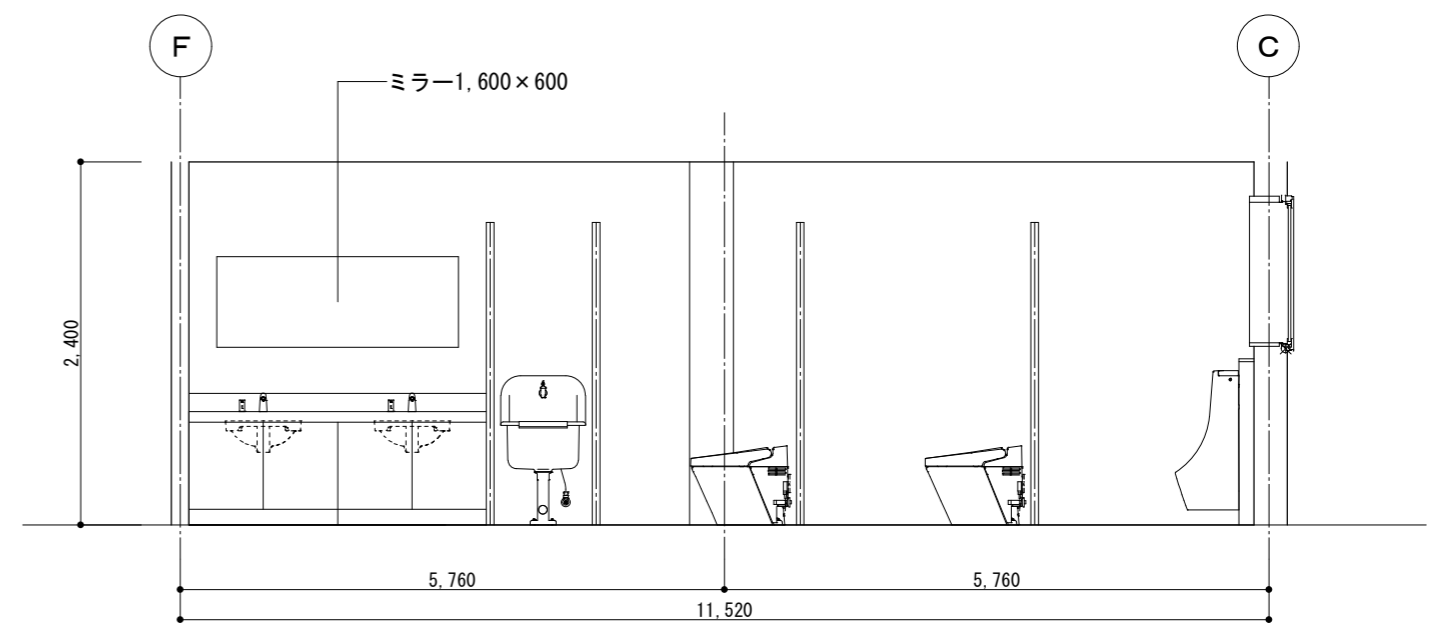
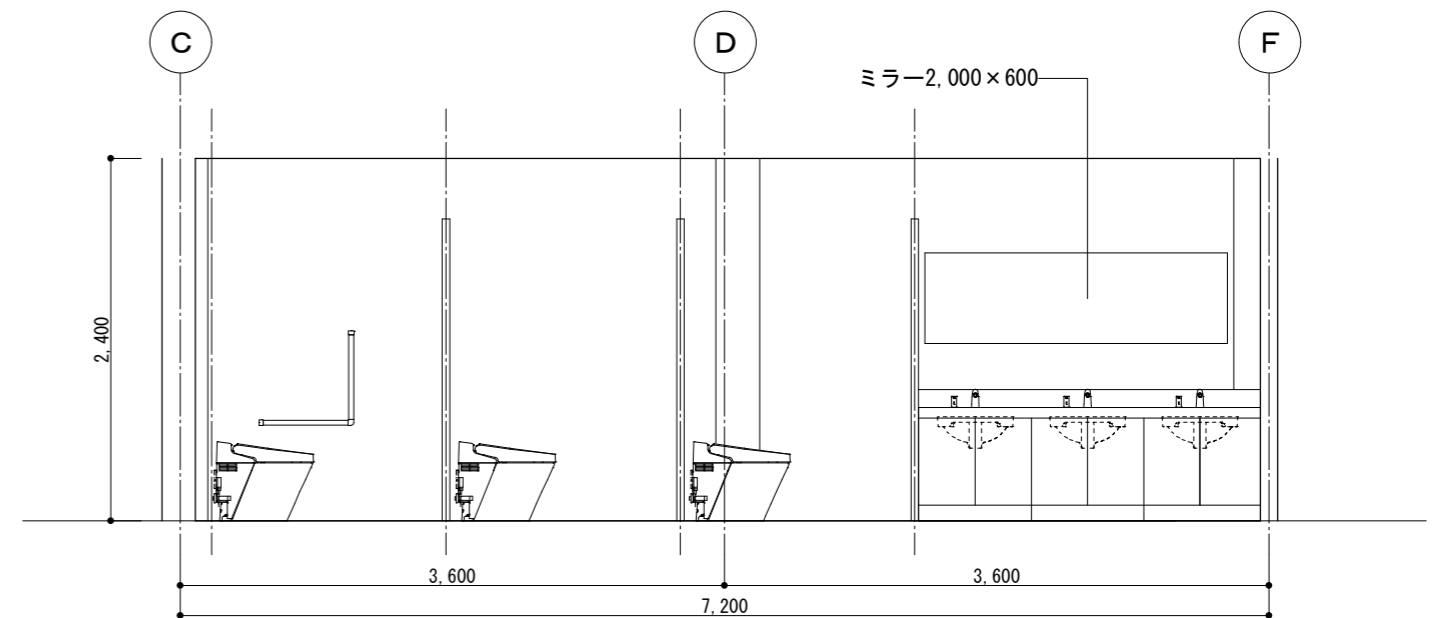
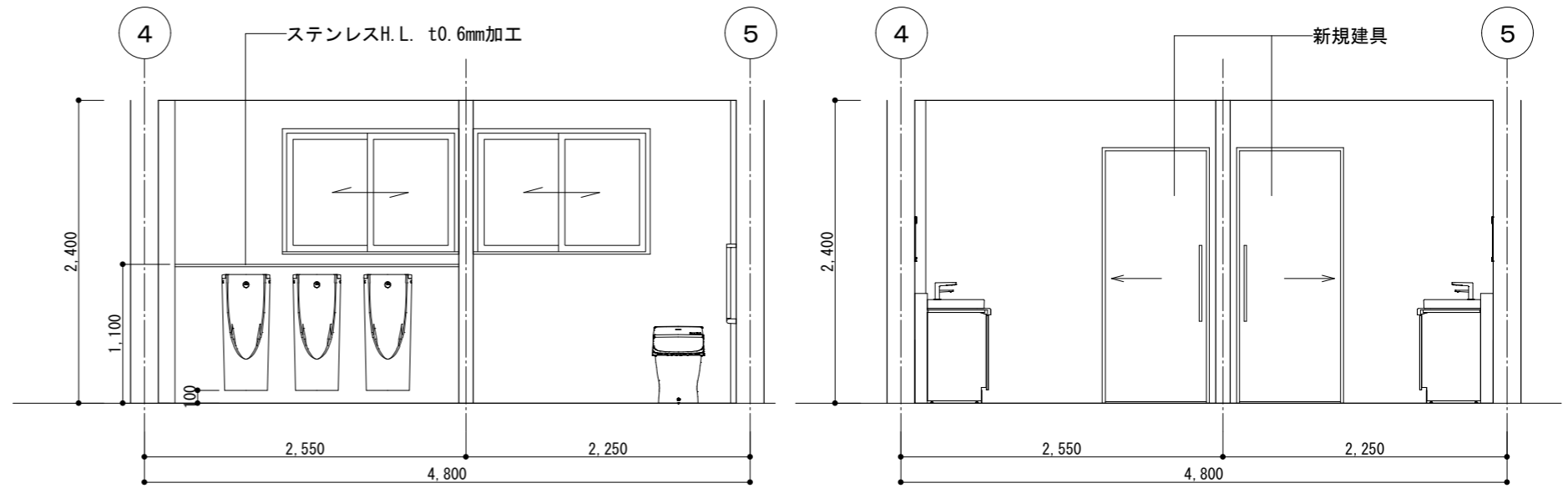
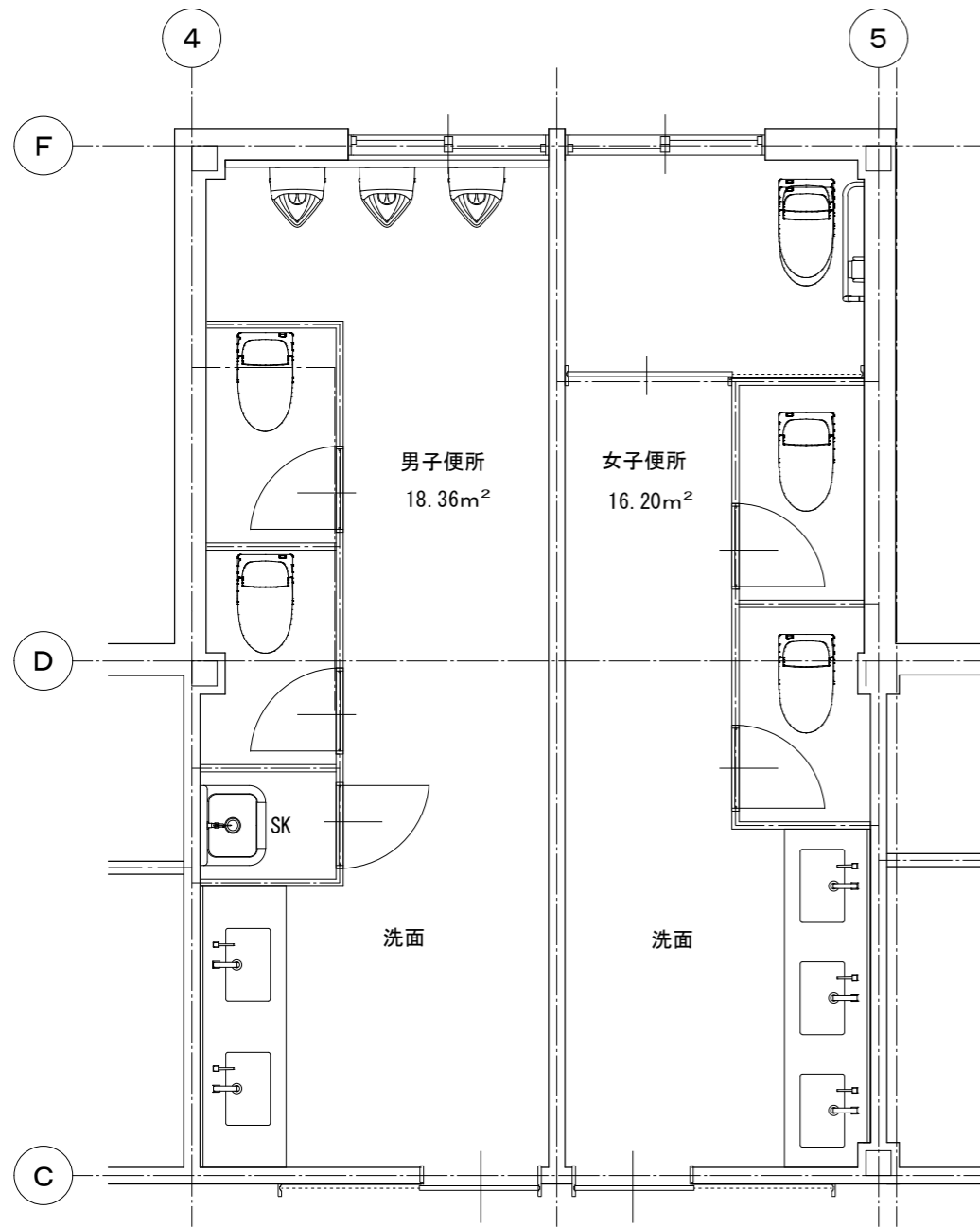
MEMO

SCALE 1 : 50

DATE

CHECK

NO D-55



男子・女子便所	
床	既存タイル上、モルタル金ゴテの上、長尺塩ビシート (洗面部分)長尺塩ビシート t2.0 張り替え
巾木	長尺巻き上げ H=100
壁	既存下地処理の上化粧シート貼
天井	フレキシブルボード撤去の上、化粧石膏ボード貼 (洗面)既存石膏ボード撤去の上、化粧石膏ボード貼
備考	ミラー600×1,600 ミラー600×2,000

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

MEMO

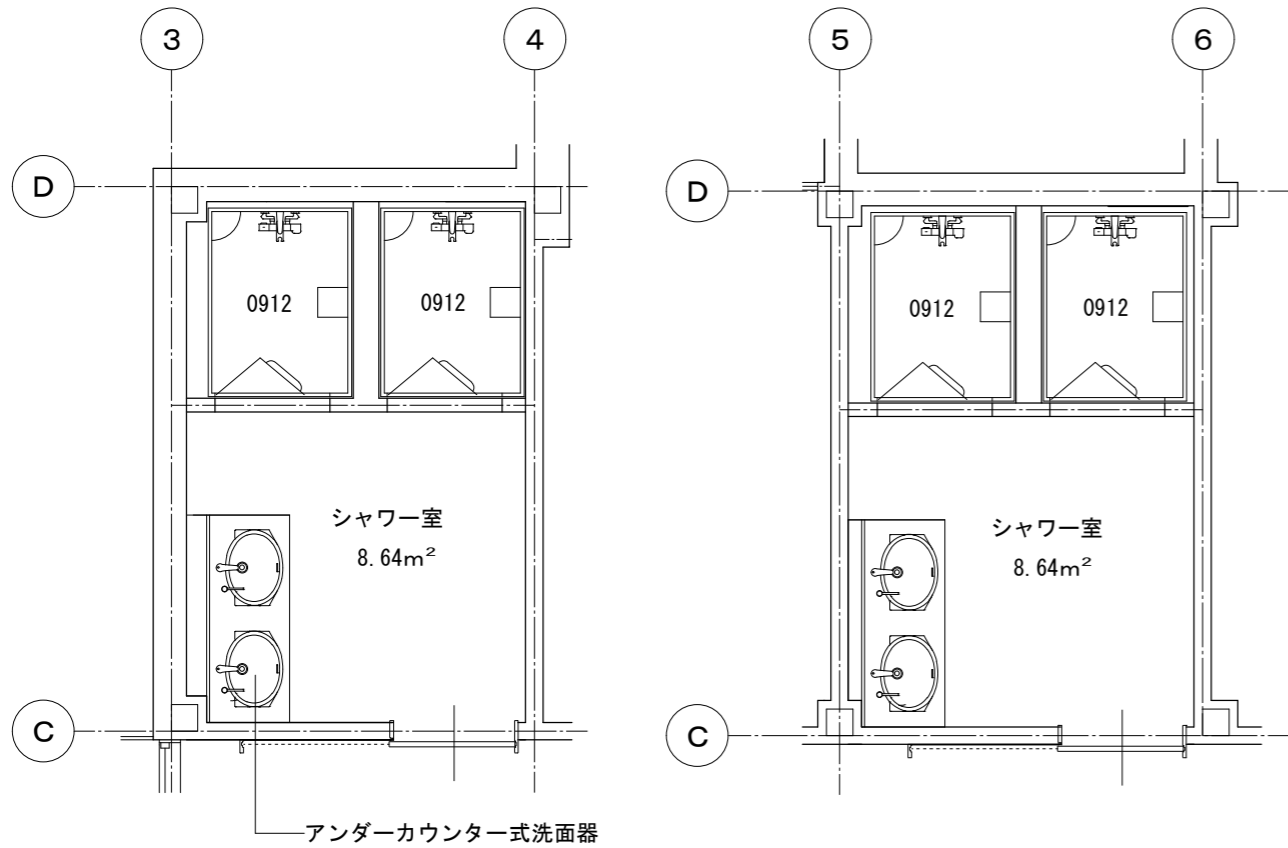
DATE

ITEM 【既存宿泊棟】展開図2

SCALE 1 : 50

CHECK

NO D-56



シャワー室	
床	既存撤去後 シャワーブース 脱衣室:長尺塩ビシート 張り替え
巾 木	ソフト巾木 H=100
壁	耐水PBt12.5 ビニールクロス貼
天 井	フレキシブルボード撤去の上、化粧石膏ボード貼
備 考	ミラー1,200×900 シャワーユニット 0912

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

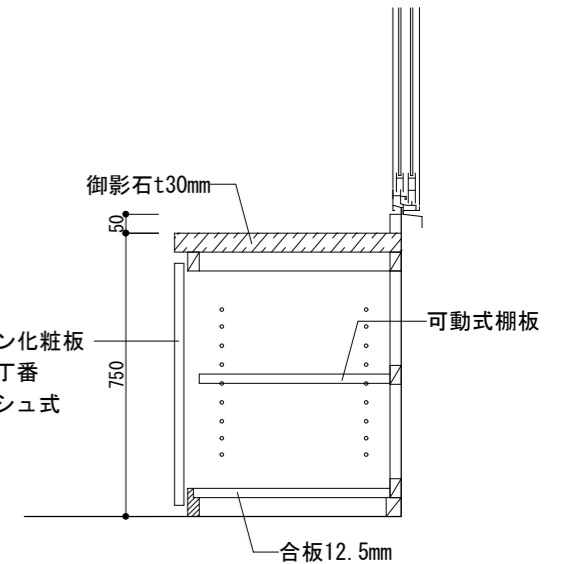
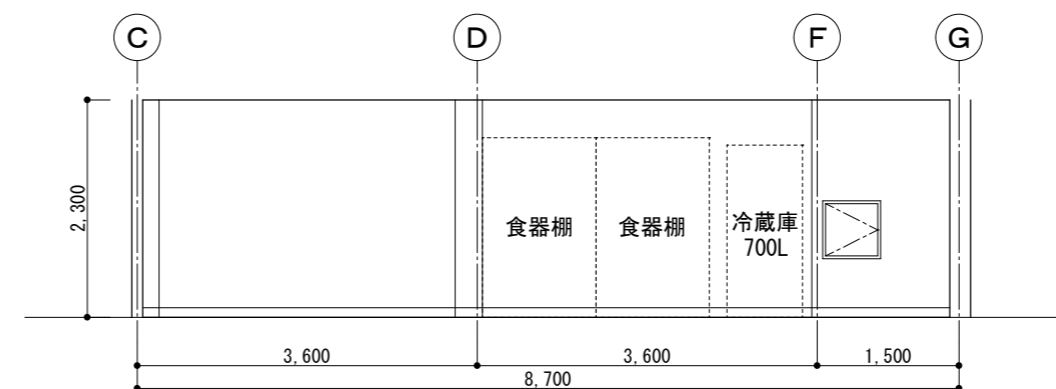
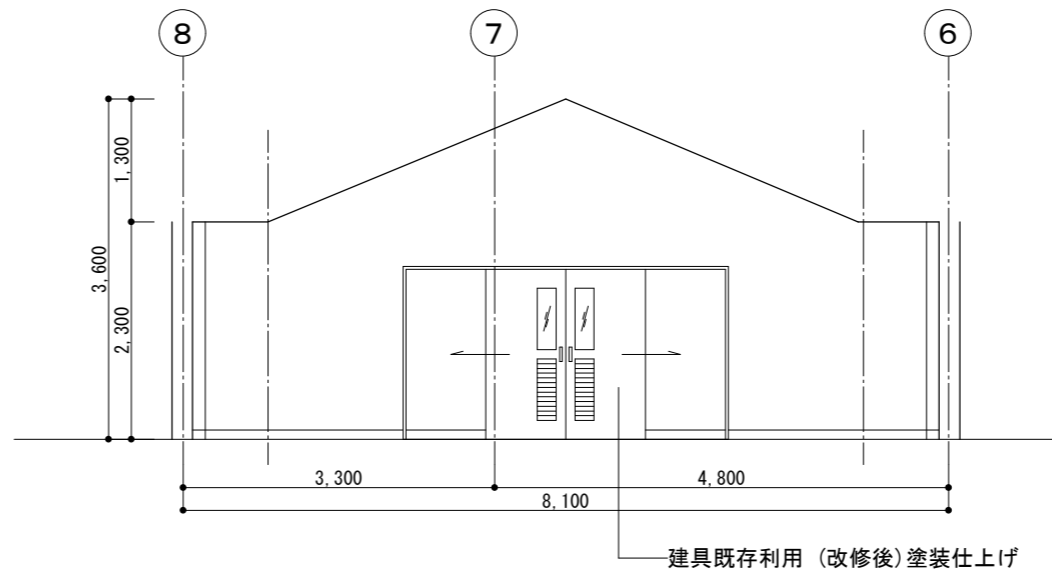
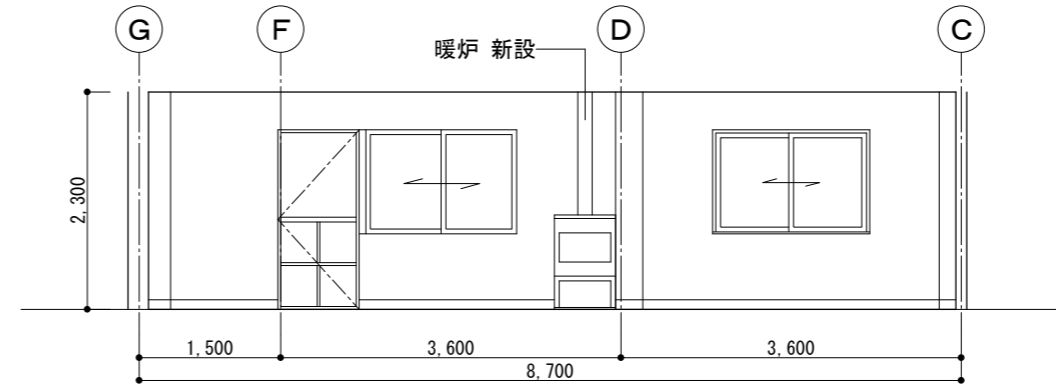
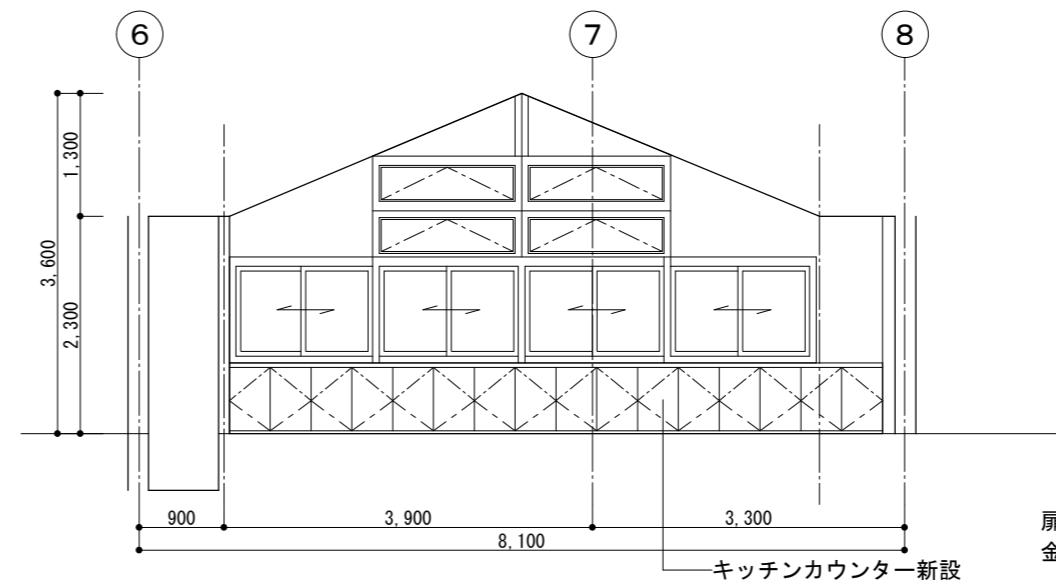
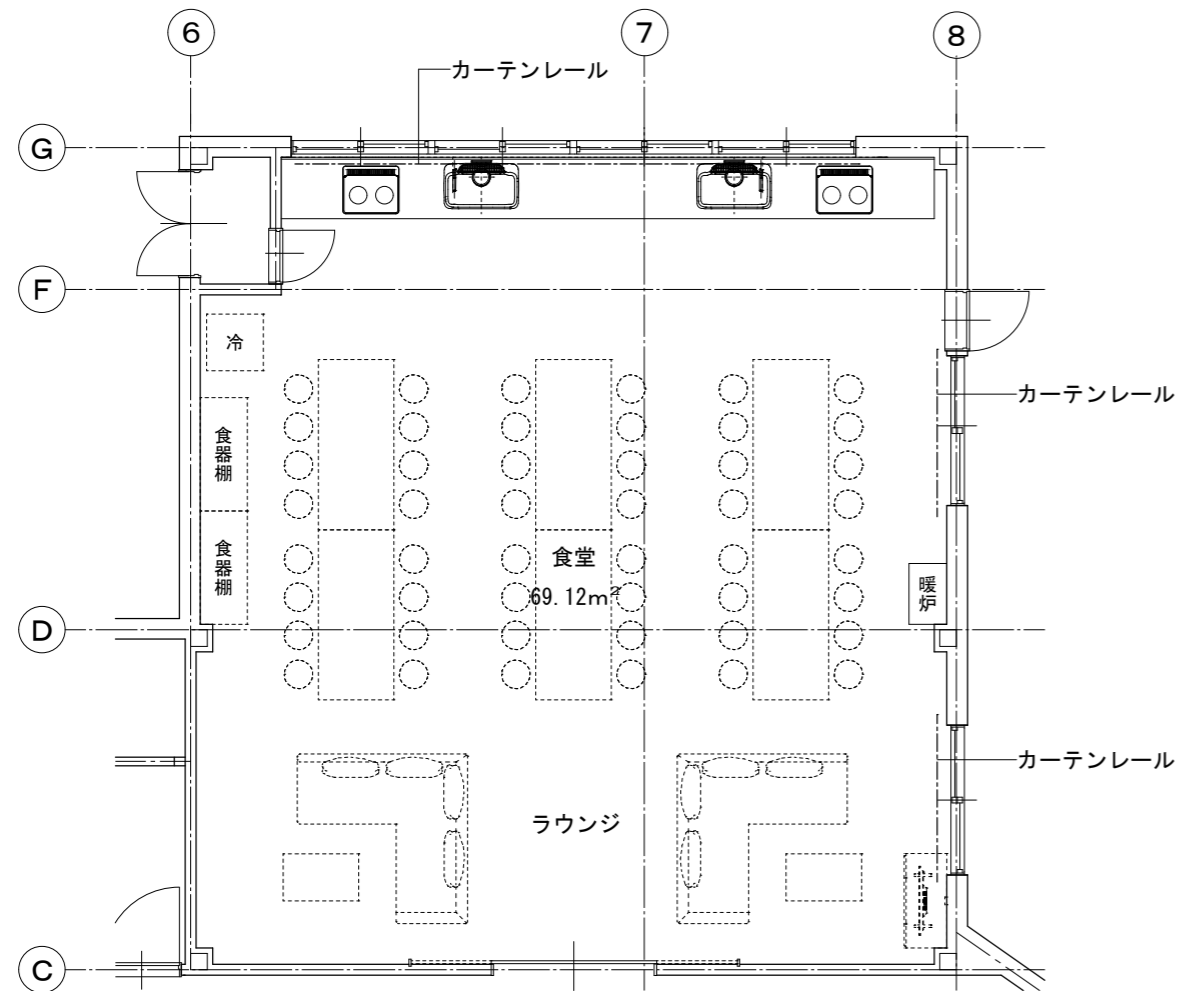
ITEM 【既存宿泊棟】展開図3

MEMO

SCALE 1 : 50

DATE

CHECK



キッチンカウンター詳細図 1/20

食堂	
床	長尺塩ビシート撤去の上、ロボフロアt5.0(アスワン株)
巾 木	既存木製H=100 OP塗装
壁	ビニールクロス張り替え
天 井	ビニールクロス張り替え
備 考	

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事(建築主体)(債務)

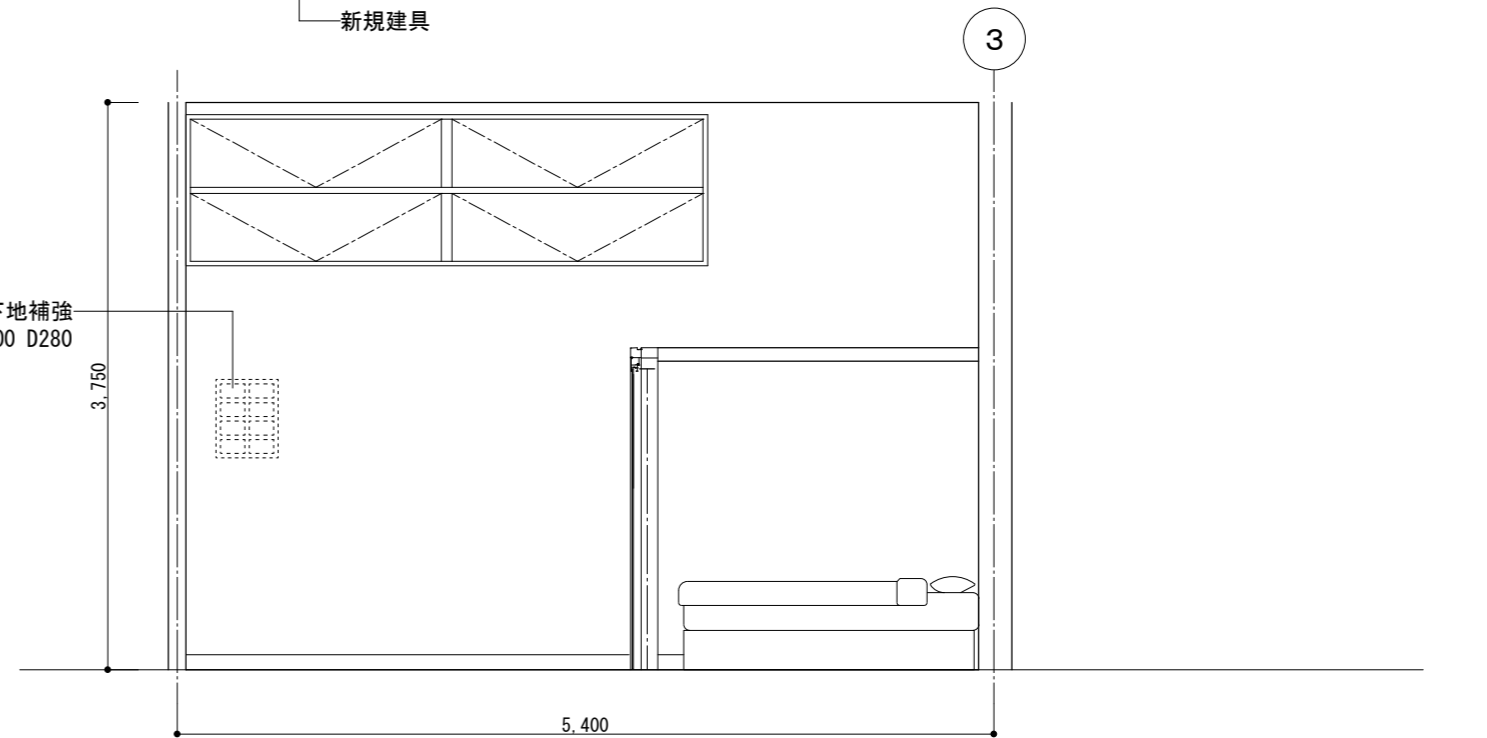
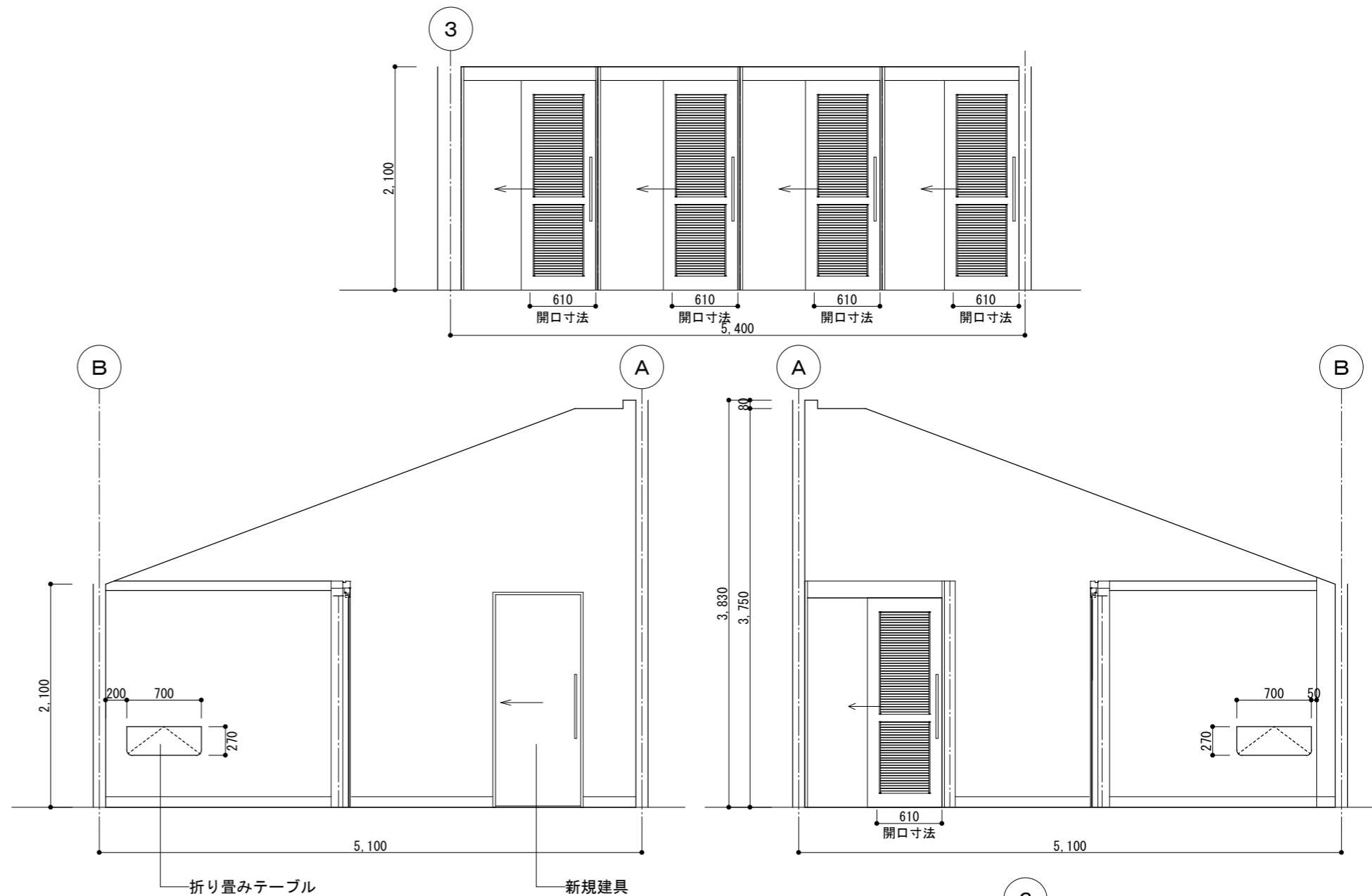
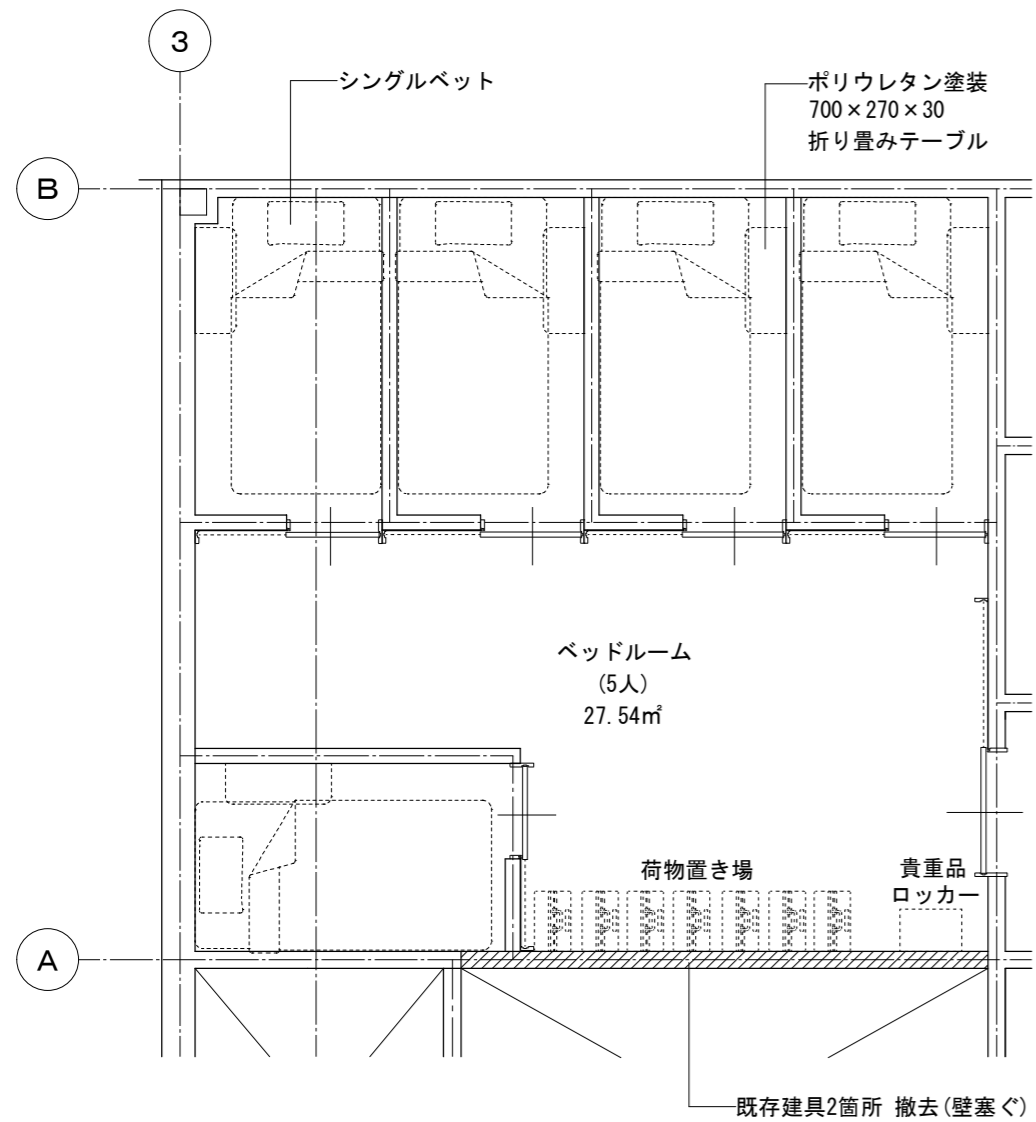
ITEM 【既存宿泊棟】展開図4

MEMO

SCALE 1 : 80

DATE

CHECK



ベッドルーム (5人)	
床	ネダフォーム撤去の上、乾式2重床の上、合板t12.0 タイルカーペット (NT350) t6.2
巾木	ソフト巾木 H=100
壁	ビニールクロス張り替え
天井	ビニールクロス張り替え 一部換気扇部分フラット壁必要
備考	セキュリティボックス、壁掛け扇風機(各個室)

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

ITEM 【既存宿泊棟】展開図5

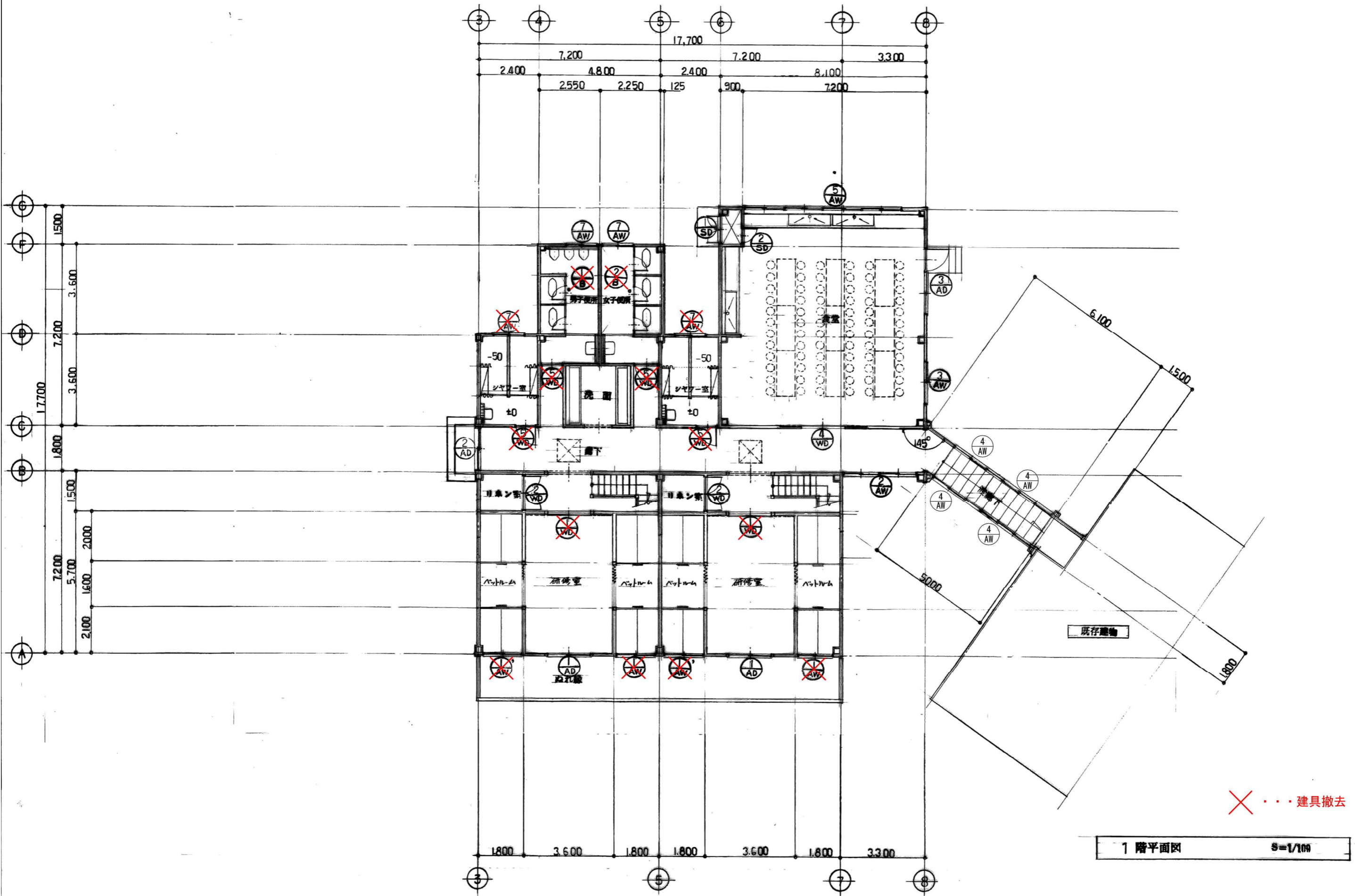
MEMO

SCALE 1 : 50

DATE

CHECK

NO D-59

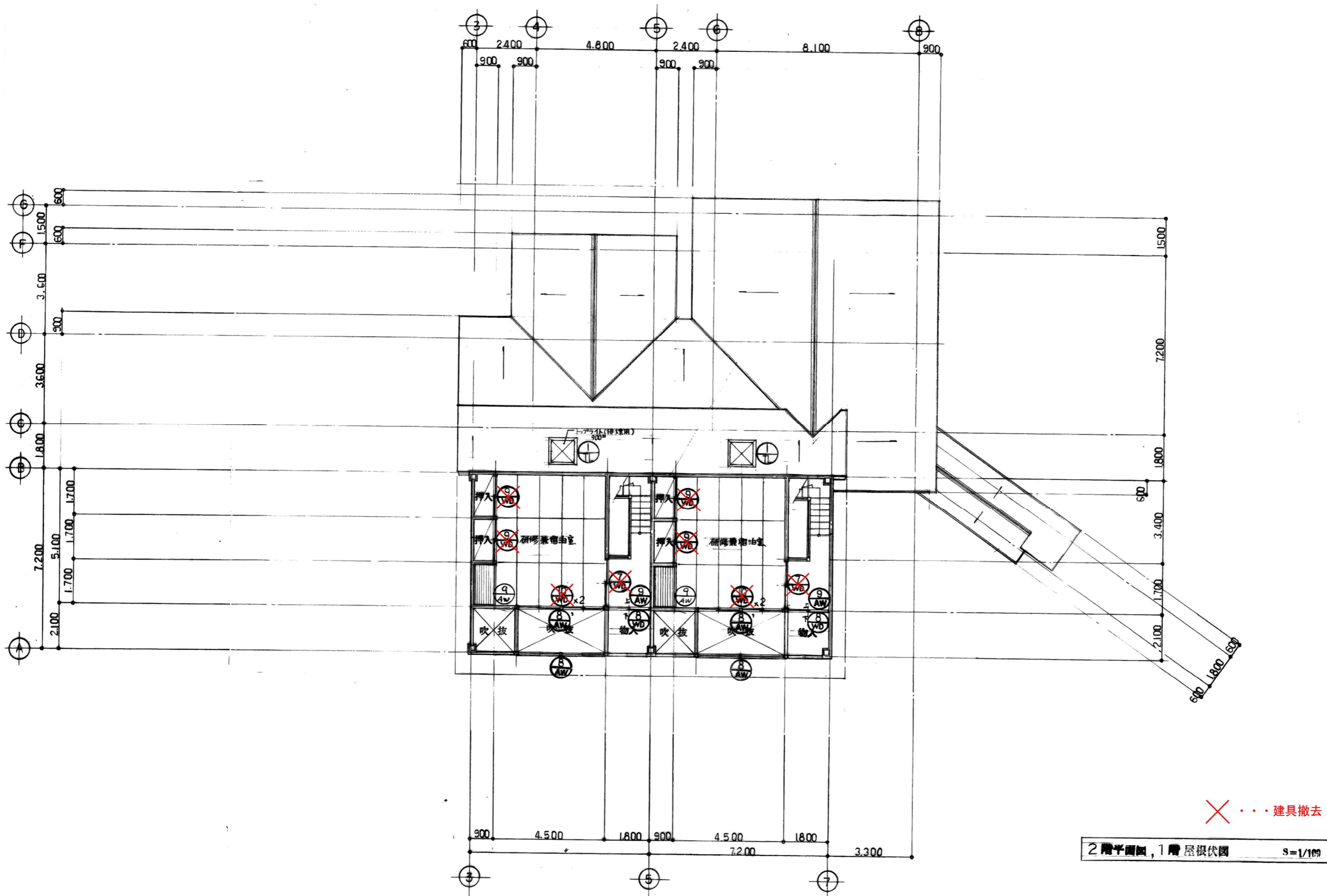


TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）
 ITEM 【既存宿泊棟】1階建具キープラン

MEMO
 SCALE 1 : 100

DATE
 CHECK

NO D-60



..... 建具撤去

2階平面図, 1階屋根伏図 9=1/100

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)
 ITEM 【既存宿泊棟】2階建具キープラン

MEMO
 SCALE 1 : 100

DATE
 CHECK

NO D-61

記号, 位置	1 AW	2 AW	3 AW	4 AW	5 AW
形状	1400 (1520) 940 860	※真空硝子に変更 ※網戸張り替え、枠清掃 1380 1380 940	※真空硝子に変更 ※網戸張り替え、枠清掃 1595 800	※真空硝子に変更 ※網戸張り替え、枠清掃 1,595 1,100	※真空硝子に変更 ※網戸張り替え、枠清掃 6,094 1471 1471 1471 1471 既存硝子のまま 380 380 1,100 1,100 1,100 1,100 2,760
種別	アルミ製引違い窓	アルミ製引違い窓	アルミ製引違い窓	アルミ製引違い窓	アルミ製引違い窓(右、要出し窓付)
仕上	アロニス色	アロニス色	アロニス色	アロニス色	アロニス色
硝子	ア-4	左 左	左 左	左 左	左 左
金物	水切、フレット、48アパル、アミP	水切、フレット、48アパル、アミP	水切、フレット、アミP	水切、フレット、アミP	水切、フレット、48アパル、アミP、ホルダー(FL+1500以下取付)
見込, 数量	70	70	70	70	70
記号, 位置	7 AW	8 AW	9 AW	10 AW	11 AW
形状	1200 1200 1750	※真空硝子に変更 ※枠清掃 3390 1660 1660 100 450 500 450 2700 1000 1000 (2,735)	※真空硝子に変更 ※枠清掃 1595 100 450 450 2735	※真空硝子に変更 ※網戸張り替え、枠清掃 1600 100 250 1800 2150	※真空硝子に変更 ※網戸張り替え、枠清掃 1600 100 410 1900 2410
種別	アルミ製引違い窓	アルミ製外開き窓	アルミ製外開き窓	アルミ製引違い窓(右、要出し窓付)	アルミ製外開き窓(右、要出し窓付)
仕上	アロニス色	アロニス色	アロニス色	アロニス色	アロニス色
硝子	ア-4	左 左	左 左	左 左	左 左
金物	水切、フレット、48アパル、アミP	水切、48アパル、ホルダー(FL+1500以下取付)	水切、フレット、アミP	水切、フレット、48アパル、アミP	水切、フレット、48アパル、ホルダー、38アパル、アミP、ホルダー(FL+1500以下取付)
見込, 数量	70	70	70	70	70
記号, 位置	1 SB	2 SB		1 B	2 B
形状	※建具塗装 1100 1200 ※内部:木額縁塗装	※建具塗装 550 550 550 ※内部:木額縁塗装		2350 1200 1150 300 1800 50	3600 1200 1150 1250 300 1800 200 50
種別	スチール製引違い窓	スチール製引違い窓		スチール製引違い窓	スチール製引違い窓
仕上	OP塗り	OP塗り		水切、フレット、アミP	水切、フレット、アミP
硝子				左 左	左 左
金物	水切、フレット、アミP	水切、フレット、アミP		水切、フレット、アミP	水切、フレット、アミP
見込, 数量	86	86		40	40

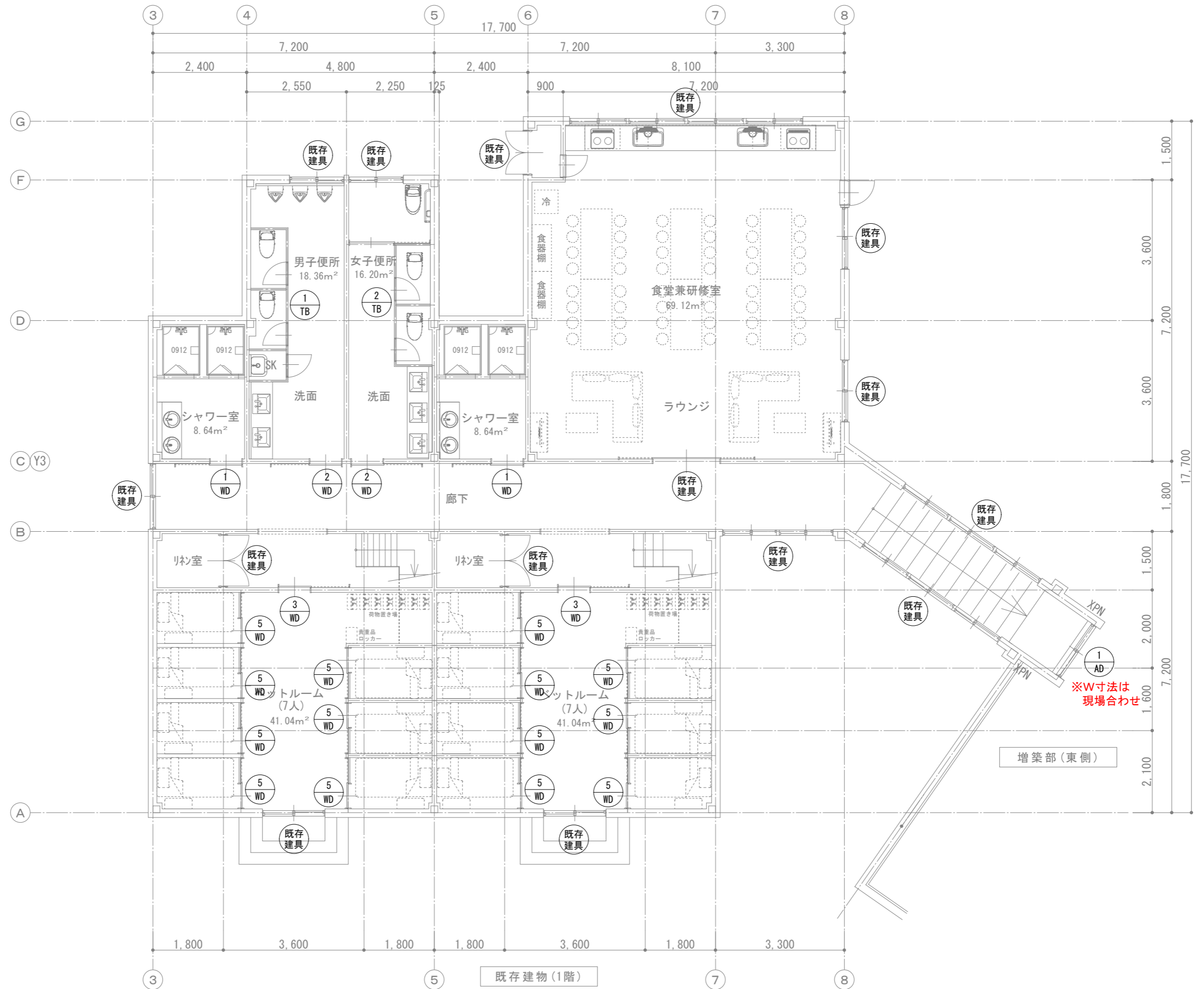
建具表 - 2 S=1/50

記号, 位置	① WD	② WD	③ WD	④ WD	⑤ WD
撤去	撤去	※建具シート貼 ※ガラリOP塗装	撤去	※建具シート貼 ※ガラリOP塗装 ※ガラス周りOP塗装	撤去
型状					
種別	引違戸	両開き戸 (カマ付)	片開き戸	引違戸	片開き戸 (カマ付)
仕上	水引化粧板 木手 (木OP)	左 右	左 右	左 右	左 右
開子	F-4		F-4	F-4	F-4
金物	引違. 戸車. 引違. 錠. 右部スリル. VL-L	両開き付引違. 錠. 1個.	両開き付引違. 錠 (カマ付). 1個. DC.	引違. 戸車. 引違. 錠 (カマ付). 右部スリル. VL-L	引違. 戸車. DC. 1個.
見込, 数量	40 (40ヶ所)	40 2ヶ所	40 2ヶ所	40 1ヶ所	40 4ヶ所
記号, 位置	⑦ WD	⑧ WD	⑨ WD	⑩ WD	
撤去	撤去	※建具シート貼 ※ガラリOP塗装	撤去	撤去	
型状					
種別	引違戸	左 右 (カマ付)	左 右	左 右	
仕上	水引化粧板 木手 (木OP). 片側新島漆	水引化粧板 木手 (木OP)	新島漆	新島漆	
開子					
金物	引違. 戸車. VL-L. 引違. 錠 (カマ付)	引違. 戸車. VL-L. 引違. 錠	引違. 錠 戸車. 下.	引違. 錠 戸車. 下.	
見込, 数量	40 2ヶ所	40 2ヶ所	40 4ヶ所	40 4ヶ所	
記号, 位置					
型状					
種別					
仕上					
開子					
金物					
見込, 数量					

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)
ITEM 【既存宿泊棟】建具表2

MEMO
SCALE 1:100

DATE
CHECK



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

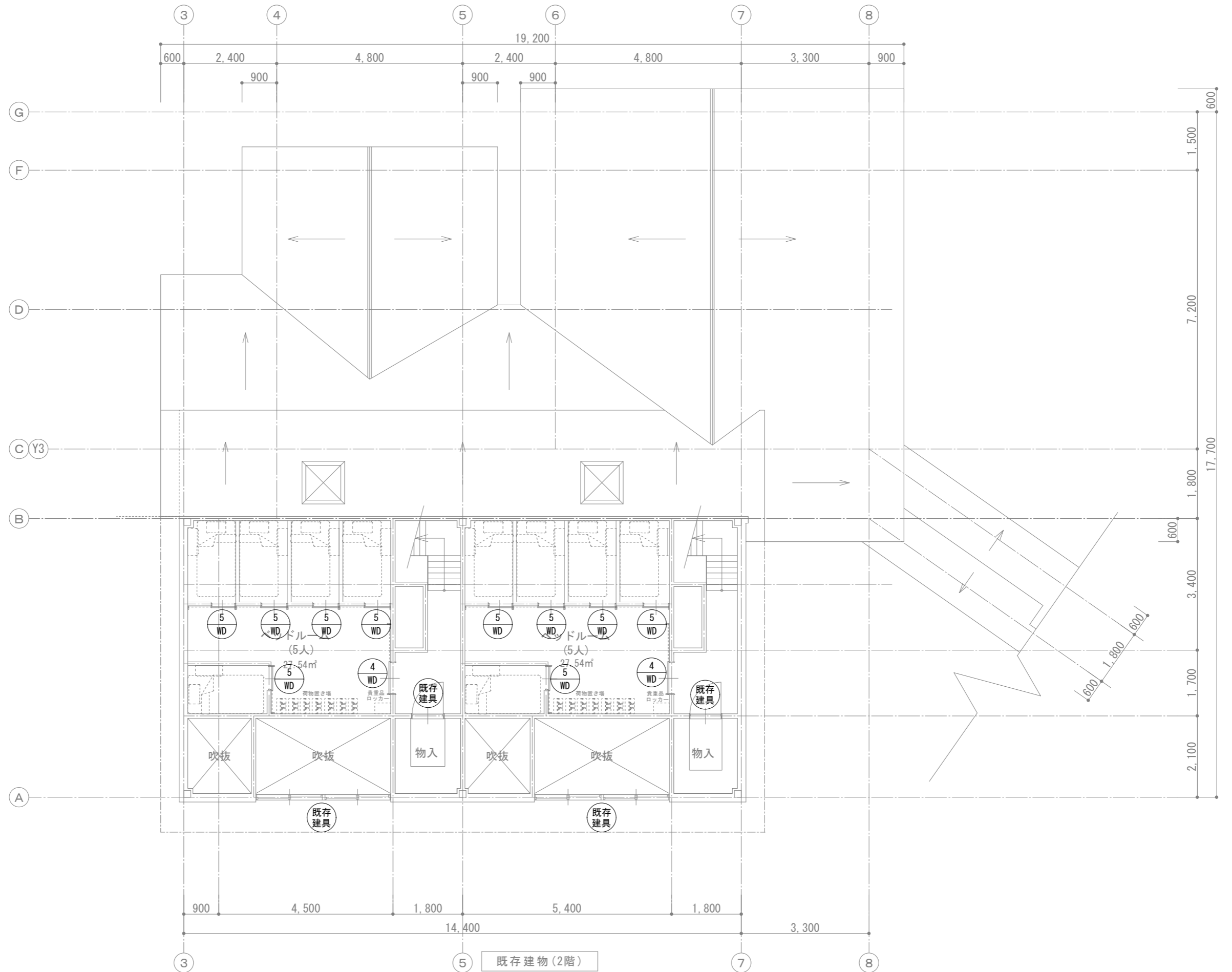
MEMO

DATE

ITEM 【既存宿泊棟】新規_1階建具キープラン

SCALE 1 : 100

CHECK



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

MEMO

DATE

ITEM 【既存宿泊棟】新規_2階建具キープラン

SCALE 1 : 100

CHECK

NO D-65

記号/場所・個数	① AD	廊下 1		
姿 図	▽FL			
形 式	引違ドア			
材質・仕上	アルミ (カラー)			
見 込	70mm			
硝 子	強化ガラス6+A12+LowE3			
金 物	ドアハンドル、サムターンシリンダー錠 (マスターキー)			
	衝突防止マーク			
備 考	付属金物一式 (マスターキー: WD-1, 2箇所対応)			

記号/場所・個数	① WD	シャワー室 2	② WD	洗面 2	③ WD	1階ベットルーム 2	④ WD	2階ベットルーム 2
姿 図	▽FL							
形 式	木製片引きハンガードア		木製片引きハンガードア		木製片引きハンガードア		木製片引きハンガードア	
材質・仕上	メラミン化粧合板		メラミン化粧合板		メラミン化粧合板		メラミン化粧合板	
見 込	36mm		36mm		36mm		36mm	
硝 子	型板ガラスt4		型板ガラスt4		型板ガラスt4		型板ガラスt4	
金 物	引手、半自動、 表示錠、その他付属金物一式		引手、半自動、 その他付属金物一式		引手、半自動、 シリンダー錠、その他付属金物一式		引手、半自動、 シリンダー錠、その他付属金物一式	
備 考	リクシル室内ハンガー金物 同等品		リクシル室内ハンガー金物 同等品		リクシル室内ハンガー金物 同等品		リクシル室内ハンガー金物 同等品	

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

MEMO

DATE

ITEM 【既存宿泊棟】新規_建具表1

SCALE 1 : 100

CHECK

NO D-66